



TITLE:

滿漢合璧雍正朝奏摺譯注

AUTHOR(S):

河内, 良弘

---

CITATION:

河内, 良弘. 滿漢合璧雍正朝奏摺譯注. 京都大學文學部研究紀要 1992, 31: 51-176

ISSUE DATE:

1992-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/73055>

RIGHT:

# 滿漢合璧雍正朝奏摺譯注

河 内 良 弘

## 解 説

本譯注は『宮中檔雍正朝奏摺』の滿漢合璧部分の譯注である。『宮中檔雍正朝奏摺』は台灣の國立故宮博物院から発行された。全32輯で、第1輯は民國66年（1977）11月、第32輯は民國69年（1980）6月に発行されている。この内、第1輯から第27輯までが漢文諭摺であり、第28輯から第32輯までの全5冊が滿文諭摺である。滿文諭摺の大部分は滿文だけの奏摺であるが、そのなかに滿漢合璧の奏摺が含まれている。滿文奏摺は漢文奏摺にとらず重要な資料に満ちているが、奏摺独自の表現法、熟語、固有名詞が障害となって、正確な読解を得ることは容易でない。現在の『滿和辭典』は吏文関連の語彙も数すくなく、例文も備わず、滿文奏摺の読解の為の完全な辭書とはいえない。残念ながら現在の滿洲語學の水準はことに高いとはいえず、滿文奏摺の読解には、まず辭書づくりから始めねばならない段階にある。

滿漢合璧滿文奏摺は、まずそうした語學上の要望にこたえ得る資料として、きわめて有益である。滿文奏摺と漢文奏摺とは、ほぼ同じ内容の事実を傳えていて、異同のある箇所はすくない。滿文奏摺ではわからない人名、地名、官職名、その他の固有名詞が、漢文奏摺と対照させると、たちどころに明らかになる。普通名詞、動詞、形容詞、副詞なども『滿和辭典』その他の辭書には記載されていない訳語を滿漢合璧奏摺に見出すことができる。わたくしはこうして採取した語彙をノートにとっておき、滿文奏摺の他の部分の訳解に役立てることができた。また漢文奏摺に現われる難解な語彙も、滿文奏摺に現われる滿洲語を見れば容易に語義を知ることができた。これは譯解の作業で得た望外の事であった。

この滿漢合璧奏摺にはすでに校注本がある。莊吉發『雍正朝滿漢合璧奏摺

校注』（文史哲出版社，台北，1984）がそれである。この書は満文原摺，同ローマ字転写，漢文原摺および注からなっている。満文原摺と漢文原摺とを一望の下に見ることができて，それなりに便利であるが，満文原摺の譯解というわけでもないのので，われわれ日本人には利用しにくい面がある。

『滿漢合璧雍正朝奏摺』は滿洲語學上の重要資料であるばかりでなく，それ自身が雍正時代の歴史，文化，風俗等を研究する上での重要資料である。恐らく歴史研究者で利用される人もあらうかと思い，「目次」および各奏摺の見出しに，筆頭上奏者名および所属部名を記しておいた。利用していただければ幸である。

### 凡 例

1. 譯文中の斜線内の算用数字は『滿文諭摺』第1輯の頁数を示す。
2. 原摺満文は各頁18行で，各6行がひとまとめになり，段落をなしている。  
本訳注では各頁の最初の段落を／A／とし，以下順次／B／，／C／としている。
3. 雍正帝の硃批諭旨は，満文は“ ”内に，訳文は〔 〕内に入れて示した。

### 目 次

康熙六十一年

托頼：十二月十七日，刑部奏為額森自縊一案請旨摺……………54

雍正元年

冲安：二月初二日，奏為會議前往陵寢儀禮摺……………57

隆科多：二月十六日，吏部奏為八旗考試簡拔補用摺……………59

隆科多：二月二十二日，吏部奏為太醫院使援例請廕摺……………60

隆科多：二月二十四日，吏部奏請簡補陝甘藩臬員缺摺……………62

佛格：二月二十五日，刑部奏為枷號人犯請旨釋放摺……………65

佛格：二月二十五日，刑部奏為軍前逃回人犯請旨摺……………66

隆科多：三月初一日，吏部奏為少詹事缺請旨補授摺……………69

隆科多：三月十四日，吏部奏為入京引見人員請旨摺……………70

三月二十一日，吏部進呈祖秉圭履歷清單……………73

允禩：三月二十三日，禮部奏請欽點鄉試外簾官員摺……………73

隆科多：四月十一日，吏部奏聞查明何順等員官箴摺……………76

佛格：四月二十日，刑部奏聞不准援赦監禁人犯摺……………78

張鵬翮：四月二十日，吏部為回奏捐修營房議敘等摺	84
允禩：四月二十四日，工部奏為委員防守堤岸請旨摺	87
隆科多：四月二十四日，吏部奏明輪班補用捐納人員摺	90
隆科多：五月初二日，吏部奏為祖秉圭補用請旨摺	91
孫查齊：五月初四日，戶部奏明議駁題銷絲價緣由摺	93
佛格：五月十六日，刑部奏審私入圍場人犯請旨摺	95
孫柱：六月初十日，兵部奏參不職司官請旨革退摺	97
覺羅莫禮博：六月二十日，監察御史奏請嚴禁私稅以裕國課摺	98
覺羅莫禮博：六月二十日，監察御史奏請揀選薊州遵化知州摺	100
鄂奇善：六月二十二日，監察御史奏報糧米起運安設臺運摺	101
張鵬翮：六月二十三日，吏部奏為謝旻補授道員請旨摺	102
佛格：六月二十六日，刑部奏為趙世綸訛詐案請旨摺	103
佛格：六月二十六日，刑部奏聞追賠八寶訛詐銀兩摺	105
徐元夢：七月初二日，奏參賀有章請交部治罪摺	107
佛格：七月初三日，刑部奏參奸商遲悞各倉工程摺	111
佛格：七月初三日，刑部奏為揀選補用司員請旨摺	118
隆科多：七月初三日，吏部奏請補授通政司員缺摺	122
佛格：七月初九日，刑部奏請欽點堂官究審人犯摺	124
允禩：七月十九日，工部奏為核查各殿換簾數目摺	126
阿布蘭：八月初一日，奏為擾亂漕政人員議罪摺	131
佛格：八月初三日，刑部奏為審擬偷進圍場人犯摺	137
隆科多：八月初四日，吏部奏請嚴加查核貢監諸生摺	139
佛格：八月初五日，刑部奏請監禁西倫查抄家產摺	142
佛格：八月初五日，刑部奏為積欠久懸請旨清查摺	144
隆科多：八月初六日，吏部奏為給事中等員缺請旨摺	149
隆科多：八月二十日，吏部奏為委署刑部堂官請旨摺	152
盧詢：九月十一日，奏請將朱之琨發往運城摺	153
盧詢：九月十一日，奏為陳鈺等員回籍請旨摺	155
隆科多：九月十三日，吏部奏為理事同知員缺請旨摺	158
隆科多：九月十九日，吏部奏為河東運使員缺請旨摺	160
允禩：九月二十日，工部奏覆貽悞內庭煤炭一案摺	161
允禩：九月二十日，工部奏為題參拖欠柴木案摺	170

托頼：康熙六十一年十二月十七日，刑部奏為額森自縊一案請旨摺

1A/beidere jurgan i aliha amban bime, kubuhe fulgiyan i ujen coohai  
刑 部 尚 書 であり 鑲 紅旗 漢 軍

gūsai ejen kamciha toolai sei gingguleme wesimburengge, hese be baire  
都 統を 兼ねる 托頼 等が 謹 奏すること， 旨 を 請う

jalın, gulu šanggiyan i manju gūsai nacin nirui bošokū huiceng ni  
為にす。正 白旗 の 滿洲 都統 那親 ニルの領催 惠成 の

boolanjihangge, ceni nirui hafan i jurgan i icihiyara hafan esen be,  
報告したこと。 彼等のニルの吏 部 郎 中 額森 を，

/B/ši hiya i hoton weilere de tucibuhe bihe, ere aniya omšon biyai  
石 匣 の 城の 修造 に 出向させていた。本 年 十一 月

juwan nadan de, ši hiya hoton i wargi dukai tule jang halangga niyalmai  
十 七 日，石 匣 城 の 西 門 外の 張 姓の 人の

diyan de fasime bucehebi seme boolanjiha be, amban meni jurgan ci,  
店内 で(額森が)縊 死した と 來報したのを， 臣 等の 部 より，

uthai mi yūn hiyan de pai bithe yabubufi, ši haya i fujiyang ni emgi  
ただちに密 雲 縣 に 牌 文を 遣り， 石 匣 の 副 將 と 共に

/C/esen i giran feye be kimcime tuwafi, esen i fasime bucehe turgun  
額森の死体と傷口を 調べて 見た。額森の 縊 死した 理由

be, esen i beye hanci dahalame bihe booi niyalma, diyan i ejen de  
を 額森の身辺 近く 隨從して いた 家 人 店 主 に

getukeleme baicame fonjifi hūduṇ jurgan de boolanjikini seme  
明白に 調べ たずね すみやかに 部 に 報告するように と

yabubuha bihe, sirame mi yūn hiyan i jyhiyan siowei tiyan pei sei  
言っておいた。ついで 密 雲 縣 の 知縣 薛 天 培 等が

alibume benjihe /2A/bithede, jurgan i bithe be dahame, buya hafan  
呈 送した 書に 「部 の文書 に 遵い 小 官

bi uthai udzo be gaifi, ši hiya i fujiyang ni emgi diyan neihe  
はただちに忤作 を 帶領し， 石 匣 の 副 將 と 共に 店を 開いた

niyalma, falgai da<sup>(1)</sup>, esen i beye hanci dahalame bihe booi niyalmai  
者， 甲 長， 額森 の 身辺 近く 隨從して いた 家 人 と

sasa esen i giran feye be tuwaci, monggon de uše i toron  
共に 額森 の 死体と 傷 を 検分したところ， 咽喉 に 紐帶 の 痕跡が

bi, juwe ujan acanahakūbi, /B/ fasime bucehengge yargiyan,  
あった。両 端は交わり合っていない。 縊死したことはまちがいない。

esen i hefeli ci emu afaha manju bithe tucibuhebi, esen i booi niyalma  
額森の懷中 から一 枚の 滿文 文書が 出てきた。額森の 家 人

suwanju sede fonjici, meni ejen weilen i menggun edelehe  
拴 住 等に 尋ねると、わたくし共の主人は工事の 銀 兩が 不足した

turgunde hafirabufi fasime bucehe inu sembi, uttu ofi, esen i  
為 に 追いつめられ 縊 死したのですという。このために 額森 が

hefeliyehe manju bithe be suwaliyame jurgan de. /C/ alibume  
懷中に入れていた 滿文 文書 と 併せて 部 に 呈

benehe seme jurgan de benjihebi, esen i hefeliyehe bithe be tuwaci,  
送した」と言って部 に送って來た。額森が懷中に入れていた文書を見ると、

esen mimbe yang jeo furdan i cifun takūran de genehe  
「額森(わたくし)は 楊 州 關 の 税を(収納する)使 に 行った

turgunde, dooli bihe boo yo i emgi ši hiya ba i hoton be weilere de  
為に、 道員であった 鮑 鑰と共に 石匣の 所の城 の 修 造に

tucibufi weilen i giyandu, weilere jurgan i /3A/ icihiyara  
出向させられました。工 事 監 督 工 部 郎中

hafan gu coo dzo, dorgi baita be uheri kadalara yamun i aisilakū  
顧 朝 佐、内 務 府 員

hafan dateo derencume haršame boo yo be weilen i bade isiburakū,  
外 郎 大頭は(鮑鑰に)依怙最肩し、鮑 鑰 を 工 事 の 現場に行かせず、

damu mimbe hoton be weilebure de, mini boo boigon  
ただわたくしばかりに城 を修理させました。その時わたくしは自分の家産

be gemu uncafi, damu juwe minggan emu tanggū uyunju juwe  
をことごとく賣りはらい、ただ 二 千 一 百 九 十 二

yan/B/duin jiha menggun bahafi, giyandu de ulame ambasa de alafi  
兩 四 錢の銀兩を得ました。監 督 に 傳え 大臣等 に 告げて

encu niyalma be tucibureo seme baire de, giyandu se, ulin gaire de  
別の 人 を派遣して下さいと請いましたが、監督等は、貨財を得るに

gūnin de acabuhakū ofi, weilen i da u io de de tacibufi, ere gese  
意 に 滿たなかったので、工事頭(主任)吳有徳を教唆し、このような

šahūrun erinde mini etuku be sufi, juwe inenggi /C/ juwe dobori  
寒 い 時に わたくしの着物を脱がせ、二 日 二 晩

etuburakū bime, geli emu minggan sunja tanggū yan sere ling-  
はだかにしておきました。又 一 千 五 百 兩 という領子

dzi bithe be gaiki seme bilagan bilaha, gūnihakū weilen i da,  
書(受取書)をもらいたいといって期限をきりました。はからずも工事主任

giyandu, mini booi niyalma boro be huthufi nimanggi bade umbufi,  
と監督とがわたくしの家 人 博羅 を 縛り雪の積った所に埋めました。

geli mimbe dahalara duin aha be gemu tantame ukambuhabi,  
又 わたくしに随従した四人の奴僕をことごとく打ちたたいて逃がしました。

esen bi ai /4A/weile baha seme ere gese girubure de isibumbi,  
わたくし額森は何の罪を得たからといってこのような恥辱を受けるのでしょうか。

ere jergi turgun be wesimbureo sehebi, baicaci, esen ne  
これ等の 事情 を 具奏して下さい」と記してあった。査するに、額森は現

tušan i icihiyara hafan bime, fasime bucehe be tuwaci, turgun akū  
任 の 郎 中であって、縊 死 したのを見れば、理由がない

seci ojurakū, erebe mi yūn hiyan de bithe yabubufi, bucehe esen i  
とは言えない。このことを密雲 縣 に 書を 遣り、死亡した額森の

booi niyalma, diyan i ejen jang doo hūwang/B/sebe jurgan de benjibufi,  
家 人, 店 の主人張 道 黄 等を 部 に 送り、

weilere jurgan de bithe unggifi, giyandu gu coo dzo, dateo sebe ciralame  
工 部 に 行 文し、監督顧 朝 佐、大頭等に 厳しく

selgiyefi, weilen i da u io de sebe gu coo dzo sede nikebufi jafafi  
傳 え、工事主任呉有徳等を顧 朝 佐等に 言いつけて 捕え、

suwaliyame jurgan de gajifi getukeleme beidefi wesimbuki sembi, erei  
併 せ て 部 に連れて来て 明白に 審問し具奏したいと思う。この

jalin gingguleme/C/wesimbuhe, hese be baimbi.  
為に 謹しんで 奏す。 旨 を 請う。

“giyandu sa be jafafi ciralame beide,”  
〔監督 等を 捕え 厳しく 査問せよ。〕

/5A/elhe taifin i ninju emuci aniya jorgon biyai juwan nadan,  
康 熙 六 十 一 年 十 二 月 十 七 日

beidere jurgan i aliha amban bime kubuhe fulgiyan i ujen coohai gūsai  
刑 部 尚 書 兼 鑲 紅 旗 漢 軍 都

ejen kamciha amban toolai, aliha amban amban jang ting šu, hashū  
統 臣 托頼 尚 書 臣 張 廷 樞, 左

ergi ashan i amban amban asinai, hashū ergi ashan i amban amban  
侍 郎 臣 阿錫鼐, 左 侍 郎 臣

wang ging dzeng, ici ergi ashan i amban amban liosiyang, ici ergi  
王 景 曾, 右 侍 郎 臣 六 相, 右

ashan i amban amban jeo doo sin,  
侍 郎 臣 周 道 新。

冲安：雍正元年二月初二日，奏為會議前往陵寢儀禮摺

38B/hošoi nesuken cin wang amban cungan i jergi geren wang beile,  
和碩康親王臣冲安等諸王貝勒，

beise, gung, manju nikan bithe, coohai ambasai gingguleme  
貝子，公，滿漢文武大臣等が謹

wesimburengge, hūwaliyasun tob i sucungga aniya, aniya biyai orin juwe  
奏する事，雍正元年正月二十二

de, hese wasimbuhangge, /C/munggan de genere babe, uheri baita  
日，旨を奉じたところ「陵寢に行くことを總理

icihiyara wang, ambasa elgiyen cin wang, dorolon giyūn wang, gung  
事務王大臣等裕親王，嘉郡王，公

marsai, aliha da sungju<sup>(2)</sup> i emgi acafi akūmbume gisurefi wesimbu,  
馬爾賽，大学士高柱と共に會同し詳議し具奏せよ。

ne udu inenggi unde bicibe, doigonde gisureci sain sehebe gingguleme  
今は幾日も前ではあるがあらかじめ議定すればよい」との仰せに謹

dahafi, amban be sung gurun, ming gurun i dorolon be baicaci, dzi gung  
遵し，臣等は宋國，明國の礼式を查べたところ，梓宮

be/39A/munggan de benere de, soorin be siraha hūwangdi gemu beye  
を陵寢に送る時，皇位を嗣いだ皇帝は皆みずからは

genehekū, sung gurun i fonde, šan ling šī hafan be alifi baita  
行かなかった。宋國の時に，山陵使の官を当てて事を

icihayabume, hū sang šī, dun di šī i jergi hafasa be teisu teisu baita be  
処理させ，護喪使，頓遞使等の官人等をして各自事を

kadalabume, ede gemu cin wang dzaisiyang be tucibuhebi,  
管轄させ，これによってことごとく親王宰相を出させた。

ming gurun i fonde, han i jui ocibe, cin wang/B/ocibe alifi ici-  
明國時代には，皇子であれ，親王であれ充当して処理

hiyabuhabi, ere cohome ejen oho niyalma, mafari miyoo, še ji be ujen  
せしめた。これは特に君主となった人は，宗廟，社稷を重きと

obufi tuktan soorin de tehe ucuri, ging hecen i ba be oyonggo obuhangge,  
なし，はじめ皇位に即いた時，京師の処を緊要となした為である。

tuttu sung gurun, ming gurun i dorolon be gisurere ele urse, gemu giyan  
故に宋國明國の典礼を議する人々はすべて道理に

de acanahabi sehebi, /C/hūwangdi banitai amba hiyoošungga, kidume  
かなっていると言っている。皇帝は生れながら大孝にして，慕



gūnirengge mohon akū ofi, uheri baita icihiyara wang, ambasa de  
思して 窮まりなく、 總 理 事 務 王 大臣等 に

munition de genere kooli dorolon be akūmbume gisure seme hese  
陵 寢 に 行く 儀 礼 を 詳 議せよ と 旨を

wasimbuhabi, amban be alimbaharakū geleme olhome hujufi bairengge,  
下された。 臣 等は はなはだ 恐 懼し 伏して 請うに、

hūwangdi sung gurun, ming gurun i kooli toktobuha šumin/40A/gūnin  
皇帝が 宋 國, 明 國 が例を 定めた 深 意

be kimcime mafari miyoo, še ji i holbobuha ujen be gūnime, amban  
を 詳らかにし、祖先 の 宗廟, 社稷の 關係 の 重さを 思い、 臣

meni baiha babe yabubufi, beye dzi gung benere be nakafi, wang sa,  
等が 請う ところを行い、 自ら 梓 宮を 送るのを 止め、 王 等や

ambasa be tucibufi, /B/ gingguleme benebure kooli dorolon be  
大臣等 を 派遣し、 謹 送の 儀 礼 を

akūmbume gisurebufi, hafan irgen sai gūnin be elhe obureo, amban  
詳 議せしめ、 官 民 等の 心 を平安ならしめて下さい。 臣

be hing seme baime gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi.  
等は 切 に 請い 謹 奏します。 旨 を 請います。

/C/hūwaliyasun tob i sucungga aniya, juwe biyai ice juwe de.  
雍 正 元 年 二 月 初 二 日

“eiten baita be damu mafa ama i yabuha dasan be songkoloci sain,  
〔全ての事 は ただ 祖 考 の 行つた 典例 に照しおこなえばよい。

taihūwang taiheo mama i baita de han ama beye beneme genehe bihe,  
太 皇 太后 祖母 の事では、 皇考が 自ら送って行つたことがあつた。

hūwang taiheo mama<sup>(3)</sup> i baita de han ama beye labdu elhe akū bime  
皇 太后 祖母 の事 では 皇 考 親ら はなはだ平安でなく、

bethe nimeme<sup>(4)</sup>, kemuni beneme geneki seme, geren wang  
足を病んでおられたが、 なお 送って 行きたいと言われ、 諸 王

ambasa aika ja de baime/41A/ilibuheo, mini beye mini han  
大臣等はどうして容易に請うて止めさせただろうか。 わたくし親らわが 皇

ama i dzi gung be beneme geneme toktoho, wang ambasa jai ume  
考 の 梓 宮 を 送り 行くと定めた。 王 大臣等は二度と強

marame wesimbure, jai wesimbuci, wesimbure baita ulara urse ume  
要して 奏聞するな。 再 奏しても 奏 事を 伝える 人々が

alime gaire”  
受取るな。]

隆科多：雍正元年二月十六日、吏部奏為八旗考試簡拔補用摺

52C/hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin,  
吏 部 が 謹 奏 する 事, 旨 を 請う 為にす。

jakūn gūsai manju, ujen coohai ubaliyambure jungšu, bithesi de  
八 旗 滿洲, 漢 軍の 翻 訳 中 書, 筆帖式 の

simnere duin tanggū nadanju juwe niyalma be, amban be aliha  
考試 (に 応じた) 四 百 七 十 二 名 を 臣 等 大

bithei da, ashan i bithei/53A/da, bithei yamun i ashan i bithei da i  
学 士, 学 士 翰 林 院 学 士 と

emgi uhei acafi ilgama tuwaci, ubaliyambume muterengge be uyun  
共に 會 同 し 区 分 して みる に, 翻 訳 能 力 の ある 者 を 九

niyalma sonjofi uju jergi obuha, ubaliyambure an i jergi emu tanggū  
人 選 び 第 一 等 と な した。 翻 訳 尋 常 の 者 一 百

juwan ninggun niyalma be jai jergi obuha, ereci tulgiyen, afaha  
十 六 人 を 二 等 と な した。 この 外, 篇 (文 章) を

wajihangge juwe /B/ tanggū jakūnju uyun niyalma, lioi li teile  
し あ げ た 者 二 百 八 十 九 人。 履 歴 の み

arahangge dehi nadan niyalma, untuhun giowandzi alibuha juwan emu  
書 いた 者 四 十 七 人, 白 卷 子 を 呈 出 した 者 十 一

niyalma, uttu be dahame, uju jergi de ilgaha uyun niyalma be meni  
人 である。 こ う い う わ け で, 第 一 等 に 区 分 した 九 人 を 各

meni gūsai ne tucike jungšu, bithesi i oronde “uthai” sindaki,  
自 の 旗 の 現 在 出 て い る 中 書, 筆 帖 式 の 缺 員 に [た だ ち に] 任 じ た い。

jai jergi de ilgaha urse be/C/ceni idu be tuwame ilhi aname  
第 二 等 に 区 分 した 人 々 を 彼 等 の 本 班 (当 番) を 勘 案 し 順 序 を 俟 っ て

jungšu, bithesi de baitalaki, afaha wajiha, lioi li teile araha,  
中 書, 筆 帖 式 に 補 用 し た い。 篇 (文 章) を し あ げ た 者, 履 歴 を 書 い た だ け の 者,

untuhun giowandzi alibuha urse be, neneme wesimbuhe songkoi emu  
白 卷 子 を 呈 出 した 人 々 を 前 奏 に 照 ら し, 一

aniya šolo bufi, ubaliyambure be taciha erinde, jai simnebuki,/54A/  
年 の 暇 を 與 え, 翻 訳 を 学 び (終 え た) 時 に 再 び 考 試 を お こ な い た い。

hese wasinjiha manggi, uju jergi, jai jergi de sonjoho ursei gebu be  
旨 を 下 さ れ た 後, 一 等, 二 等 に 選 ん だ 人 々 の 名 を

amban meni yamun de latubufi, geren de ulhibuki sembi, erei jalin  
臣 等 の 衙 門 に 掲 示 し, 衆 人 に 曉 諭 し た い と 思 う。 この 為 に

gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi.

謹 奏 す。 旨 を 請う。

/B/ “gisurehe songko obu, jai jergi ilgaha urse be, emu aniya ome,  
〔議 に 照しておこなえ, 二等に 区分した人々を, 一 年 して

ineku simne, ere sidende geli tacifi uju jergi de isinaci, uthai uju  
なおまた考試せよ。この間に 又学んで 一 等 に 到れば, すなわち第

jergi de dosimbufi baitala,”  
一 等 に 入れて 用いよ。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya juwe biyai juwan ninggun  
雍 正 元 年 二 月 十 六 日

uheri baita icihiyara hafan i jurgan i aliha amban bime uheri da gung  
總 理 事 務 吏 部 尚 書 提 督 公

nakcu amban longkodo, taidzi taifu dorgi yamun i aliha bithei /C/  
舅 舅 臣 隆科多。 太子 太傅 内 閣 大 学 士

da bime kemuni hafan i jurgan i aliha amban i baita be kamcifi icihiyara  
仍 兼 管 吏 部 尚 書 事

amban jang peng ge, hashū ergi ashan i amban amban lesibu, ici ergi  
臣 張 鵬 翮。 左 侍 郎 臣 勒什布。 署理右

ashan i amban i baita be daiselaha amban li fu,  
侍 郎 事 臣 李 紱。

隆科多：雍正元年二月二十二日，吏部奏為太醫院使援例請廕摺

60A/hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin,  
吏 部 が 謹 奏 す る 事, 旨 を 請う為にす。

tai i yuwan i yuwan ši sunja jergi nonggiha lio šeng fang ni wesimbuhe  
太 醫 院 の 院 使 で五 級を加えられた 劉 聲 芳 の 奏

bithede, fejergi gūnin be tucibufi /B/abkai kesi be baime kooli songkoi  
書に 「卑 見 を 述べ 天 恩 を 懇請し, 例に 照らし

yen šeng bure be baire jalin kesi joo de arahangge, emu hacin  
廕 生を 與えられるよう請う為にす。恩 詔 に 記されたこと, (その) 一 項,

bithei hafan ging hecen de bisire duici jergici wesihun, dulergide<sup>(5)</sup> bisire  
『文官 にして在 京 の 四 品 以 上, 在 外 の

ilaci jergici wesihun hafasa, coohai hafan ging/C/hecen de bisire  
三 品 以 上 の 官人等, 武 官にして 在 京

tulergide bisire jai jergi hafan ci wesihun hafasa emte jui be guwe dzi  
在 外 の 二 品 官 より以上の 官人等は各一子 を 國 子

giyan yamun de dosimbufi bithe hūlabu sebehe gingguleme dahafi  
監 衙門 に 入 れ、 書を読ませよ』との仰せに 欽 遵す。

baicaci, tai i yuwan yamun i yuwan ši sunjaci jergi hafan /61A/ joo  
査するに、太医院 衙門 の 院 使は五 品官であり、詔により、

de daci yen šeng bure kooli akū damu amban bi jalan halame  
もともと 廕 生を 與える 例はない。ただ 臣 は 世世代代

enduringge ejen i kesi be alifi uju jergi funglu jembime, geli duin  
聖 主 の 恩 を 受け 第一 品の 俸禄を 食んでおり、又 四

niyalma tukiyere kiyoo be šangnaha be dahame, aifini enduringge  
人 で 擔 ぐ 轎 を 賞賜された ので、すでに 聖

ejen i dabali isibuha kesi be /B/ alihabi, te desereke kesi isibume  
主 の 順次を 越えて 施された 恩を受けている。今 弘 恩を 施され、

yaya ambasa gemu jiramin kesi be alihabi, amban bi udu morin  
諸 大臣は 皆 厚 恩 を 受けている。臣 は いかにも 馬

indahūn i gese fusihūn niyalma dabali ereci ojurakū bicibe,  
犬 のように 微賤の 者であって、差し出た 希望を 述べることは できないが、

amban bi nadanju se hamikabi, udu ilan jui /C/ bicibe, umai  
臣 は 七十 歳 に 近くなった。いかに 三 子があるに せよ、(彼等は)

niyalma ojoro unde, te enduringge ejen kesi isibume dorgide bisire bithei  
全く 成人して いない。今 聖 主が 恩を 施され、在 内の 文

hafan duici jergici wesihun ningge be emte jui be guwe dzi giyan yamun  
臣 四 品 以上の 者をして 各一子 を 國 子 監 衙門

de dosimbufi bithe hūlabu sebehe dahame, jabšan de /62A/ ejen i kesi  
に 進ませ、 書を読ませよと 仰せられたので、幸に 主 の 恩

de mini emu jui be guwe dzi giyan yamun de dosimbufi bithe  
により わが 一 子 を 國 子 監 衙門 に 進ませ 書を

hūlaburengge kesi enduringge ejen ci tucimbi seme  
読ませられるよう(請う)。恩は 聖 主 より出る」と記してあった。

hūwaliyasun tob i sucungga aniya juwe biyai ice juwe de baita wesimbure  
(これを)雍 正 元 年 二 月 初 二 日 奏 事

aisilakū hafan šuwangciowan de /B/ afabufi ulame wesimbuhede, hese,  
員 外 郎 雙 全 に 渡し 転 奏せしめた。旨を

ini emu jui be šangnafi guwe dzi giyan yamun de dosimbu  
奉じたところ、「彼の 一子を 賞し 國 子 監 衙門 に 入れよ」

sehebe gingguleme dahafi, baicaci, dorgi yamun i aliha bithei da sede  
との仰せに 欽 遵した。査するに、内 閣 大 学士 等に、

amban meni jurgan ci susai juweci aniya kooli be yarufi/C/hese be  
臣 等が 部 より 五十 二 年の 例 を 援き, 旨 を

baifi cohotoi hese uju jergi yen šeng buhe ci tulgiyen,  
請うたところ, 特 旨をもって 一 品 廕 生を 與えられた外,

aliha amban i jergi hafan de gemu jai jergi yen šeng, ashan i amban  
尚 書 等の 官にはことごとく二 品 廕 生, 侍 郎

i jergi hafan de gemu ilaci jergi yen šeng, adafi baicara amban i  
等の 官 にはことごとく三 品 廕 生, 僉 都 御 史

jergi hafan de /63A/gemu duici jergi yen giyan šeng buhebi, te  
等 官 には ことごとく四 品 廕 監 生を 與えられた。今

yuwan ši lio šeng fang de eici ai jergi hafan i yen šeng bure babe  
院 使 劉 聲 芳 に 或は 何 等の 官 の 廕 生を 與えるかについ

hese be baimbi.  
て旨 を 請う。

“lio šeng fang lin dzu ceng<sup>(6)</sup> de yooni ilaci jergi yen šeng šangname  
〔劉 聲 芳・lin dzu ceng に ことごとく三 品 廕 生を 賞 賜

bu.”  
せよ。〕

/B/hūwaliyasun tob i sucungga aniya juwe biyai orin juwe,  
雍 正 元 年 二 月 二十二日。

uheri baita icihiyara hafan i jurgan i aliha amban bime uheri da gung  
總 理 事 務 吏 部 尚 書 提 督 公

nakcu amban longkodo, /C/taidzi taifu dorgi yamun i aliha bithei  
舅舅 臣 隆科多, 太子 太傅 内 閣 大 学 士

da bime kemuni hafan i jurgan i aliha amban i baita be kamcifi  
兼 管 吏 部 尚 書 事

icihiyara amban jang peng ge, ambaram giyangnara hafan hashū  
臣 張 鵬 翮, 經 筵 講 官 左

ergi ashan i amban amban lesibu, /64A/ ici ergi ashan i baita be  
侍 郎 臣 勒什布 署 理 右 侍 郎

daiselaha amban li fu.  
事 臣 李 紱。

隆科多：雍正元年二月二十四日，吏部奏請簡補陝甘藩臬員缺摺

64B/hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, šansi goloi ambakan  
吏 部 が 謹 奏する事。 陝 西 地方の 大

hafasai ekiyehun oronde hesei sonjome sindafi hafan i dasan de  
官等の 缺 員に、旨を以て 選 任し 吏 治 に

tusa obure be baire jalin, sycuwan, šansi dzungdu niyan geng  
有益 ならしめんと 請う為にす。 四川 陝西 總督 年 羹

yoo i ere baitai jalin /C/ jedzi arafi wesimbuhengge, baicaci, šansi  
堯 がこの 事の 為に 摺子を書き 奏聞した事, 「査するに、陝西

g'an su ere juwe siyūn fu i harangga hafasa coohai baita tucike ci  
甘 肅 この 二 巡 撫の 所属の 官員等は、 兵 事が興ってより

ebsi, ba na i baita umesi labdu largin be dahame, alifi icihiyara de  
以來、地 方 の事務がはなはだ多く 繁 雑 なため、 經 理 は

gemu niyalma bahara de akdahabi, si an, lan jeo i /65A/ bujengsy,  
すべて 人を 得る に かかっている。西安、蘭州の 布政司,

an ca sy i duin oronde gemu daiselabuha, holbobuhangge  
按 察 司 の四 缺員にはことごとく代理の者が任ぜられている。(この事は)

umesi ujen be dahame, eici getukeleme baicafi sindara,  
關係するところがはなはだ重大であるので、或は査 明 して 任じようか。

eici enduringge ejen sonjofi sindara ohode, jeku ciyanliyang erun koro  
或は 聖 主が選任せられるならば、 穀 錢 刑 名

i baita meni meni afaha tušan bimbime, amban bi, inu /B/ bahafi uhei  
の 事におのおの 専 責が あり、 臣 も亦 ともどもに

sasa faššaci ombi, ere gemu enduringge ejen i kesi ci tucimbi,  
尽力することができる。これはみな 聖 主 の恩より出るものである。

amban bi alimbaharakū geleme olhome wesimbuhe seme, hūwaliyasun tob  
臣 は はなはだ 悚 惶し 奏聞した」と言い、 雍 正

i sucungga aniya juwe biyai orin ilan de wesimbuhede, /C/ hese,  
元 年 二 月 二十三日 奏した時、旨を奉じたところ、

erebe hafan i jurgan de afabufi ben<sup>(7)</sup> de wesimbu sebebe gingguleme  
「この事を吏 部 に 交與し 本 で 奏聞せよ」との仰せ に欽

dahafi baicaci, šansi bujengši hafan i baita be daiselaha icihiyara hafan  
遵す。査するに、陝西 布政使の 官 の 事 を 署理する 郎 中

talın, dzang ni cooha debi, ne jeku be kadalara ciyanši dooli jang  
塔林は 西藏 の 軍務にあり、現在は 督 糧 僉事 道員 張

guwa be daiselabuha, /66A/ an ca ši hafan yungtai, cooha bade bi,  
适 をして 署理せしめている。按 察 使 永泰(太)は、 戦場にあり、

ne hafan i jurgan i icihiyara hafan maka be daiselabuha, g'an  
今は吏 部 郎 中 馬喀 をして署理せしめている。甘

su i bujengši hafan jelgiyen hafan efulehebi, ne boigon i jurgan i  
肅 の 布政使 折爾金は 革 職された。現在は戸 部

ejeku hafan fude be daiselabuha, an ca ši hafan basi, si/B/  
主 事 傅徳 をして署理せしめている。按 察 使 巴錫は西

ning de baita icihiyambi, ping king dooli lu joo kun de daiselabuha  
寧 で 事務を処理している。平 慶 道員 盧 兆 鯤 に 署理せしめ

be dahame, eici ere daiselaha hafasai dorgi de hafan tehe sain ningge  
たので、 或はこの 署理の 官員等 の内 で 官に 就けて良い 者

be uthai oron de sindara, eici ya oron be tucibufi encu niyalma  
をただちに缺員に 任じ(当て)ましょうか。或は誰の缺員を出し、別の 者

be sindara babe /C/ dergici lashalareo, erei jalin gingguleme  
を 任じますかどうかを 上より 裁断して下さい。この為に 謹んで

wesimbuhe, hese be baimbi./  
奏聞す。 旨 を 請う。

“si an i bujangsy cuwan dung dooli hu ki heng be sinda, si an i  
[西安 の 布政司には 川 東 道員 胡 期 恒 を任せよ。西 安 の

ancasy yungtai be nakabufi jy fu wang ging h'ao be sinda, gung  
按察司 永泰 を やめさせ、知 府 王 景 灝 を任せよ。鞏

cang bujangsy fu de be sinda ancasy oron de jyfu /67A/ lio si ki  
昌 布政司には傅 徳 を 任せよ。按察司の 缺員 に 知府 劉 世 奇

be sinda hu ki heng ni oronde gin de ioi be sinda, duin jyfu i oronde  
を任せよ。胡 期 恒 の 缺員に 金 徳 蔚 を任せよ。四 知府の 缺員に

joo ši ming šen ting jeng li je hung gin ki hiowen be sinda, oron be  
(趙 世 朗), 沈 廷 正, (李 弘 澤), 金 啓 勳 を任せよ。缺員 を

niyan geng yoo de fonjifi teisulebume jori.”  
年 羹 堯 に 問い、相応に指示せよ。]

hūwaliyasun tob i sucungga aniya juwe biyai orin duin,  
雍 正 元 年 二 月 二十四日。

uheri baita icihiyara hafan i jurgan i aliha amban bime, uheri da, gung  
總 理 事 務 吏 部 尚 書 であり 提 督 公

nakcu amban longkodo, /B/ taidzi taifu dorgi yamun i aliha bithei da  
舅舅 臣 隆科多, 太子 太傅内 閣 大 学 士

bime kemuni hafan i jurgan i aliha amban i baita be kamcifi icihiyara  
仍 兼 管 吏 部 尚 書 事

amban jang peng ge, ambarama giyangnara hafan hashū ergi ashan i  
臣 張 鵬 翮, 經 筵 講 官 左 侍 郎

amban amban lesibu /C/ ici ergi ashan i amban i baita be daiselaha  
臣 勒什布 右 侍 郎 事 を 署理する

amban li fu.  
臣 李 紱。

佛格：雍正元年二月二十五日、刑部奏為枷號人犯請旨釋放摺

86C/ beidere jurgan i aliha amban uksun i foge sei gingguleme  
刑 部 尚 書 宗室 佛格 等が 謹

wesimburengge, hese be baire jalin. hūwaliyasun tob i sucungga aniya  
奏する事, 旨 を 請う 為にす。雍 正 元 年

aniya biyai ice uyun de, doroi bolgo giyūn wang, doroi dorolon giyūn  
正 月 初 九 日 多羅 淳 郡 王, 多羅 嘉 郡

wang, (*gung olondai, ilgaha giyahūn i baitangga sebe*)<sup>(8)</sup> /87A/ gung  
王, 公

olondai, ilgaha giyahūn i baitangga sebe gaifi beyebe tuwabume  
鄂倫岱が 選別した鷹場 執事人 等を つれ 引 見の為

wesimbuhede, hese, kubuhe suwayan i giyahūn i baitangga soju  
上奏したところ, 旨あり, 「鑲 黄旗 の 鷹 匠 索柱

serengge, hafan i jui kai, gurun i amba sinagan de, irgen ci  
という者は, 官員 の 子である。國家 の 大 喪の時 は, 民 より

aname tetele sorson hadahakūngge kemuni /B/ bikai, soju baitangga  
はじめ 今に到るまで 帽纓をつけないのが 常であった。索柱は役人であ

bime, ere amba baita i ucuri beyede niowanggiyan juyen etuhengge,  
りながら, この大 事 の 時に 身に 緑 の 襖を着けていた。

ambula ubiyada, erebe te uthai jafafi selhen etubu  
このことははなはだ憎むべきことである。彼を今 ただちに捕え, 枷號をつけ

sehebe gingguleme dahafi, soju be jafafi benebuhe seme benjihe be,  
よ」との仰せに欽 遵し, 索柱 を 捕え 送らせたと 言って來たの を,

amban meni jurgan ci, uthai soju be selhen etubufi tob dergi duka de  
臣 等の 部 より ただちに索柱に 枷號をつけ 東 直 門 に

/C/ benebuhe, te kesi joo de ucarabucibe, hesei cohotoi selhen etubuhe  
送らせた。今 恩 詔 に逢うと雖も, 旨を以て特に 枷號を 着けた

weilengge niyalma be dahame, gelhun akū uthai kesi joo be yaruci  
罪 人 であるので, 敢て ただちに恩 詔 を 援用する

ojorakū, soju be guwebufi sindaci acara acarakū babe /88A/  
ことはできない。索柱 を 赦免し 釋放すべきや 否や を,



hese be baimbi, erei jalin gingguleme wesimbuhe.  
旨 を 請う。この 為に 謹 奏す。

“tanggū šusiha tantafi sinda,”  
〔百 鞭うちにして 釋放せよ〕

/B/ huwaliyasun tob i sucungga aniya juwe biyai orin sunja,  
雍 正 元 年 二 月 二十 五日,

beidere jurgan i aliha amban, amban uksun i foge. aliha amban, amban  
刑 部 尚 書 臣 宗室 佛格 尚 書 臣

li ting i, hashū ergi ashan i amban, amban asinai, hashū ergi ashan i  
勵 廷 儀, 左 侍 郎 臣 阿錫鼐, 左 侍 郎

amban, amban wang ging dzeng, ici ergi ashan i amban, amban hūwang  
臣 王 景 曾 右 侍 郎 臣 黃

šu lin,  
叔 琳。

**佛格：雍正元年二月二十五日，刑部奏為軍前逃回人犯請旨摺**

89A / beidere jurgan i aliha amban uksun i foge sei gingguleme  
刑 部 尚 書 宗室 佛格 等が 謹

wesimburengge, hese be baire jalin. baicaci, elhe taifin i susai ningguci  
奏する事, 旨 を 請う為にす。査するに, 康 熙 五十 六

aniya nadan biyade, coohai jurgan ci benjihe bithede, kubuhe fulgiyan i  
年 七 月に, 兵 部 より送った 文書に, 鑲 紅 旗 の

/B/ beye hūsun i faššame cooha de genehe<sup>(9)</sup> gung bihe laiši be  
自 費を以て勉めて 兵務 に 行った 原 任 公 來 什に

dahalame genehe booi funtai nirui uksin dooboo, sula ul, saman, cisil,  
従って 行った 家人 分太 ニルの披甲の 道保, 閑散五兒, 薩滿, 七十兒

temen morin gaifi amasi ukame jihebi, neneme coohai baci ukafi amasi  
が駱駝や馬をつれ 逃げかえって來た。先に 戦 場から逃げ帰った

jihe cahar ba i sula jamsu, darji be, hebei ambasa gisurefi ese /C/  
チャハル地方の閑散 渣木素, 達爾紀を 議政 大臣等が 議し, 彼等が

ukame jidere de, morin be hūlhafi gajihangge, ambula ubiyada,  
逃亡した 時, 馬 を盗んでつれて來たことは, はなはだ憎むべきである。

jamsu, darji be cahar bade benefi geren de tuwabume uthai fafun i  
渣木素, 達爾紀をチャハル地方に送り, 衆 に 示して ただちに法を以て

gamakini seme wesimbuhede, hese, esebe loode horifi coohai baita  
処理したいと 具奏した時, 旨あり, 「彼等を 牢に 入れ, 兵 事が

wajiha erinde, jai gisurefi wesimbu sebehe gingguleme dahafi/90A/  
終わった 時に、再 議し 奏聞せよ」との仰せに 欽 遵し、

dooboo sebe, beidere jurgan de afabufi loode horifi, coohai baita wajiha  
道保 等を、刑 部 に 委し 牢に 入れ、兵 事の 終わった

erinde, jai gisurefi wesimbuki seme dooboo sebe jurgan de benjifi loode  
時に、再 議し 具奏したいと 道保 等を 部 に 送り 牢に

horiha, amala geren baci jafafi benjihe uksin, baitangga, kutule be  
入れた。後に 各 処から捕え送った 披甲、執事人(小役人) 従僕(家人)

inu gemu loode horiha bihe, elhe taifin i ninjuci aniya jorgon/B/biyai  
を亦みな 牢に 入れておいた。康 熙 六 十 年 十 二 月

juwan de, amban meni jurgan i aliha amban bihe toolai sei  
十 日、臣 等の 部 の 尚 書であった 托 頼 等が

wesimbuhengge, ne loode horiha wara weile tuhebuhe, falabure weile  
奏したこと。「現に牢に 監禁し 死 罪に 定め、(又は) 流 罪に

tuhebuhe, coohai baci amasi ukame jihe weilengge urse, uheri emu  
定めた 戦 場 逃 亡 罪人 等は、共に 一

minggan funcembi, gemu emu bade bisire jakade, nimetere, bucerengge  
千 有餘人いる。ことごとく一個所にいる ので、 病人 死 者 が

umesi labdu be /C/dahame, hobdo ulan gūm i bade falabuci acara  
はなはだ多い。このため 和撲多 烏蘭 古木の 処に 流配 すべき

weilengge urse be taka hancikan be tuwame jugūn i ildun de bisire  
罪人 等 を、しばらく、やや近地を みて、 道 の便利な処にある

siowan hūwa, daitung ni jergi fu i harangga jeo, hiyan de dendeme  
宣 化、大 同 等の 府の 所属 州 縣 に 分 け

horibufi, giyamun icihiyame wajiha erinde falabukini, coohai baci  
監禁し、 駅 站が ととのい 終わった 時に 流罪にするように、 戦 場

amasi ukame jihe weilengge ursei /91A/dorgi, uksin, baitangga oci,  
逃 回の 罪人 等の 内、披甲軍人、執事人であれば、

kemuni loode horifi coohai baita wajiha erinde encu wacihiyaki, amasi  
なお 牢に 入れ 兵 事が 終わった 時に 別に 処理したい。逃

ukame jihe kutule hardai sebe gemu beidefi, ukanju kooli songkoi weile  
回して 来た従僕 哈爾代 等を 俱に 審理し、逃亡者の例に 照し 治

arafi wacihiyaki seme wesimbuhede, hese gisurehe songkoi obu sebehe  
罪し 結着したい」と 具奏した時、旨あり、「議に照らしておこなえ」との仰

gingguleme dahafi, /B/ hobdo ulan gūm i bade falabuci acara  
せに欽 遵し、 和撲多 烏蘭 古木 の 処に 流罪 にすべき

weilengge urse be, gemu siowan hūwa, daitung ni jergi fu i harangga  
罪 人 等 を 皆 宣 化, 大 同 等 の 府 の 所 属

jeo, hiyan de dendeme unggifi horibuha ci tulgiyen, coohai baci amasi  
州 縣 に 分 遣 し 監 禁 し た 外, 戦 場 から 逃

ukame jihe kutule sei ejete gemu coohai bade bi, uthai esei jabun  
回 して 來 た 從 僕 等 の 主 人 等 は 俱 に 戦 場 に 有 る。た だ ち に 彼 等 の 供 述

be tuwame /C/ weihuken weile arafi sindara ohode, coohai bade bisire  
を 見 て 輕 罪 と な し 釋 放 し た な ら, 戦 場 に 有 る

hafan, coohai urse, akdahangge kutule, ere mejige be donjifi, teisu teisu  
官 人, 兵 士 等 が 仗 と も 頼 む 從 僕 は, こ の 報 を 聞 き, お の お の

ukame jifi, hafan, cooha joboro de isinara de geleme damu ceni  
逃 げ て 來 て, 官 人, 兵 が 苦 し み を 受 け る に 到 る こ と を 恐 れ た だ 彼 等 の

ejete i juse deote, takūrara aha akū, weile arafi inde amasi  
主 人 等 の 子 弟 等 で 召 し 使 う 奴 僕 を 持 た ぬ 者 に, 治 罪 し て 彼 に 引 渡 し て

bahabureo seme /92A/ ini harangga gūsai bade bithe alibufi, doron  
受 取 ら せ て 下 さ い と 彼 の 所 属 す る 旗 の 処 に 書 を 呈 し, 印 を

gidaha bithe benjihengge be, kooli songkoi weile arafi udu kutule be  
押 し た 書 面 を 送 っ て 來 た。こ れ を 例 に 照 ら し 罪 に 定 め 数 人 の 下 僕 を

sindaha, cooha de holbobuha baita amba seme sirame jai  
釋 放 し た。軍 務 に 關 係 す る と ころ が 大 き い と 思 っ た の で, ひ き つ づ い て ま た,

sindaha ba akū, hardai i jergi jakūnju funcere kutule sebe kemuni  
釋 放 し た こ と は な い。哈 爾 代 等 の 八 十 餘 人 の 下 僕 等 を な お

loode horifi ere erinde isinjabu, /B/ te esebe ukanju i kooli songkoi  
牢 に 監 禁 し こ の 時 に 到 っ て い る。今 彼 等 を 逃 亡 者 の 例 に 照 ら し

weile arafi sindara, eici coohai baita wajiha erinde wacihiyara, eici  
治 罪 し 釋 放 す る か 或 は 軍 務 完 了 の 時 に 處 理 す る か, ま た は

kutule sei ceni ejete i baime sindarao serengge be sindara  
從 僕 等 の 主 人 等 が 願 い 出 て 釋 放 し て 下 さ い と 言 う 者 を 釋 放 す る か と い

babe, amban meni cisui gamara ba waka, dergici  
う こ と を, 臣 等 が ほ し い ま ま に 處 理 す る 処 で は な い。上 か ら 裁 断 し て

lashalarao, erei jalin gingguleme wesimbuhe, /C/ hese be baimbi.  
下 さ い。こ の 為 に 謹 し ん で 奏 聞 す。旨 を 請 う。

“coohai baita wajiha erinde hese baifi sinda, ceni ejete baime  
〔軍 務 完 了 の 時 に 旨 を 請 う て 釋 放 せ よ。彼 等 の 主 人 等 が 請 う て

sindareo serengge bici sinda, urunakū yargiyalafi akdun be  
釋 放 し て 下 さ い と 願 う 者 が あ れ ば 釋 放 せ よ。必 ら ず 明 白 に 確 か め, 確 か な

gaisu, amaga inenggi ceni ejete de gisun bici ojurakū.”  
事実を得よ。後 日 彼等の主人等に 話があってはいけない。]

93A/hūwaliyasun tob i sucungga aniya juwe biyai orin sunja,  
雍 正 元 年 二 月 二十 五日。

beidere jurgan i aliha amban, amban uksun i foge, aliha amban, amban  
刑 部 尚 書, 臣 宗室 佛格, 尚 書 臣

li ting i, hashū ergi ashan i amban, amban asinai, hashū ergi ashan i  
勵 廷 儀, 左 侍 郎 臣 阿錫鼐, 左 侍

amban, amban wang ging dzeng, ici ergi ashan i amban, amban  
郎 臣 王 景 曾, 右 侍 郎 臣

hūwang šu lin.  
黄 叔 琳。

**隆科多：雍正元年三月初一日，吏部奏為少詹事缺請旨補授摺**

93C/hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin,  
吏 部 が 謹 奏すること。 旨 を 請う為にす。

jan ši fu yamun i ilhi jan ši lasihibu tušan ci wesikebi, erei oronde  
詹 事 府 の少 詹 事 拉錫希布は官位が 昇った。この 缺員の

sindarade baicaci, hafan i jergi be toktobuha bithede, /94A ilhi  
任用にさいし、査するに、官員 の品級 を定めた書（品級考）に、 「少

jan ši jingkini duici jergi manju nikan bithe bahanara niyalma be  
詹 事は 正 四 品である。滿 漢の 文書が 読める 者 を

emke baitalaha manggi, manju bithe bahanara niyalma be emke  
一人 用いた 時に 滿 文を 識る 者 を 一人

baitalambi sehebi, beidere jurgan i aliha amban toolai be  
任用する」 と記してある。吏 部 尚 書 托頼 を

hūwaliyasun tob i sucungga aniya aniya biyai orin/B/juwe de weilei  
雍 正 元 年 正 月 二十 二 日 罪を

turgunde duin jergi wasimbufi forgošome baitalara babe dangsede  
犯した故に 四 級 降して 転 用する 事を 檔案に記

ejehebi, baicaci, aliha amban jingkini jai jergi, duin jergi  
しておいた。査べたところ、尚 書は 正 二 品である。四 級

wasimbuci kemuni jingkini duici jergi funcembi, ilhi jan ši i oronde,  
降せば すなわち 正 四 品 餘りとなる。少 詹 事 の 缺員に、

eici jergi wasimbufi /C/forgošome baitalara toolai be baitalara, eici  
或は 降 級 転 用の 托頼 を任用するか、或は

wesici acara icihiyara hafan i jergi hafasa be sindara babe dergici  
陞任さすべき 郎 中 等の 官を 任用するかを 上より

lashalarao, erei jalin gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi.  
裁断して下さい。この為に 謹 奏 す。 旨 を 請う。

/95A/ “jan ši fu bithei yamun i hafasa jin ši ci tucike urse be  
〔詹事府翰林院の官員等には進士出身の人々を

baitalaci acambi, gisurefi wesimbu, toolal be coohai hafan de baitala.”  
用 う べ し。 議して奏聞せよ。托頼を武官に用いよ〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya ilan biyai ice,  
雍 正 元 年 三 月 初一日。

uheri baita icihiyara hafan i jurgan i aliha amban bime uheri da gung  
總 理 事 務 吏 部 尚 書 提 督 公

nakcu amban longkodo, /B/ taidzi taifu dorgi yamun i aliha bithei da  
舅舅 臣 隆科多, 太子太傅内閣大学士

bime kemuni hafan i jurgan i aliha amban i baita be kamcifi icihiyara  
仍 兼 管 吏 部 尚 書 事

amban jang peng ge, ambarame giyangnara hafan hashū ergi ashan i  
臣 張 鵬 翮, 經筵講 官 左 侍 郎

amban amban lesibu, ici ergi ashan i amban i baita be /C/ daiselaha  
臣 勒什布, 署 右 侍 郎 事

amban li fu,  
臣 李 紱。

隆科多：雍正元年三月十四日，吏部奏為入京引見人員請旨摺

97C/ hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, dergi hese be  
吏 部 が 謹 奏する事, 上 諭 を

gingguleme dahara jalin, elhe taifin i ninju emuci aniya jorgon biyai  
欽 奉する 為にす。康 熙 六 十 一 年 十 二 月

tofohon de, uheri baita icihiyara wang ambasa de, /98A/ hese  
十 五 日 總 理 事 務 王 大臣等 に 上

wasimbuhangge, han ama yaya bithe coohai hafasa be emu juwe mudan  
諭を降されたこと。「皇考は諸 文 武 官等を 一 二 度

sabuci, terei gūnin yabun be uthai sambi, inu ejeme mutembi, tuttu  
見れば, その 心や おこないをただちに知られ, 又よく記憶された。この故

ofi, yaya hafasa be gemu gajifi beyebe tuwabume wesimbumbihe,  
に, 諸 官人等を 俱に つれて来て 引 見し上奏するのが常であった。

bi /B/ tuttu muterakū, aikabade gemu ging hecen de gajifi  
 わたくしはこのようなことはできない。もしことごとく 京 師 につれて  
 beyebe tuwabuci, amasi julesi yabure de ce jobombime, ere sidende,  
 来て引見すれば, 往 復 に 彼等は苦しみながら, その 間に  
 geli oron be funtuhulebure daiselabure de isinambi, ereci amasi  
 又 缺員 を 空職にし 代理せしめねばならないであろう。これより後,  
 bithe, coohai hafasa i dorgi, aici /C/ jergi hafasa ci wesihun gajifi  
 文 武 官等 の 内, 何 等の 官等 より以上をつれて来て  
 beyebe tuwabure, aici jergi hafasa be neneme sindafi, amala niyeceme  
 引見させるか。 何 等の 官等 を 先に任用し, 後に 補い  
 beyebe tuwabure babe, suwe bithe hafan oci, hafan i jurgan, coohai  
 引見させるか を(もし)汝等が文官であれば 吏 部, 武  
 hafan oci, coohai jurgan i emgi/99A/ acafi, kimcime tokto bume gisurefi  
 官ならば 兵 部 と 會同し, 詳 確 定 議 し  
 wesimbu sehebe gingguleme dahafi, wang ambasa, amban meni jurgan  
 具奏せよ」と仰せに欽 遵し, 王 大臣等が 臣 等が 部  
 i emgi acafi wesimbuhengge, ereci amasi, biyade sindara icihiyara hafan  
 と會同し, 奏聞した事, 「嗣後, 月分に任用する 郎 中  
 ci fusihūn, jyhiyan ci wesihun hafasa, jai ging hecen de bisire wesimbume  
 より以下, 知縣 より以上の官等, ならびに 在 京 の 陞  
 sindara/B/ hafasa, tulergi ne tušan i hafasa, wesire jalin aisilame  
 用した 官等, 在外の 現 任 官等(および)陞任の為に 捐  
 jafahangge oci, kemuni kooli songkoi beyebe tuwabume wesimbureci  
 納した者ならば, 仍ち 例に 照し 引 見 し 奏聞する  
 tulgiyen, ne tušan i funglu bodome wesimbume sindara, jai dahabume  
 外, 現 任 の俸禄を計り 陞用する(道員, 知府), ならびに保題し  
 sindara, forgošome sindara dooli jyfu ci /C/ fusihūn,  
 陞用する(道員, 知府), 転用し 任用する 道員 知府 以下,  
 jyhiyan ci wesihun hafasa be, gemu gajifi beyebe tuwabure be  
 知 縣 以 上の 官等をしてことごとく 調 來 引見 させること を  
 nakaki seme, elhe taifin i ninju emuci aniya jorgon biyai orin duin de  
 止めたい」と 康 熙 六 十 一 年 十 二 月 十 四 日  
 jedzi arafi wesimbuhede, hese gisurehe songkoi obu sehebe  
 摺子を書き奏聞したところ, 旨を降され, 「議に照らしてなせ」との 仰せ  
 gingguleme /100A/ dahafi dangsede ejehebi, elhe taifin i ninju emuci  
 に欽 遵し, 檔案に 記した。康 熙 六 十 一

aniya juwan biyade, funglu bodome wesimbume sindara dorolon i jurgan  
年 十 月, 俸禄をはかり 推陞任用した 禮 部

i i jy sy i aisilakū hafan juwang cing du i jergi sunja hafan serengge,  
儀制司の員 外 郎 莊 清 度 等の 五 員 というのは,

ging hecen i hafan, jai jyli boo ding fu i /B/amargi jugūn i tungjy  
京師の官であり, 并に直隸保定府の 北 路 の同知

hūwang ši wen emu hafan be, kemuni kooli songkoi beyebe tuwabureci  
黄 世 文 一 員 を 仍 例に 照らし 引 見せしめる

tulgiyen, jai funglu bodome wesimbume sindara, sibiya tatabuha  
外, また 俸禄を はかり 昇 任させる 籤掣(籤引きで就任した)の

jegiyang ni hū jeo fu i tung pan yang ši/C/lu i jergi ninggun hafan,  
浙江 の 湖州府の通 判 楊 世 禄等の 六 員,

jakūn biyade wesimbume sindara sibiya tatabuha gui jeo i sy nan fu i  
八 月に 昇 任する 籤 掣 の 貴 州 の思 南 府の

jyfu li ging hi i jergi juwe hafan, wesimbufi sindaha jyli ho giyan fu  
知府李 敬 熙 等の 二 員, 具題して 補任した 直隸河 間 府

i tungjy g'ao žui emu hafan, gemu gajifi beyebe/101A/tuwabure be  
の同知 高 銳 一 員は, 俱に連れて来て引 見させるのを

nakakini seme hese wasinjire ongolo i hafan be dahame, esebe eici  
止めるようにと 旨を 降される 以前 の 官 であるので, 彼等を或は

kemuni fe kooli songkoi beyebe/B/tuwabure, eici hese be dahame.  
すなわち 旧 例に 照らし 引 見させるか, 或は 旨 に 従 い

beyebe tuwabure be nakafi, hafan i temgetu bithe be fempilefi meni  
引 見 を 止めるか。官 印を 押した 文書 を 封印し おの

meni harangga siyūn fu de unggifi kooli songkoi ilgame tuwafi, hafan i  
おの 所属 巡 撫 に 送り, 例に 照らし 辨別してみる。官 印を

temgetu bithe bure babe hese be baimbi, erei jalin gingguleme wesimbuhe.  
押した文書の発給について 旨を 請う。この 為に 謹 奏す。

/C/“beye be tuwabure naka.”

[引 見 させるのを止めよ。]

hūwaliyasun tob i sucungga aniya ilan biyai juwan duin,  
雍 正 元 年 三 月 十 四 日。

uheri baita icihiyara taiboo hafan i jurgan i aliha amban bime uheri  
總 理 事 務 太保 吏 部 尚 書 提

da, gung nakcu amban longkodo,/102A/taidzi taifu dorgi yamun i  
督 公 舅舅 臣 隆科多, 太子 太傅 内 閣

aliha bithei da bime kemuni hafan i jurgan i aliha amban i baita be  
大 學 士 吏 部 尚 書 事

kamcifi icihiyara amban jang peng ge, ambarama giyangnara hafan  
臣 張 鵬 翮, 經 筵 講 官

hashū ergi ashan i amban amban lesibu, /B/ ici ergi ashan i amban i  
左 侍 郎 臣 勒什布, 署 理 右 侍 郎

baita be daiselaha amban li fu.  
事 臣 李 紱。

### 吏部進呈祖秉圭履歷清單

105A / hūwaliasun tob i sucungga aniya aniya biyai juwan de, hese  
雍 正 元 年 正 月 十 日 旨を

wasimbuhan ge, gui jeo i da ding jeo i jyjeo su lin hūng, ts'i li hiyan i  
奉じたこと。「貴州の大定州の知州蘇霖泓, 慈利縣の

jyhiyan dzu bing gui be gajifi beyebe tuwabume wesimbu sehebe  
知縣祖秉圭を連れて来て引見せしめ奏聞せよ」と仰せられた

gingguleme dahafi, uthai /B/ meni meni harangga siyūn fu de bithe  
のに欽 遵し, ただちに おの おの 所属の 巡 撫に文書を

unggihe bihe, te dzu bing gui jurgan de isinjiabi, dzu bing gui, gulu  
送って いた。いま祖秉圭が 部 に 到った。祖秉圭, 正

šanggiyan i ujen coohai dzu bing heng nirui sui gung, dehi se, ne tušan  
白 旗 の 漢 軍 祖 秉 衡 ニルの歳 貢, 四十歳。現 任

hūguwang ni /C/ yo jeo fu i ts'i li hiyan i jyhiyan, sycuwan i miyan  
湖 廣 の 岳 州 府の 慈 利 縣 の 知 縣, 四 川 の 綿

ju hiyan i jyhiyan bihe dzu wei yoo i jui, ging keo i gūsai da<sup>(10)</sup> bihe  
竹 縣 の 知 縣であった祖維耀の子。京 口 の 協 領であった

dzu guwang si i omolo.  
祖 光 璽の 孫。

“dzu bing gui tuwaci niyalma labdu getuken, hafan i /106A/ jurgan,  
〔祖秉圭を見れば, 人柄は 甚だ 聰明。 吏 部,

boigon i jurgan i aisilakū oronde uthai baitala.”  
戸 部 の 員外郎の 缺員に ただちに用いよ。〕

允禔：雍正元年三月二十三日，禮部奏請欽點鄉試外簾官員摺

106B / dorolon i jurgan i baita be icihiyara, kubuhe suwayan i manju  
管理 禮 部 事務 鑲 黃 旗 滿洲



gūsai gūsai ejen, doroi dorolon giyūn wang, amban yūn too sei  
都 統 多羅 嘉 郡 王, 臣 允 禔 等が

gingguleme wesimburengge, dergi hese be gingguleme dahara jalin,  
謹 奏すること 上 諭 を 欽 奉する為にす。

hūwaliyasun tob i sucungga aniya, ilan biyai orin/C/ juwe de, šūn  
雍 正 元 年, 三 月 二十 二 日, 順

tiyan fu i fu yen i baita be daiselaha boigon i jurgan i icihiyara hafan  
天 府の府 尹 の 事務 を 署理した 戸 部 郎 中

jang tan lin i wesimbuhengge, šūn tiyan i gioi žin simnere de tulergi de  
張 坦 麟の 奏に 「順 天 の 舉 人 試 に 外

tuwame simnere hafan gaire jalin, jyli siyūn fu i amasi benjihe bithede,  
簾 官 を 得る 為に, 直隸 巡 撫の 回 奏した 書に,

/107A/niyalma isirakū sembi, bairengge, jurgan de, hese wasimbufi,  
人が足りないと言っている。どうか 部 に 勅を 降 し,

bithe yabubufi buya tušan i hafasa<sup>(11)</sup> be juwan sonjofi benjibureo  
文を 送り 低い 官位 の官 (小京官) を 十人 選び 送って下さい」

sehebe, jedzi arafi hese be baime wesimbuhede, ineku inenggi,  
と言っていたのを, 奏摺を書き 旨 を 請い 奏聞したところ, 本 日,

dorolon i jurgan i baita be icihiyara dorolon giyūn /B/ wang yūn too  
管 禮 部 事務 嘉 郡 王 允 禔

de dere acafi hese wasimbuhangge, simnere kūwaran i baita, daci  
を 引 見し 旨を 降されて 「貢 院 の事務は, もと

dorolon i jurgan i baita, te dzi gung be benere de, hūsun kadalara  
禮 部 の事であった。いま梓 宮 の 移送 に 工人 取締

hafasa be jing labdu baitalambime, geli yuyure /C/ irgen de salame  
官 を 丁度 多く 用いつつある。又 飢 民 に 賑

aitubure baita bi, neneme fu yen bithe yabubuha de, suweni jurgan ci  
済の 事がある。先に 府 尹が文書を送った 時, 汝等の 部 より

bederebuhengge, ambula acahakūbi, ere gese anataru  
返送 (駁回) したことは, はなはだよろしくなかった。このような推しつけ

oci, adarame baita icihiyambi, ere mudan de tulergi de  
をするようでは, どうして事を処理できよう。この 度, 外

tuwame simnere hafan tucibure baita be, /108A/uthai suweni jurgan  
簾 官 を出す 事を, ただちに汝等の 部

de afaufi hūduu icihiya, jyli siyūn fu i benjihe tulergi de tuwame  
に 交してすみやかに処理せよ。直隸 巡 撫が 送った 外 簾

simnere orin hafan be, yooni ume baitalara, bithei yamun i šu gi ši,  
官 二十員 を、俱に 用いるな。翰林院 の庶吉士、

buya tušan i hafasai dorgi be faida, aika majige tookabure  
小 京 官 の 内から(名を)列べよ。もし 少しでも 遅 悞

goidara oci, drolon i /B/ jurgan i tang ni hafan, sy i hafan,  
することがあれば、禮 部 の 堂 官, 司 官,

simbe suwaliyame bireme gemu ujeleme weile arambi sehebe  
汝を あわせて 一概に ことごとく 重く 治 罪する」 との仰せ

gingguleme dahafi, amban be baicaci, ere aniya juwe biyade, fu yen,  
に欽 遵す。臣 等 査するに、本 年 二 月に、府尹が

amban meni jurgan de bithe yabubuha de, amban be akūmbume  
臣 等の 部 に 書を 送った 時、臣 等は 詳細に

kimcime gisurehekū /C/ uthai bederebuhengge, umesi mentuhun  
酌 議せず、 ただちに返送(駁回)したことは、はなはだ愚昧

hūlhi, wasimbuha hese be gingguleme donjire jakade, alimbaharakū  
のことであった。諭 旨 を 恭 聞した ので、 は な は だ

šurgeme gelefi, uthai jin ši simnere<sup>(12)</sup> de turergi de tuwame simnere  
惶 悚 し、ただちに進士 考試 の 外 簾 に

buya tušan i hafasa be baitalaha kooli songkoi bithe/109A/yabubufi,  
小 京 官 を 用いる 例に 照らし、文を 遣 り、

bithei yamun i šu gi ši, dorgi yamun i jungšu, jai guwe dzi giyan  
翰林院 の庶吉士、内 閣 の 中書、并に國 子 監、

yamun, taicangsy yamun, dai li sy yamun, guwanglusy yamun, jungšu  
太 常 寺、 大 理 寺、 光 祿 寺、 中 書

k'o yamun, hing žin sy i hafasa be ganafi, inenggi teisulebume amban  
科、 行 人 司 の官等 を 取り、日が 到って 臣

meni jurgan ci /B/ hafasai gebu jergi be, gūsin faidame arafi  
等が 部 より 官員等の 名 品級 を 三十名 書きならべ

narhūšame wesimbufi dergici juwan jakūn hafan be tucibureo,  
機密に 上奏する(ので) 上より 十 八 官員を選び出して下さい。

erei jalin gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi.  
この 為に 謹 奏す。 旨 を 請う。

/C/ “ere tuciburede ju ši jang ting ioi tiyan ts'ung diyan jang be hing  
〔この選出にあたり、朱軾、張 廷 玉、田 從 典、張 伯行が

narhušame sonjofi gūsin niyalma i gebube ibebu,”  
機密に 選び 三十 人 の 名を 進めよ。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya ilan biyai orin ilan,  
雍 正 元 年 三 月 二 十 三 日。

dorolon i jurgan i baita be icihiyara, kubuhe suwayan i manju gūsai  
管理 禮 部 事務 鑲 黃 旗 滿 洲

gūsai ejen, doroi /110A/ dorolon giyūn wang, amban yūn too, aliha  
都 統 多 羅 嘉 郡 王 臣 允 禔, 尚

amban, amban gioroi suku, aliha amban, amban jang ting ioi, hashū  
書 臣 覺 羅 蘇 庫, 尚 書 臣 張 廷 玉, 左

ergi ashan i amban, amban ging ži jeng, ici ergi ashan i amban, amban  
侍 郎 臣 景 日 珍, 右 侍 郎 臣

lojan, ici ergi ashan i amban, ashan i /B/ bithei da de yabure, amban  
羅 瞻, 右 侍 郎 在 學 士 裏 行 臣

jiyang ting si, beidere jurgan i hashū ergi ashan i amban, dorolon i  
蔣 廷 錫, 刑 部 左 侍 郎 在 禮

jurgan i ashan i amban de yabure, amban wang ging dzeng, i jy cing  
部 侍 郎 裏 行 臣 王 景 曾, 儀 制 清

li sy i /C/ icihiyara hafan, amban lodan, icihiyara hafan, amban be  
吏 司 郎 中 臣 羅 丹, 郎 中 臣 白

ing hūwai, icihiyara hafan, amban ciyan joo k'ang, icihiyara hafan,  
映 槐, 郎 中 臣 錢 兆 沆, 郎 中

amban lu sy šu, aisilakū hafan, amban miyoošeo, aisilakū hafan, amban  
臣 陸 賜 書, 員 外 郎 臣 苗 壽, 員 外 郎 臣

cenfušeo, /111A/ aisilakū hafan de cendeme yabure, ilaci jergi hiya,  
陳 福 壽, 試 員 外 郎 三 等 侍 衛

hiya i juwan i da<sup>(13)</sup>, amban entei, ejeku hafan, amban gelmin,  
侍 衛 護 軍 校 臣 恩 特, 主 事 臣 葛 爾 敏,

**隆科多：雍正元年四月十一日，吏部奏聞查明何順等員官箴摺**

138A/hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin,  
吏 部 が 謹 奏 する こと, 旨 を 請 う 為 に す。

amban be baicaci, neneme dzung žin fu yamun ci ilaci age benjihe  
臣 等 查 する に, 先 に 宗 人 府 が 三 阿 哥 の 送 った

giyangsi yuwan jeo fu i jyfu li ing, doroi dorolon giyūn wang ni benjihe  
江 西 袁 州 府 知 府 李 英, 多 羅 嘉 郡 王 の 送 った

šen /B/ jeo i jyjeo g'o wei ning, doroi dahashūn giyūn wang ni benjihe  
深 州 知 州 郭 維 寧, 多 羅 承 順 郡 王 の 送 った

juwe hūwai yūn šī hošun sebe benjihebi, ese gemu tulergi hafan  
兩 淮 運 使 何順 等を 咨送してきた。彼等は俱に 外 官で

be dahame beyebe tuwabume wesimbure nakara babe dergici lashalarao  
あるので、引 見 し 奏聞するや 否や を 上より裁断して下さい

seme hūwaliyasun tob i sucungga aniya /C/ juwe biyai orin duin de  
と 雍 正 元 年 十 月 二 十 四 日

wesimbuhede, ineku inenggi hese tulergi de bisire li ing, g'o wei,  
具奏したところ、本 日 旨を奏じたところ、「在外の 李 英、郭 維

ning hošun niyalma antaka babe meni meni harangge dzungdu, siyūn  
寧、何順の 人柄は どうかということを各 自の 所属の 總 督、巡

fu de bithe unggifi getukeleme fonjifi wesimbu sebebe gingguleme  
撫 に 文書を送り 明白に たずねて具奏せよ」と仰せられたのに 欽

dahafi, meni/139A/ meni harangga dzungdu, siyūn fu de bithe unggihe  
遵し、各 自が 所属する 總 督、巡 撫 に 書を送って

bihe, te giyangnan giyangsi dzungdu cabina i benjihe bithede, juwe  
おいた。いま 江 南 江 西 總 督 查弼納の送った 咨文に、兩

hūwai yūn šī hošun<sup>(14)</sup> niyalma kicebe dacun, baita de sain, giyang  
淮 運 使 何順は 人柄が 勤 敏であり、事の処理も良好である。江

ning ni siyūn fu bihe u ts'un li i benjihe bithede, hošun/B/ tušan  
寧 の 巡 撫であった吳 存 禮の送った 咨に、何順は 職務

de emu aniya funcehebi, niyalma kicebe olhoba, baita icihiyara de  
に 一 年 餘り在職し、人柄は 勤 慎であり事務 処理 に

erdemu bi, giyangnan giyangsi dzungdu cabina i benjihe bithede, giyangsi  
才能がある。江 南 江 西 總 督 查弼納が送った 咨に、江 西

yuwan jeo fu i jyfu li ing niyalma juken, an be tuwakiyarakū, jyli  
袁 州 府 知府 李 英は人柄が 凡庸で、本分を守らず、直隸

siyūn fu li wei /C/ giyūn i benjihe bithede, jeng ding fu i šen jeo i  
巡 撫 李 維 鈞 の送った 咨に、真 定 府の 深 州

jyjeo g'o wei ning niyalma nomhon jyjeo de juwan juwe aniya  
知府 郭 維 寧は 人柄が 誠実である。知州に 十 二 年 餘

funcefi šusai irgesa urgunjeme hukšembi seme gemu benjihebi,  
在任し、士も 民も 喜び 感戴していると言って 俱に送報して來た。

baicaci, juwe hūwai yūn šī hošun, yuwan jeo fu i jyfu li ing, /140A/  
査するに、兩 淮 運 使 何順、遠 州 府 知府 李 英、

šen jeo jyjeo g'o wei ning ni jergi ilan hafan be harangga dzungdu, siyūn  
深 州 知州 郭 維 寧 等 三 員 を、所属の 總 督、巡

fu getukeleme baicafi jurgan de boolanjihabi, erei jalin gingguleme  
撫が 明白に 調べ, 部 に 報告している。この 為に 謹しんで

donjibume wesimbuhe,  
奏 聞す。

“ho šun be saha, li ing be neneme hese/B/wasimbufi ice siowen fu  
〔何 順 を知った。李英 は 先に 旨を 降し 新 巡 撫  
de afabuha, g'o wei ning be gajifi beye be tuwabume wesimbu,”  
に 寄托した。郭 維 寧 を 連れて来て 引 見 せしめよ。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya duin biyai juwan emu,  
雍 正 元 年 四 月 十 一 日。

uheri baita icihiyara taiboo hafan i jurgan i aliha amban bime uheri  
總 理 事 務 太 保 吏 部 尚 書 提

da gung nakcu amban longkodo, /C/taidzi taifu dorgi yamun i aliha  
督 公 舅 舅 臣 隆科多, 太子 太傅 内 閣 大

bithei da bime kemuni hafan i jurgan i aliha amban i baita be kamcifi  
学 士 仍 兼 官 吏 部 尚 書 事

icihiyara amban jang peng ge, hashū ergi ashan i amban amban batai,  
臣 張 鵬 翮, 左 侍 郎 臣 巴太,

ambarame giyangnara hafan ici ergi ashan i /141A/ amban amban  
經 筵 講 官 右 侍 郎 臣

fušen, dorgi yamun i ashan i bithei da bime dorolon i jurgan i ashan i  
傳 伸。内 閣 学 士 兼 礼 部 侍

amban kamciha hafan i jurgan i ashan i amban i baita be daiselaha  
郎 署 吏 部 侍 郎 事

amban ši i jy,  
臣 史 貽 直。

**佛格：雍正元年四月二十日，刑部奏聞不准援赦監禁人犯摺**

146C/ beidere jurgan i aliha amban uksun i foge sei gingguleme  
刑 部 尚 書 宗 室 の 佛 格 等 が 謹

wesimburengge, dergi hese be gingguleme dahara jalin. hūwaliyasun tob  
奏すること。上 諭 を 欽 奉する為にす。雍 正

i sucungga aniya duin biyai juwan ilan de, hese wasimbuhangge,  
元 年 四 月 十 三 日, 旨を 奉じたところ,

beidere jurgan i loode enteheme horiha weilengge ursei dorgi še be  
〔刑 部 の 監獄に 永遠に 監禁した 囚 人等の 内に 赦免を

yaruhakū wesimbuhekūngge /147A/ bici baicafi wesimbu, jai hangjeo  
援用されず具題されない者が あれば調査し奏聞せよ。また 杭 州

de falabuha ice manju, monggo, sibe sebe inu getukeleme baicafi  
に 流配された 新 満 洲, 蒙 古, 錫伯 等をまた 明白に 調べ

wesimbu, erebe coohai jurgan de hese wasimbufi, ceni jurgan ci  
具奏せよ。この事を 兵 部 に 旨を 下 し, 彼等の 部 から

hangjeo de falabuhangge bici inu baicafi wesimbukini sebebe  
杭州 に 流配された者があれば, また調べて奏聞するように」との仰せ

gingguleme dahafi, baicaci jiyanggiyūn bihe/B/ siju i booi niyalma ioi  
に欽 遵し, 査するに, 原 任 將 軍 席柱の 家 人 兪

el be, siju i hafan sindara, bošokū uksin gaire baita de hūda toktoleme  
二 は, 席柱が官員を挑放し, 領催 披甲を得る 事 で 値を 定 め

menggun gaime yabuha turgunde, coohai jurgan i jergi yamun ci  
銀を 取った という理由で 兵 部 等の 衙門 から

gisurefi siju be uthai tatame waki, ioi el be uthai sacime waki,  
議し, 席柱 を ただちに絞罪に処したい。兪二をただちに斬罪に処したい。

gūsai da bihe ujj be /C/ siju i emu gūnin i yabuha turgunde, tatame  
原任協領の 吳治を 席柱と同心して 事を行った 故に, 絞

wara weile tuhebufi aliyabuki seme elhe taifin i susai ningguci aniya  
罪 に 処し 監候させたいと 康 熙 五十 六 年

duin biyai juwan juwe de wesimbuhe, hese wasimbure unde ofi, gemu  
四 月 十 二 日 具題した。旨はまだ下されていないので, 俱に

loode horiha bihe, susai uyuci aniya aniya biyai orin juwe de, /148A/  
監獄に入れてある。五十 九 年 正 月 二十 二 日,

siju coohai bade faššame geneki seme wesimbufi altai jugūn de  
席柱は 戦 場で 効 力したいと 奏聞し 阿爾泰 路 に

faššame genehe, jakan cohotoi hese wasimbufi ujj be sindaha, ioi el  
効力に 行った。近ごろ 特 旨を 下 し 吳治 を 釋放された。兪二

be kemuni amban meni jurgan i loode horihabi, jiyanggiyūn bihe  
は 今までどおり臣 等の 部 の 牢獄に監禁してある。原 任 將 軍

galbi be, dzang de seremšeme tekini seme amasi unggire de, galbi/B/  
噶爾弼は, 西藏 で 駐防するようにといいて 帰 し た 時, 噶爾弼は

nimembi seme  
病 と 称し

“galbi be sindafi, ini boode encu hese wasimbure be aliyakini.”  
〔噶爾弼を釋放し, 彼の 家に他の 旨を 下すの を待つように。〕

anagan arame bulcame generakū, hafan efulefi ging hecen de  
口実を 設けて 避けて 行かなかった。官を 革職し、京 師 に

benjibure de, elemangga gūnin cihai jibgešeme jihe turgunde, amban  
送った 時、かえって 勝 手 に ぐずぐずと遅れて来たので、臣

meni jurgan i jergi yamun ci gisurefi, galbi be uthai sacime waki  
等 の 部 等の衙門から 議 し、噶爾弼を 斬立決に 処したい

seme elhe taifin i ninju emuci aniya omšon biyai ice /C/ ilan de  
と 康 熙 六十一年十一月初三日

wesimbuhe, hese wasimbure unde ofi, galbi be kemuni loode  
具題した。旨は まだ下されていないので、噶爾弼 を そのまま監獄に

horihabi, eseci tulgiyen loode enteheme horiha, še be yaruhakū  
入れてある。彼等の外には 監獄に永遠に囚禁し、赦免の例を援用されず

wesimbuhekū weilengge urse akū, jai amban meni jurgan i loode  
具題もしていない 囚 人等はいない。また 臣 等が 部 の 牢に

horiha argai waha, jortai waha, juwan ehe še de guweburakū  
監禁した謀 殺、故 殺 十 悪で赦免の例によって寛免されない

uheri ninju weilengge niyalma be inu/149A/še be yarufi wesimbuhe  
合計 六十人の 囚 人についてまた 赦免を 援用し 具題したこと

ba akū, jai hangjeo de falabuha urse be baicaci, gabsihiyan i janggin  
がない。また杭 州 に 流配した人々を調べたところ、原 任 前 鋒 参 領

bihe kalgišan be, buni gung ilan giyamun tookabuha babe neneme  
喀爾紀善 を、布尼 公が 三 站を 遅らせたことについて 先に

fonjiha de yargiyan seme wesimbuhe bime, ambasa de  
訊問した時、真実であるといつて上奏しておきながら、大人等 に

“kalgišan fe han ama i jakade hūsun buhe niyalma, asuru  
〔喀爾紀善はもと皇 考 の 傍で 力を効した 人である。はな

ehe weile arahakūbe dahame, amasi ging becen de gaju.”  
はだしい悪罪を犯していないから、後に 京 師に連れて来い。〕

afabufi fonjire de, yargiyan be tuciburakū faksidame jabuha  
交與して訊問したところ、真 実 を 供述せず 甘言を弄して 答えた

turgunde, selhen šusiha weile tuhebufi dehi ningguci aniya /B/ juwan  
ので、枷號 鞭打の 刑に 処し 四十 六 年 十

biyai orin nadan de wesimbuhede, hesei juse sargan be suwaliyame  
月 二十 七 日 奏聞したところ、旨を下され、妻 子 を 共 に

hangjeo de falabuhabi, ningguta de tehe gulu fulgiyan i baksan nirui  
杭 州 に 流配した。寧古塔 に 居住する正紅旗 の 巴克散ニルの

baitalabure hafan cige, ini deo sula harbu, mari i emgi niyalmai  
 騎 都 尉 七哥が、彼の 弟の 閑散 哈爾布、馬哩 と 共に 人 の  
 eitereme hoššoho haha jui syl, lio el be udaha turgunde, mukden ula i  
 誘 拐した 男 子 四兒、六 兒を 買った ので、「盛京 烏喇  
 jergi bade tehe urse turgun be kimcirakū balai /C/ niyalma be  
 等 処に 居住した人が 來歴 を 調べず みだりに 人 を  
 udaci, encu boigon i niyalma be giyangning, hangjeo de unggifi  
 買ったなら、別の 戸 の 者 を 江 寧 杭 州 に 遣り  
 uksin etubu sehe kooli songkoi cige be hafan efulefi, harbu, mari  
 披甲を着せよ」と仰せられた例に照らし、七哥を 革 職し、哈爾布、馬哩  
 be suwaliyame gemu hangjeo de falabuhabi, girin i ula<sup>(15)</sup> de tehe gulu  
 と 一緒に 俱に 杭 州 に 流配した。吉林の烏喇 に 居住した正  
 suwayan i tenu nirui sula sijintai be, da turgun be kimcirakū balai  
 黄 旗 の特努 ニルの閑散 錫進泰 を、來 歴 を 調べず みだりに  
 ukanju šuwang ding sebe udaha turgunde, hangjeo de falabuhabi,  
 逃亡人 雙 頂 等を 買ったという理由で 杭 州 に 流配した。  
 /150A/ kubuhe fulgiyan i guwamboo nirui sibe<sup>(16)</sup> uksin eltebu be, emu  
 鑲 紅 旗 の 關保 ニルの錫伯 披甲厄爾忒布を、ある  
 gūsai tustu nirui sibe uksin mungke be huwesilehe turgunde, hangjeo  
 旗の 兎思兎ニルの錫伯 披甲 孟克 を短刀で突いたという理由で、杭州  
 de falabuhabi, mukden de tehe kubuhe lamun i booi mampi nirui ton i  
 に 流配した。盛 京 に 居住した鑲 藍旗 の包衣 滿丕 ニルの 屯  
 haha jeo da. wang lio be, /B/ da turgun be kimcirakū balai hoššome  
 丁 周 大、王 六 を、來 歴 を 調べず みだりに 誘  
 tucibuhe giol be udaha turgunde, giyangnan de falabuhabi, mukden  
 拐した 九兒 を 買ったという理由で、江 南 に 流配した。盛 京  
 de tehe gulu lamun i tosi nirui sula cen guwe cing be, da turgun be  
 居住の正 藍旗 の拖西ニルの閑散 陳 國 清 を 來 歴 を  
 kimcirakū hoššome tucibuhe g'an šeng be diyanlaha turgunde,  
 調べず 誘 拐した 赶 生 を 典当 (質入れ) にした理由で、  
 giyangnan de falabuhabi, /C/ gulu suwayan i ocir nirui uksin anggirda  
 江 南 に 流配した。正 黄 旗 の岳七爾ニルの披甲昂紀爾達  
 be, ini eshen ocir be tooha turgunde, selhen šusiha weile tuhebufi  
 を、彼の叔父 岳七爾を 罵ったという理由で、枷號 鞭打ちの罪に 定めて  
 wesimbuhede, hesei halafi hangjeo de falabuhabi, gulu fulgiyan  
 具題したところ、旨あり、変更して杭州 に 流罪に処した。正 紅 旗



i orhon nirui sula sibe barhū, gulu šanggiyan i udari nirui sula sibe  
 の鄂爾渾ニルの閑散錫伯の巴爾虎, 正 白 旗 の 吳達礼ニルの閑散錫伯  
 nomci, gulu šanggiyan i /151A/ fude nirui sula sibe bededzi, kubuhe  
 の諾母七, 正 白 旗 の 富徳 ニルの閑散錫伯の白達子, 鑲  
 fulgiyan i eršeo nirui sula sibe erne, kubuhe šanggiyan i tetun nirui  
 紅 旗 の厄爾寿ニルの閑散 錫伯の厄爾納, 鑲 白 旗 の忒吞ニルの  
 sula sibe barantai, kubuhe šanggiyan i tetun nirui sula sibe nio hūwang  
 閑散錫伯の巴蘭太, 鑲 白 旗 の忒吞ニルの閑散 錫伯 牛 黃  
 be, gemu ududu mudan butu hūlha yabuha turgunde, hangjeo de  
 を, 俱に 数 度 竊 盜を おこなったという理由で, 杭州 に  
 falabuhabi, kubuhe lamun i canglu nirui /B/ sibe uksin garsa, gulu  
 流罪に処した。鑲 藍旗 の 常禄 ニルの 錫伯 披甲の噶爾賽, 正  
 suwayan i sartai nirui bošokū šeren booi monggo haha ina, kubuhe  
 黃 旗 の 薩爾泰ニルの 領 催 舍楞 家下の蒙古 男丁伊奈, 鑲  
 šanggiyan i manse nirui sula aibiha booi monggo haha banjor, kubuhe  
 白 旗 の 蛮色 ニルの 閑散艾必哈 家下の蒙古 男丁 班柱兒, 鑲  
 šanggiyan i boojū nirui sibe uksin temdi, kubuhe fulgiyan i booi  
 白 旗 の 保柱 ニルの 錫伯 披甲 忒母第, 鑲 紅 旗 の 包衣  
 sehengge nirui cahar monggo yatu, gulu suwayan i booi foron /C/  
 色亨額 ニルの チャハル蒙古の 雅図, 正 黃 旗 の 包衣 佛倫  
 nirui sula sibe bucuku, gulu lamun i sangge nirui funde bošokū bihe  
 ニルの閑散 錫伯の布諸庫, 正 藍旗 の 桑格 ニルの驍 騎 校であった  
 šoboha booi monggo jama kubuhe lamun i ciši nirui sula sibe erenci  
 舒布哈 家下の蒙古 扎馬, 鑲 藍旗 の七十ニルの 閑散錫伯の額林七  
 be, gemu arki nure omime ehe facuhūn yabuha turgunde, hangjeo de  
 を, 俱に 酒 を 飲んで凶悪 乱暴をおこなったという理由で, 杭 州 に  
 falabuhabi, kubuhe suwayan i heo piyantu nirui adun i niyalma /152A/  
 流配した。鑲 黃 旗 の侯の 偏図 ニルの 馬上 人  
 sibe artuhū, kubuhe lamun i monggo gūsai saifitu nirui sibe uksin  
 錫伯の阿爾図虎, 鑲 藍旗 の 蒙古 グサの塞費図 ニルの 錫伯披甲  
 ubaši, gulu šanggiyan i cangjiboo nirui sibe uksin ayusi, gulu suwayan  
 五八十, 正 白 旗 の 常濟保 ニルの錫伯披甲の阿禹錫, 正 黃 旗  
 i nuktere ba i cahar gūsai bajar nirui suruk<sup>(17)</sup> niyalma bandarsi booi  
 の 遊牧地 のチャハルグサの巴扎兒ニルの馬 群 人 頒達爾璽家下の  
 ukertai be, gemu alban i morin be hūlhame uncaha turgunde, hangjeo  
 吳可兒忒を, 俱に 貢賦 の 馬 を 盗んで 売ったという理由で, 杭 州

de falabuhabi, /B/ kubuhe suwayan i cahar gūsai jangnai nirui sula  
に 流配した。 鑲 黄 旗 のチャハルグサの張奈 ニルの閑散

monggo šajin be, morin hūlhaha turgunde, tulergi golo be dasara jurgan  
蒙古 沙進 を, 馬を 偷んだという理由で, 理 藩 院 か

ci, sacime wara weile tuhebufi wesimbuhede, hesei wara be guwebufi  
ら, 斬 刑に 定めて 具題したところ, 旨を以て死罪を 冤 し,

hangjeo de falabuhabi, gulu šanggiyan i surana nirui sibe uksin gani  
杭 州 に 流配した。 正 白 の蘇爾那 ニルの錫伯 披甲 噶尼

be, /C/ ini booi niyalma be gaifi hūlha be jafara yamun i niyalma  
を, 彼の家 人 を つれて捕 盜 廳 の 役人

wang ming jang ni jafaha weilengge niyalma han ši ao be durime  
王 明 彰 が 捕えた 罪 人 韓 世 鰲 を 奪い

gamafi sindaha turgunde, hangjeo de falabuhabi, gulu šanggiyan i  
取り 釋放したという理由で, 杭 州 に 流配した。 正 白旗 の

fucengge nirui sula yatu be arki nure omime ehe facuhūn yabuha  
傳成額 ニルの閑散雅図 を 酒 を 飲み 凶悪乱暴な振舞があったと

turgunde, /153A/ ilan halai bade falabure weile tuhebufi wesimbuhede,  
いう理由で, 三 姓の処に 流 罪に 定めて具題したところ,

hesei halafi giyangnan de falabuhabi, kubuhe šanggiyan i subai  
旨を以て変更し, 江 南 に 流配した。 鑲 白旗 の 蘇拜

nirui sula sibe šarji be, ilan mudan ukaka turgunde giyangnan de  
ニルの閑散 錫伯の沙爾紀を, 三 度 逃亡したという理由で, 江 南 に

falabuhabi, ereci wesihun, ne loode horifi /B/ še be yaruhakū  
流配した。 以 上, 現在 牢獄に監禁して 恩赦 を 援用されず,

wesimbuhekū weilengge niyalma juwe, hangjeo de falabuha sula monggo,  
具題していない 囚 人は 二人, 杭 州 に 流配した閑散 蒙古,

sibe orin ilan, aha monggo duin, giyangnan de falabuha sula sibe  
錫伯は二十三人, 家下の蒙古は 四人, 江 南 に 流配した 閑散錫伯

sunja erei jalin gingguleme donjibume wesimbuhe.  
は五人, この為に 謹んで 奏 聞す。

/C/ hūwaliyasun tob i sucungga aniya duin biyai orin,  
雍 正 元 年 四 月 二十日。

beidere jurgan i aliha amban, amban uksun i foge, aliha amban,  
刑 部 尚 書 臣 宗室 佛格, 尚 書

amban li ting i, hashū ergi ashan i amban, amban asinai,  
臣 勵 廷 儀, 左 侍 郎 臣 阿錫鼐。

張鵬翮：雍正元年四月二十日，吏部為回奏捐修營房議叙等摺

154A／hafan i jurgan i jergi yamun i gingguleme wesimburengge, hese  
吏 部 等の衙門 が 謹 奏する事。 旨

be dahame jabume wesimbure jalin, hūwaliasun tob i sucungga aniya  
に 遵い 回 奏する 為にす。 雍 正 元 年

duin biyai tofohon de, aliha bithei da be hūwang tucibuhe sycuwan i  
四 月 十五 日，大 学 士 白 潢 が 提出した 四 川

goloi coohai urse de tebure /B/ boo be aisilame weilehe hafasa be  
省の 兵 士 等 を 住ませる 營房を 捐 造する官員等 を

ilgame gisurehe baita, fulgiyan fi i araha hese, ere gisurehe bade, boo  
叙任の為に議した事は， 硃 批 諭 旨に，「この論議の中で， 房屋

be aisilame weilehengge, cooha bade hūsun bume faššame yabuha urse  
を 捐 造する事は， 戦 場で 力をつくし 勤め おこなう人々

de duibuleci, majige ja i gese, /C/ adarame ja i gese i  
に較べれば， やや容易なようだと 言っている。如何して（それが） やさしい

babe tucibume wesimbu, eici menggun adali akūo, yan i ton ujen  
事なのか， 陳述し具奏せよ。 或は銀兩が 一様でないのか。 兩 の 数の 重

weihuken adali akūo, bi ulhirakū, jai ere baita be juwe aniya  
軽が一様でないのか。 わたくしにはわからない。 またこの 事 を 二 年間も

gisurefi wesimbuhekū turgun be inu tucibu, jai niyan geng yoo be  
議 奏しなかった 理由 を また陳述せよ。 また 年 羹 堯 を

/155A/ jurambufi ere baita be wesimbuhengge, ai gūnin be inu  
出發させながら， この 事 を 具奏したことは， 何 のつもりなの

tucibu, hachihiyame niyan geng yoo ubade bisire be amcame  
か陳述せよ。 ことさらに 年 羹 堯がここに いるの に 追って

wesimbuki sembihe, amcabuhakū ofi wesimbuhe gisun ogorakū,  
上奏したいと言っていた。 追っても及ばないのに上奏の言葉を用いてはいけない。

encu jabume wesimbu, enenggi soorin de tehe han, /B/ nenehe aniyai  
別に 回 奏せよ。 今日 皇位 に ある 汗は（すなわち）先 年の

hūwaliasun wang be ambasa ongorakū oci teni sain, teisu teisu  
雍 王であることを諸臣等が忘れないなら それでよい。 各 自

dere be gūnime tondoi baita be icihiya, ere durun i mini gūnin be  
面目 を 思い 公正に 事 を処理せよ。 この 様 に わたくしの心を

šahūrabuci ishunde aisi akū sehe, geli /C/ hese wasimbuhangge,  
寒からしめるならば互に利益がないぞ」と仰せられた。 また旨をを奉じたと

fulgiyan fi i šurdehe ambasai teile jabume wesimbukini  
 ころ、「硃 筆を以て圓を書いた大臣等 だけが 回 奏するように」と

sehebe gingguleme dahafi, amban be baicaci, sycuwan i coohai urse  
 の仰せ に欽 遵し、 臣 等 査するに、 四 川 の 兵 士 等

de tebure boobe aisilame weilehengge, daci seremšeme tehe hafan coohai  
 に 居住 房屋を 捐 造する事は、もと 駐 防 官 兵 の

jalin, /156A/ si ning ci dzang de dosika ursei hūsun bume faššaha  
 為である。 西 寧から西藏 に 入った人々が効力 奮勉したこ

ci encu akū bime, amban be majige ja i gese seme gisurehengge,  
 と異なるものではなく、 臣 等がいささか容易なように議していたことは、

mentuhun hūlhi ten de isinahabi, enduringge ejen bulekušehengge umesi  
 愚 昧の 至りでありました。 聖 主の洞鑑はまことにその通

inu, ede /B/ jabure gisun akū, ere baita be elhe taifin i ninjuci  
 りで、これに 辯解の言葉ありません。この 事 を 康 熙 六十

aniya jakūn biyai gūsin de, coohai jurgan ci, hafan i jurgan de yabubuha,  
 年 八 月 三十 日、 兵 部 から、 吏 部 に 行文し、

hafan i jurgan ci, sycuwan i dzungdu de baicaname unggifi ninju emuci  
 吏 部 から 四 川 總督 に 調査に 遣り 六十 一

aniya sunja biyai orin ninggun de amasi /C/ bithe benjihe manggi,  
 年 五 月 二十 六 日、 文書を 回奏した 後、

ninggun biyade hafan i jurgan ci, weilere jurgan de ilgame gisurehe  
 六 月 に 吏 部 から、 工 部 に叙任するよう議した

fe baita be baicanaha, nadan biyade weilere jurgan ci, umai ilgame  
 旧 案 を 行って査べた。七 月 に 工 部 から、 全く 議 叙

gisurehe baita akū seme benjihe be, hafan i jurgan ci, uyun king  
 の 案件 はないと 咨覆して來たのを、 吏 部 から、 九 卿

ni emgi acafi /157A/ ilgame gisurebureo seme wesimbuhede, jakūn biyai  
 と共に會同し、 議叙して下さい と 奏請したところ、 八 月

juwan emu de, hese, gisurehe songkoi obu sehe, tere  
 十 一 日、 旨を奉じたところ「議の 如く せよ」と仰せられた。その

fonde uthai tokto bume gisurefi wesimbuci acambihe, ere aniya ilan  
 時に ただちに 定 議 し 具 題 すべきであった。今 年 三

biyai juwan duin de uyun king ci teni tokto bume gisurehengge, /B/  
 月 十 四 日、 九 卿 よりはじめて定 議したことは

elhešeme goidabuha weile ci guweci ojurakū, ilan biyai juwan  
 遅 延 の 咎 を免かれることはできない。 三 月 十

duin de toktobume gisurefi, wesimbu sere hergen arafi hafan i jurgan  
四 日、定 議 し 具題せよ と 文書を 記し 吏 部

de afabuha, hafan i jurgan ci duin biyai juwan duin de wesimbuhe,  
に 交與した。吏 部 から 四 月 十 四 日、具題した。

amban mende yargiyan i niyan /C/ geng yoo i genehe amala teni  
臣 等には まこと に 年 羹 堯 が 行った後に はじめて

wesimbuki sere gūnin akū, eiterecibe amban be ere gese uhei acafi  
具奏しようという意はなかった。要するに 臣 等はこのような合同 會

gisurere siden i baita be hūdun wacihiyarakū elhešeme goidabuha,  
議 の 公 事 を すみやかに処理し終らず 遅 延させた。

enduringge ejen gosime uthai weile gisureburakū /158A/ amban  
聖 主は 憐れみ ただちには罪を 論 ぜ ず, 臣

membe jabume wesimbu sere jakade, amban be alimbaharakū gelembike  
等 に 回 奏せよと仰せられたので、臣 等は はなはだ 惶 れ

yertešembi, damu nenehe waka (yabun)<sup>(18)</sup> be halafi baita tome  
愧じ入った。ただ 先の 愆 (轍) を 改め, 事 ごとに

gingguleme kiceme (hūdun wacihiyame)<sup>(19)</sup> enduringge ejen i gūnin  
慎 勤し (すみやかに処理し終り), 聖 主 が 専

sithūfi dasan be kicere ten i gūnin de tumen de/B/emgeri acabuki,  
心 圖 治 の 至 意 に 萬 一にも仰副したい。

bairengge, ejen kesi isibume ilgame gisurehe da ben be, amban mende  
どうか 主が 恩を施こし 議 叙 の 原本 を 臣 等に

šangname bufi, uyun king ni emgi acafi dasame gisurebureo, erei  
賞 與し, 九 卿 と共に 會同し, 改めて 議させて下さい。この

jalin gingguleme wesimbuhe.  
為に 謹 奏す。

/C/ “saha, ereci amasi ere jergi cisui jemden yooni baitakū, heni  
〔見た。これ 以後, これ等の 勝手な弊害はすべて無用である。いさ

derencuki sere, heni nimecuke tuwabure (tuwabuki sere)  
さかでも依怙最肩をし, いささかでも 憎み 見 る (見ようとする)

gūnin bici, ambasa bai yertecun be baire dabala, uhei de tusa akū,  
心があれば, 大臣等はただ 愧 を 招くだけである。ともに 益は ない。

damu tondo giyan be jafafi yabuci sain, minde acabuki sehei  
ただ 公 理 を 取っておこなえばよい。わたくしの意に添いたいと

elemangga unthuri ombi, ejen amban i doro ishunde damu  
言いながら, かえて徒に空しくしている。君 臣 の道は 互に ただ

unenggi be tuwabume ishunde tacibume jombume uhei emu gūnin  
誠 を 示しあい 互に 教え 勧めあい、すべてに一つ心になっ

i amba giyan be jafafi yabuci, ere jergi bocihe aibici tucimbi,  
て 大 理 をとっておこなえば、これ等の 醜態は何処から出て来よう。

ginggule, hala.”  
謹め、 改めよ]

hūwaliyasun tob i sucungga aniya duin biyai orin,  
雍 正 元 年 四 月 二十日。

taidzi taifu wen hūwa diyan i aliha bithei da bime kemuni hafan i  
太子 太傅 文 華 殿 大 学 士 兼 管 吏

jurgan i aliha amban i baita be kamcifi icihiyara amban jang peng ge,  
部 尚 書 事 臣 張 鵬 翮,

/159A/ boigon i jurgan i aliha amban amban sunjaci, aliha amban  
戸 部 尚 書 臣 孫查齊, 尚 書

amban tiyan ts'ung diyan ici ergi ashan i amban amban jang be hing,  
臣 田 從 典, 右 侍 郎 臣 張 伯 行,

ambarame giyangnara hafan coohai jurgan i aliha amban amban sunju,  
經 筵 講 官 兵 部 尚 書 臣 孫柱,

ambarame giyangnara hafan ici ergi ashan i /B/ amban bime bithei  
經 筵 講 官 右 侍 郎 兼 管 翰

yamun i ashan bithei da i baita be kadalabuha amban akdun,  
林 院 掌 院 学 士 事 臣 阿克敦,

ambarame giyangnara hafan weilere jurgan i aliha amban, šu gi ši  
經 筵 講 官 工 部 尚 書 教習庶吉士

be tacibure amban sioi yuwan meng, aliha amban amban li siyan fu,  
臣 徐 元 夢, 尚 書 臣 李 先 復,

/C/ ambarame giyangnara hafan uheri be baicara yamun i hashū  
經 筵 講 官 都 察 院 左

ergi ashan i baicara amban amban li fu.  
副 都 御 史 臣 李 紱。

允禩：雍正元年四月二十四日，工部奏為委員防守堤岸請旨摺

173A/weilere jurgan i baita be icihiyara, hošoi hanja cin wang, amban  
管 理 工 部 事務 和碩 廉 親 王, 臣

yūn sy sei gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin amban be  
允 禩 等が 謹 奏する事, 旨 を請う為にす。臣 等が

baicaci, ši ging šan i dalan be seremšeme tuwakiyara de, duleke  
査するに、石 景 山 の 堤防を 防 守する時、 去

aniya sindara be aliyara aisilakū hafan /B/ šoo ši biyoo, cihanggai  
年、 候 選 員 外 郎 邵 士 標が、情願して

jingkini ciyanliyang be acinggiyarakū, beye hūsun i ulejehe efujehe  
正項 錢 糧 を 使用せず、 自らの資力を以て 崩 壊した

babe akdun beki obume dasatame weilefi, juwari bolori juwe forgon i  
処を 堅 固に なし 修 築し、 夏 秋 兩 季 の

muke be seremšeme tuwakiyaki, baita wajiha manggi, kooli songkoi  
水 を 防 守したい。工事が 終ったら、 例に 照らし

ilgame gisurereo seme bithe alibuha be, amban meni jurgan ci /C/  
議 叙して下さい と 文を 呈したのを、 臣 等の 部 より

dalan be tuwakiyara de tucibuhe icihiyara hafan fursai de afabufi,  
堤防 防 護 時に 出向させた 郎 中 傅爾賽に 命じ、

dasataci acara, weileci acara babe tuwame jorime weilebufi, juwari  
修理(すべき) 造築すべき 処を 見て 指示し 造営させ、 夏

bolori juwe forgon i muke be akdulame dulembuhe manggi, baicame  
秋 兩 期 の 水 を 保護し 流過させた後、 視 察

tuwafi gisurefi wesimbuki seme, wesimbufi yabubuha be dangse de  
し 議 奏 した い と 奏聞し、 事の次第 を 檔案に

/174A/ ejehebi, te ši ging šan i dalan be tuwakiyara  
書き記しておいた。今 石 景 山 の 堤防 を 看守する

icihiyara hafan fursai, šoo ši biyoo i beye hūsun i weilehe weilen i  
郎 中 傅爾賽は、邵 士 標 が自分の資力 を以て造営した工事の

jang jy, baitalaha menggun i ton be dangse arafi boolanjihabi, erebe  
丈 尺、使用した 銀 兩 の数目を 檔子に書いて 報告した。これを、

amban meni jurgan i ere baita icihiyaha fe ambasa beye weilen i bade  
臣 等が 部 のこの件を 処理した旧 臣等が 自分で工事 現場に

genefi kimcime baicame /B/ miyalifi getukeleme bodoho manggi, jai  
行き 詳しく 調べ 測量し 明白に 計った 後、 また

hafan i jurgan i emgi acafi ilgame gisurefi, encu wesimbureci tulgiyen,  
吏 部 と 合同し 議 叙し 別に 具題をおこなう 外、

baicaci, ši ging šan i dalan holbobuhangge umesi oyonggo, ne  
査するに石 景 山 の堤防は、關係するところがはなはだ緊要である。今は

juwari forgon jing /C/ seremšeme tuwakiyara erin, ere aniya umai  
夏 季、 正しく 防 守の 時である。今 年は 一人も

cihanggai beye hūsun i aisilame tucibufi dalan be seremšeme tuwakiyaki  
情願して 自分の 資金 を 捐 出し 堤防 を 防 守したい

seme bithe alibuha niyalma akū be dahame; amban meni jurgan i ejeku  
と 書き 具呈した 人は ない ので、 臣 等の 部 の 主

hafan fumingde be tucibufi gingguleme seremšeme tuwakiyabume erin  
事 富明德 を 出向させ 謹んで 防 守させ 不

akū baicabuki, aikabade dasatame weileci acara ba bici, uthai  
時に 査 看させたい。もし 修 造すべき 処があれば、ただちに

jurgan de boolanjibufi, amban meni beye genefi getukeleme baicame  
部 に 報告させ、 臣 等が 自ら 行き 明白に 査

／175A／tuwafi kimcime salibufi fumingde ciyanliyang bufi akdun beki  
看し 詳細に 調べ 値を定め 富明德に 錢 糧 を 與え 堅 固 に

obume dasatame weilebuki, juwari bolori juwe forgon i muke wasinjire  
なさせ 修 造させたい。夏 秋 二 期 の 水が 流れ下る

be akdulame tuwakiyame dulembuhe manggi, baitalaha ciyanliyang be  
のを 防 護し 流過させた 後、 使用した 錢糧 を

kimcime getukeleme bodofi donjibume wesimbuki sembi erei jalin  
詳細に 調べ 明白に 計り 奏 聞したいと思う。この 為に

gingguleme /B/ wesimbuhe, hese be baimbi.  
謹 奏した。 旨 を 請う。

“fursai šao ši biyao be akdulaha be dahame, uthai fursai be unggī,  
〔傳爾賽は 邵 士 標 を 保舉したのだから、すなわち 傳爾賽を 遣わせ、

dalan de heni endebure turgun bici, fursai baru gisure,  
堤防 に いささかでも 過失を 犯す 事情があれば、 傳爾賽に 向かって 言え。

ciyanliyang be fursai udu gaiki seci udu bu, tang ni  
錢 糧 を 傳爾賽が いくらか 取りたい と言え ば いくらか 與えよ。 堂

ambasa baicaralangge /C/ baitakū, ši ging šan i aisilarangge gurun  
官等が 調べることは 無用である。 石 景 山 の 捐納は 國民の

i gubci sarangge, ere baita be uttu icihiyafi minde  
全てが 知っている ところである。この 事 を かように 処理し、 わたくしに

wesimbuhangge, suwe geli mimbe onggoobi, šoo ši biyao be  
奏聞することは、 汝等は 又 わたくしを 忘れていたのだ。 邵 士 標 を

suweni weilere jurgan i akdulaha ambasa ilgame gisurefi wesimbu.”  
汝等の 工 部 の 保舉した 官人等が 議 叙し 奏聞せよ。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya duin biyai orin duin,  
雍 正 元 年 四 月 二十 四日。



weilere jurgan i baita be icihiyara, hošoi hanja cin wang, amban yūn sy,  
管理工 部 事務 和碩 廉 親 王 臣 允 禩,

weilere jurgan i aliha amban sioi yuwan meng, /176A/ aliha amban,  
工 部 尚 書 徐 元 夢, 尚 書

amban li siyan fu, hashū ergi ashan i amban, amban hoo lin, ici ergi  
臣 李 先 復, 左 侍 郎 臣 郝 林, 右 侍

ashan i amban, amban yentai, du šui sy icihiyara hafan, amban jesuyan,  
郎 臣 尹 泰, 都 水 司 郎 中 臣 哲 先,

icihiyara hafan, amban si yuwan, aisilakū hafan, amban hūwašen,  
郎 中 臣 席 璦, 員 外 郎 臣 花 申,

aisilakū hafan, amban cen li jung.  
員 外 部 臣 陳 履 中。

隆科多：雍正元年四月二十四日，吏部奏明輪班補用捐納人員摺

182A/ hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, getukeleme  
吏 部 が 謹 奏する事, 明かに

wesimbure jalin, amban be baicaci, dzungdu niyan geng yoo i  
奏する 為にす。臣 等が 査するに, 總督 年 羹 堯 が

wesimbufi neihe si an de aisilame jafabure kooli, boigon i jurgan de  
奏し 開いた 西 安 に 捐 納させる 例, 戸 部 に

aisilame jafabure kooli, altai jugūn i bele juweme aisilame jafabure  
捐 納させる 例, 阿爾泰 路 の米を 運んで 捐 納させる

/B/ kooli, ere ilan hacin i kooli de aisilara urse be, gemu hebe ci  
例, この 三 件 の 例 に捐納する人々を, ことごとく會議により

toktobume gisurefi idu de dosimburakū utai baitalambi, aikabade  
定 議し 班次 に 入れず ただちに 補用する。も し

jurgan de isinjiha inenggi nenehe amaga be tuwame baitalaci, neigen  
部 に 到った 日の 先 後 を みて 補用すれば, 公平で

akū ombi, uttu be dahame, ere ilan hacin i /C/ aisilaha niyalma be  
なくなる。この 故に, この 三 項 の 捐 納 者 を

ceni aisilara idu de isinaha manggi, idurame si an de aisilaha  
彼等が捐納する班次に 到った ら 当番にあて, 西 安 に 捐納した

niyalma emke, boigon i jurgan de alsilaha niyalma emke, altai jugūn  
人 一人, 戸 部 に 捐納した人 一人, 阿爾泰 路

de aisilaha niyalma emke be baitalaki, ere idude, ere emu hacin i  
に 捐納した 人 一人 を 用いたい。この班次に, この 一 項 の

aisilaha niyalma akū oci /183A/ uthai sirame idu i niyalma be baitalaki,  
捐納 者が なければ ただちに次の 当番の 人 を補用したい。

uttu ohode, neigen bime, temšere habšara de isinarakū ombi, erei  
かようにすれば、公平であって、争いや 告訴 に 到らないであろう。この

jalin gingguleme wesimbuhe.  
為に 謹 奏す。

“umesi inu songko”  
〔はなはだ是なり、議に遵え。〕

/B/ hūwaliyasun tob i sucungga aniya duin biyai orin duin,  
雍 正 元 年 四 月 二十 四日。

uheri baita icihiyara taiboo hafan i jurgan i aliha amban bime uheri da  
總 理 事 務 太保 吏 部 尚 書 提 督

gung nakcu amban longkodo, /C/ taidzi taifu dorgi yamun i aliha  
公 舅舅 臣 隆科多, 太子 太 傅 内 閣 大

bithei da bime kemuni hafan i jurgan i aliha amban i baita be kamcifi  
学 士 仍兼管 吏 部 尚 書 事

icihiyara amban jang peng ge, hashū ergi ashan i amban amban batai,  
臣 張 鵬 翮, 左 侍 郎 臣 巴 泰,

ambarame giyangnara hafan ici ergi ashan i amban amban fušen, dorgi  
經 筵 講 官 右 侍 郎 臣 傅 伸, 内

yamun i ashan i bithei da bime dorolon jurgan i ashan i amban kamciha  
閣 学 士 兼 礼 部 侍 郎

hafan i jurgan i ashan i amban i baita be daiselaha amban ši i jy.  
署 吏 部 侍 郎 事 臣 史 貽 直。

隆科多：雍正元年五月初二日，吏部奏為祖秉圭補用請旨摺

184B/ hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin,  
吏 部 が 謹 奏すること、 旨 を 請う為にす。

hūwaliyasun tob i sucungga aniya aniya biyai juwan de hese  
雍 正 元 年 正 月 十 日 上 諭を

wasimbuhangge, gui jeo i da ding jeo i jyjeo su lin hūng, ts'i li hiyan i  
奉じたところ、〔貴 州の大 定 州の知州 蘇 霖 泓, 慈 利 縣の

jyhiyan /C/ dzu bing gui be gajifi, beyebe tuwabume wesimbu  
知縣 祖 秉 圭 を つれて来て、引 見の為 具題せよ。〕

sehebe gingguleme dahafi, uthai meni meni harangga siyūn fu de  
との仰せ に 欽 遵し、ただちに おの おの 当 該 巡 撫に

bithe yabubufi, dzu bing gui be gajifi, hūwaliyasun tob i sucungga aniya  
行 文し、 祖 秉 圭 をつれて来て、 雍 正 元 年

ilan biyai orin emu de beyebe /185A/ tuwabume wesimbuhede, fulgiyan  
三 月 二十 一 日 引 見 具題したところ、 硃

fi i pilehe hese, dzu bing gui, tuwaci niyalma labdu getuken, hafan  
筆で批した諭旨に、「祖 秉 圭は、見たところ人柄 甚だ 明白である。吏

i jurgan, boigon i jurgan i aisilakū oronde uthai baitala sehebe  
部、 戸 部 の 員外郎の缺員にただちに補用せよ」との仰せ

gingguleme dahafi, baicaci, dzu bing gui, gulu šanggiyan i /B/  
に欽 遵した。査するに、祖 秉 圭は、正 白 旗 の

niyalma, hafan i jurgan de gulu šanggiyan i aisilakū hafan i oron akū,  
人。 吏 部 に 正 白 旗 の 員 外 郎 の 缺員はない。

boigon i jurgan de umai ujen coohai aisilakū hafan akū, damu coohai  
戸 部 には 全く 漢 軍 員 外 郎はいない。ただ 兵

beidere juwe jurgan de gulu šanggiyan i ujen coohai gūsai ubui aisilakū  
刑 兩 部 に 正 白 旗 の 漢 軍 旗 分の 員 外

hafan bi, te /C/ dzu bing gui be eici amban meni jurgan, boigon i  
郎が いる。今 祖 秉 圭 を或は 臣 等が 部、 戸

jurgan i fulu aisilakū hafan de sindara, eici coohai beidere juwe jurgan  
部 の 額外の員 外 郎 に補任するか、或は 兵 刑 兩 部

i gulu šanggiyan i ujen coohai gūsai aisilakū hafan i oron tucike  
の 正 白 旗 漢 軍 旗の 員外 郎 の 缺員が 出た

manggi, sindara babe /186A hese be baimbi, erei jalin gingguleme  
後、 補任するかの処を 旨 を 請う。この 為に 謹

wesimbuhe.

奏す。

“boigon jurgan i fulu aisilakū sinda, wesire forgošorongge ne tušan i  
〔戸 部 の 額外員外郎に任せよ。昇 転は 現 任 の

urše adali funglu bodo.”

者と同様に俸禄を 計れ。〕

/B/ hūwaliyasun tob i sucungga aniya sunja biyai ice juwe.  
雍 正 元 年 五 月 初 二日。

uheri baita icihiyara taiboo hafan i jurgan i aliha amban bime uheri da  
總 理 事 務 太保 吏 部 尚 書 提 督

gung nakcu amban longkodo,, /C/ taidzi taifu dorgi yamun i aliha  
公 舅舅 臣 隆科多、 太子 太傅 内 閣 大

bithei da bime kemuni hafan i jurgan i aliha amban i baita be kamcifi  
学 士 仍兼管 吏 部 尚 書 事

icihiyara amban jang peng ge, hashū ergi ashan i amban amban batai,  
臣 張 鵬 翮, 左 侍 郎 臣 巴 泰,

ambarame giyangnara hafan ici ergi ashan i /187A/ amban amban  
經 筵 講 官 右 侍 郎 臣

fušen, dorgi yamun i ashan i bithei da bime dorolon i jurgan i ashan i  
傳 伸, 內 閣 学 士 兼 礼 部 侍

amban kamciha hafan i jurgan i ashan i amban i baita be daiselaha  
郎 署 吏 部 侍 郎 事

amban ši i jy.  
臣 史 貽 直。

孫查齊：雍正元年五月初四日，戸部奏明議駁題銷絲價緣由摺

195B/ boigon i jurgan i aliha amban sunjaci sei gingguleme  
戸 部 尚 書 孫查齊 等 謹

wesimburengge, hūwaliyasun tob i sucungga aniya sunja biyai ice ilan  
奏 事。 雍 正 元 年 五 月 初 三

de, boigon i jurgan i uheri baita icihiyara hošoi urgun cin wang ulame  
日, 總 理 戸 部 事 務 和 碩 怡 親 王 が 傳 えた

/C/ hese washimbuhangge, se sirge i hūda emu yan de nadan jakūn  
下 旨。 「生 絲 の 價 格 は 一 兩 に つ き 七 八

fun de hono baharakū ekiyembufi ninggun fun juwe li de isinaha  
分 で は と 同 じ 受 取 れ ない。 値 引 き さ せ て 六 分 二 釐 に な っ て

bime, jurgan ci kemuni bederebuhe turgun adarame fonjifi  
いた。 部 内 より す な わ ち 駁 回 し た が, そ の 理 由 が ど う い う わ け か を 問 う て

wesimbu, sebebe gingguleme dahafi, amban be baicaci, jegiyang ni  
具 奏 せ よ」と の 仰 せ に 欽 遵 し, 臣 等 が 査 する に, 浙 江

/196A/ goloi aniyadari benjire šanggiyan se sirge be, aniya aniya  
省 が 毎 年 送 っ て 來 る 白 生 絲 は 年 年

emu yan de gemu ninggun fun juwe li menggun obume sume bodobuha  
一 兩 に つ き 俱 に 六 分 二 釐 の 銀 と な し 銷 さ せ て

bihe, amala susai ilaci duici ere juwe aniyai benjihe se sirge i boco ehe  
いた。 の ち に 五 十 三 ・ 四 こ の 兩 年 に 送 っ て 來 た 生 絲 の 色 が 悪い

turgun de, salibure /B/ hūda be kimcime ekiyembukini seme, susai  
で, 「定 め た 價 格 を 調 べ て 値 引 き さ せ る よ う に」と 五 十

sunjaci aniya wesimbufi bederebuhe, ere juwe aniyaingge be bodobu-  
五 年 具題し 駁回した。この 二 年のもの を 銷して

hakū ojoro jakade, sirame aniyaingge be bodobume banjinarakū, inu  
い ない の で、 つづく 年のもの は 銷算が 成っていない。また

gemu kimcime ekiyembukini seme bederebuhe, amala harangga  
俱に 調べて 値引きさせるようにといて駁回した。後に 当 該 の

siyūn fu, susai ilaci /C/ duici aniyai se sirge i hūda, gemu aniya  
巡 撫が 五十 三 四 年の 生 絲 の 値段は 俱に 年

aniyai bodobuha songkoi boolahabi, erin i hūda nadan jakūn fun de  
年の 報銷に 照らし 報告した。時 價は 七 八 分 に

isinahabi, ainaha seme ekiyembuci ojurakū seme wesimbure jakade,  
なった。断 然 値引きさせることはできないと 題奏した ので、

jurgan ci ini wesimbuhe songkoi emu yan se sirge de ninggun/197A/  
部内 より彼が 奏した 通り、 每一兩の 生 絲 に 六

fun juwe li menggun be wesimbufi sume bodobuha, susai sunjaci aniyai  
分 二 釐の銀 を 題 銷 せしめた。五十 五 年の

baita be, inu ere songkoi wesimbufi bodobuha, ne harangga siyūn fu  
事 を、またこれらに照らし題奏して 銷した。今 当 該 巡 撫が

susai ningguci nadaci, jakūci uyuci ere duin aniyai baita be acabufi  
五十 六 ・ 七 ・ 八 ・ 九 この 四 年の 事 を あわせて

wesimbure jakade tuttu wesimbuhe/B/songkoi bodobume wesimbuhebi,  
上奏した ので、 かように奏した 通りに 銷し 具題した。

ere baita be neneme udu bederebucibe, sirame isinjiha baita be, amban  
この案件 は 先に たとえ駁回しても、 つぎに 到來した案件 は、 臣

be, giyan i isinjiha be tuwame uthai wesimbufi wacihiyaci acambihe,  
等が筋道たてて、 到着 を 見るや ただちに 具題し 完結すべきであった。

umai wacihiyahakū bederebuhengge, uthai amban meni hūlhi (“getuken”)  
完結もせず 駁回したことは、すなわち臣 等が 愚昧 [明 日]

ba, yargiyan i encu turgun /C/ akū. erei jalin geleme olhome  
の所であり、實 に別に 理由は ない。この為に 惶 悚

gingguleme wesimbuhe.  
謹 奏す。

“ere jergi baita tanggū tanggū tumen tumen inu geleme banjinarakū<sup>(20)</sup>  
[これらの 事は 百 百 万 万 もまた恐れ、その上にまた

olgogo [olhoho] seme amcaburakū, damu ereci amasi teisu teisu dasafi  
恐れた とて 及ばない。ただ これより後、 各 々 改め、

eiten jemden cisu gūnin be halafi hing seme tondoi gurun boode  
すべての私情私心を改め専心忠直に國家に  
tusa ara.”  
益をなせ。]

198A/hūwaliasun tob i sucungga aniya sunja biyai ice duin.  
雍正元年五月初四日。

boigon i jurgan i aliha amban sunjaci, aliha amban tiyan ts'ung diyan,  
戸部尚書孫查齊, 尚書田從典,

hashū ergi ashan i amban li jeo wang, dorgi yamun i adaha bithei da  
左侍郎李周望, 內閣侍讀學士

bime, ici ergi ashan i amban i baita be daiselame icihiyara tosi, ici  
署理右侍郎事托時, 右

ergi ashan i amban jang be hing,  
侍郎張伯行。

佛格：雍正元年五月十六日，刑部奏審私入圍場人犯請旨摺

233A/ beidere jurgan i aliha amban uksun i foge sei gingguleme  
刑部尚書，宗室の佛格等が謹

wesimburengge, hese be baire jalin,, gusai ejen rasi, aba i babe giyarire  
奏する事，旨を請う為にす。都統拉錫が圍場巡察

janggin abida sei jafaha aba i bade hūlhame buthašame yabuha cang  
章京阿必達等の捕えた，圍場でひそかに狩猟した長

el sebe wesimbufi benjihe emu baita be, beideci, cang el i /B/  
兒等を具題咨送した一案を査するに，長兒の

jabunde, bi gulu šnggiyan i monggo gūsai sandase nirui sula ayusi,  
供述に「私は正白旗蒙古旗下の三達色ニル下の閑散阿玉璽の

booi niyalma, moltosi dukai tule san doo ing dzi i bade tehebi,  
家人です。古北口關の外山道宮子の地方に住んでいた。

ere aniya duin biyai orin jakūn de, meni emu nirui sula erhetu, sula  
今年四月二十八日，我々と同じニルの閑散厄爾黑兔，閑散

jasi booi nasutu, hoocit i yambal wang ni harangga monggo /C/  
渣錫の家人納蘇兔，蒿齊忒の燕木畢兒王の屬下の蒙古

meljin, šandung ni irgen ts'ui siyang, mini boode tefi, sula gisun gisurere  
墨爾津，山東の民の崔相がわが家にて世間話をしていた

de, bi ceni baru, muse baita akū bai bisire anggala, aba i  
時，私は彼等に向って「我々は仕事もなくぶらぶらしているくらいなら，圍

bade genefi buthašame yabuki, baha gurgu be dendecefi jeki seme  
場に行つて 狩をしよう。 つかまえた獣 を皆で分けて食べよう」と

guileme henduhede, erhetu se gisun dahafi, mini beye emu miyoocan  
寄集つて言つたところ、厄爾黒兎は言葉に従つた。私 自身は一丁の 小銃、

/234A/ juwe indahūn, erhetu emu miyoocan be gaifi, nasutu sei  
二匹の 犬を、厄爾黒兎は一丁の 小銃 を 持ち、納蘇兎 等と

emgi emte morin yalufi, sasa hūlhame aba i bade dosifi buthašame  
共に 各一頭の馬に 乗り、一同 ひそかに 圍 場に 入り 獵を

yabure de, ingtu, cilotu acan i bade isinaha manggi, bi emu buhū be  
した 時、英圖、齊洛圖は交界の所にやつて來た時、 私は 一匹の 鹿 を

miyoocalame wafi, efulefi acifi jidere be giyarire hafan  
鉄砲で射ち殺した。解体し馬に負わせて來るところを 巡察の 官

cooha de jafabuha, /B/ mini ejen ayusi encu tehebi, mini hūhame  
兵 に 捕えられた。私の 主人阿玉璽は別 居してゐて、私が偷かに

buthašame yabuha babe i sarkū sembi, erhetu, nasutu,  
狩獵 したことを彼は知りません」と言つてゐる。厄爾黒兎、納蘇兎、

meljin, ts'ui siyang gemu cang el i emu songkoi ceni beye alime  
墨爾津、崔 相は 俱に 長 兒と同 様に 彼等 自身 認め

gaimbi, baicaci, elhe taifin i ninjuci aniya aba i bade hūlhame buhū  
てゐる。査するに、康 熙 六 十 年 圍 場で ひそかに 鹿を

waha cangming be amban meni jurgan, /C/ coohai jurgan i emgi acafi  
殺した 常明 を 臣 等が 部は 兵 部 と會 同

beidefi, ilan biya selhen etubufi tanggū šusiha tantame gisurefi  
し審問し、三 個月の 枷號を着けさせ、百回 鞭で 打つよう 議し、

wesimbufi wacihiyaha be dangse de ejehebi, cang el, erhetu, nasutu,  
具題し 完結し、その事を檔案 に書き留めた。長兒、厄爾黒兎、納蘇兎、

meljin, ts'ui siyang be cangming ni kooli songkoi gemu ilan biya selhen  
墨爾津、崔 相 を 常 明 の 例に照らし、俱に 三個月の枷號を

etubufi, gūsai niyalma cang el, erhetu, nasutu, meljin be /235A/  
着けさせ、旗 人 長 兒、厄爾黒兎、納蘇兎、墨爾津 を

tanggūta šusiha tantafi, meni meni harangga kadalara bade afabuki,  
各百回 鞭で 打ち、各 自 所屬の 管轄 所に交付したい。

irgen ts'ui siyang be dehi moo tantafi, giyamulame da bade unggiki,  
民人 崔 相 を四十回木で 打ち、駅馬を以て 原 籍に送りたい。

cang el i ejen ayusi, nasutu i ejen jasi gemu cang el sei hūlhame  
長 兒の主人阿玉璽、納蘇兎 の 主人 渣錫は 俱に 長 兒 等が ひそかに

buthašame yabuha be sarkū be dahame, weile be guwebuki, ne baha  
狩獵を おこなった事を知らなかったので、罪 を 免じたい。今 得た

morin, indahūn, /B/ miyoocan be jafaha coohai urse de šangname  
馬, 犬, 鉄 砲 は 捕獲の兵丁 等に 賞 し

buki sembi, erei jalin gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi,,  
與えたいと思う。この 為に 謹んで 奏した。 旨 を 請う。

“gisurehe songko obu dafaha cooha urse de emu niyalma de juwata  
〔議の如く おこなえ。 捕獲の 兵丁 等に 一 人 につき 十

yan menggun šangna”  
兩ずつ 銀を 賞與せよ。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya sunja biyai juwan ninggun,  
雍 正 元 年 五 月 十 六 日。

beidere jurgan i aliha amban, amban uksun i foge, aliha amban,  
刑 部 尚 書 臣 宗室 佛格, 尚 書

amban li ting i,  
臣 勵 廷 儀。

孫柱：雍正元年六月初十日，兵部奏參不職司官請旨革退摺

266C/ambarame giyangnara hafan, coohai jurgan i aliha amban, amban  
經 筵 講 官 兵 部 尚 書, 臣

sunju sei gingguleme wesimburengge, wakalame wesimbure jalin,  
孫柱 等が 謹 奏すること, 參 奏する 為にす。

jurgan i baita, janggisai aisilame icihiyara de akdahabi, ehengge be  
部院 事務は 章京等の 輔佐と 辦理 に 頼っています。劣者 を

iseburakū oci, sain ningge huwekiyerakū ombi, amban meni /267A/  
懲戒しなければ, 優 者は 奮起しなくなります。 臣 等が

jurgan i janggisai dorgi, kemuni tacihiyaci ojongge be bibufi, ton akū  
部 の 章京等の 内, 仍 (人を)教誨 できる者 を 留め, 不 時に

tacihiyame yabubure ci tulgiyen, baicaci, amban meni jurgan i manju  
教 誨 を おこなわせる 外, 査するに, 臣 等が 部 の 滿洲

icihiyara hafan nitangga, niyalma banuhūn, nikan icihiyara hafan lio  
郎 中 輓堂阿は 人柄が 懶惰であり, 漢 郎 中 劉

ye cang, manju aisilakū hafan /B/ muten, gebu algin gemu ehe, ere  
業 長, 滿洲 員 外 郎 穆騰は 聲 名 俱に劣ります。この

gese hafan be, ainaha seme uhukedeme bibuci ojarahū, bairengge  
ような官人 は 断じ て 軟弱に 留任させてはなりません。どうか



hese wasimbufi nakabureo, erei jalin gingguleme wesimbuhe,  
旨を 下し 革退させて下さい。この 為に 謹 奏 す。

hese be baimbi,,  
旨 を 請う。

/C/ “lio ye cang be encu sunja jurgan de oron bici forgošome baitala,  
〔劉 業 長 を 別の 五 部 に 缺員があれば轉 用せよ。

lio ye cang se kemuni etuhun, fašsame yabukini, gūwa be  
劉 業 長は 歳が 尚 強壯である。効力 させるように。他の者 は  
gisurehe songko obu.”  
議の 如く せよ。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya ninggun biyai juwan,  
雍 正 元 年 六 月 十 日。

ambarame giyangnara hafan, coohai jurgan i aliha amban amban sunju,  
經 筵 講 官 兵 部 尚 書 臣 孫柱,

aliha bithei da bime, kemuni coohai jurgan i /268A/ aliha amban i  
大 学 士 仍兼管 兵 部 尚 書

baita be kadalara ilan jergi nonggiha, amban be hūwang, ambarame  
事 加三 級 臣 白 潢, 經 筵

giyangnara hafan, hashū ergi ashan i amban, amban cangšeo, ambarame  
講 官 左 侍 郎 臣 常壽, 經 筵

giyangnara inenggidari giyangnara hafan, ilire tere be ejere ici ergi  
日 講 官 起 居 注 右 侍

ashan i /B/ amban bime, bithei yamun i baita be kadalara ashan i  
郎 兼 管 翰 林 院 掌 院 学

bithei da i baita be kamcifi kadalabuha, amban akdun, ici ergi ashan i  
士 事 臣 阿克敦, 右 侍 郎

amban ilan jergi nonggiha, amban wang du joo,  
加 三 級 臣 王 度 昭。

**覚羅莫禮博：雍正元年六月二十日，監察御史奏請嚴禁私稅裕國課摺**

292C/ baicame tuwara hafan aha gioroi moribo sei gingguleme  
監 察 御 史 臣 覚羅 莫禮博 等が 謹

wesimburengge, cisui cifun gaire be ciralame fafulafi, irgen i hūsun be  
奏する事, 私 税 徵収 を 嚴に 禁じ, 民 力 を

funcebufi gurun i ciyanliyang be elgiyen obure jalin, aha be, takūraha  
剩 し, 國 の 錢 糧 を 豊かにする 為にす。臣等 使 命

be alifi, giyarime baicara de, donjici, lo wen ioi jasei tule,  
を受け、巡察し 查看する 時、聞くところでは 羅 文 峪 口 外で

／293A／dorgi bai irgen, moo undehen be sacifi, dzun hūwa jeo, ciyan  
腹 裡の民が 木 板 を 切り、遵 化 州、遷

an hiyan i harangga sa ho kiyoo, san tun ing de isibufi, uncafi  
安 縣 所属の 澈 河 橋、三 屯 営 に 運送し売りはらい、

inenggi hetumbumbi, weile jurgan, tung yung doo gemu meni meni  
日 を 過ごしている。工 部および 通 永 道は 俱に おの おの

temgetu doron gidafi cifun gaimbi<sup>(21)</sup>, elhe taifin i /B/ susai nadaci  
印 章を 押捺し 税を 取っている。康 熙 五十 七

aniya ci tesu ba i guwanggun u san, gūsai niyalma jeng sy be sirentume  
年 から本 地 の 惡 漢 吳三が 旗 人 鄭 四を傳手を通じ

gajifi, alin i ejen seme, alin i ubu gaire gebu de kanagan  
て連れてきて、山 の 主だといひ、山 の 分前を取るといふ名分を 口 実と

arama, gūnin cihai temgetu doron ilibufi, iletuleme cisui cifun gaime  
し、意の ままに 印 章を 押し、公然と 私 税を 取り

ninggun aniya oho, /C/ aniya ongolo ejen soorin de teme, irgen i  
六 年に なった。年 前、皇上が皇位 に 即き、民

banjire be gūnime, aikabade dursuki akū urse ba na be joboburahū  
生 を 思い、かりにも 不肖 の 徒が 地 方 を 苦しめはしまい

seme dahūn dahūn i hese wasimbufi fafulara jakade, uthai gemu jailafi  
かと 重ねがさね 諭旨を降し、禁じられたので、すなわち俱に逃避し、

gaire be nakaha bihe, ere aniya /294A/ juwe biyai dorgide geli dahūme  
取るのをやめていた。今 年 二 月 内に 又 重ねて

deribufi temgetu hergen be halafi, kemuni jifi cisui gaimbi seme, aha be  
始めて 印鑑の 文字を 改換し、仍ち 來て私収しているという。臣等が

fujurulame donjici umesi yargiyan, enduringge ejen i irgen be gosime  
訊問し 聞けばまことに真実であった。聖 主 の 民 を 愛

ujire ten i gūnin be hargašame gūnici, jasei /B/ tule gemu alban i alin,  
養する至 意 を 仰ぎ 思えば、境 外の 全 官有 林に、

ainahai alin i ejen bini, tere anggala, buya irgen i jobome suilame,  
どうして 山 の 主人があらうか。その 上に 小 民 が 苦しみ勞して

baha aisi giyanakū udu, uttu gejureci ombio seme, dzun  
得た利益には限度があつて、どれほどかように搾取することができようかと遵

hūwa jeo i jyjeo be ciralame fafulakini seme afabuhabi, damu irgen i  
化 州 の 知州 を 厳しく 戒めるように と 諭した。ただ 民 の

joboro be ainahai enteheme /C/ geterembume mutere, geli donjici,  
苦 を どうして永久に 除き 得よう。又聞くとくろでは

ciyan an hiyan i harangga sa ho kiyoo bade, ne moo sacire irgen, cisui  
遷 安 縣 の 所属の 激 河 橋の 所で, 現在木を切る 民が, 私

cifun gaire guwanggun sei baru ishunde temšeme becnume tantame,  
税を 取る 悪 漢 等と 相 争い 闘い 殴り

niyalma i ergen i baita de isinahabi sembi, bairengge, jyli siyūn  
人 の 命にかかわる事件 になった という。どうか 直隸 巡

/295A/ fu de hese wasimbufi, ciralame jafabufi weile arareo,  
撫 に 勅を 下し, 嚴重に 捕えて 處 罰して下さい。

enteheme fafulabureo, uttu ohode, irgen i hūsun funcebuci, gurun i  
永久に 禁止させて下さい。こうすれば 民 力には 餘力が生じ, 國 の

ciyanliyang inu elgiyen ombi, erei jalin gingguleme /B/ wesimbuhe,  
錢 糧 も亦豊かになります。このために 謹 奏します。

hūwaliyasun tob i sucungga aniya ninggun biyai orin,  
雍 正 元 年 六 月 二十日。

baicame tuwara hafan aha gioroi moribo, baicame tuwara hafan aha  
監 察 御 史 臣 覺 羅 莫礼博, 監 察 御 史 臣

sioi žung,  
許 容。

**覺羅莫礼博：雍正元年六月二十日，監察御史奏請揀選薊州遵化知州摺**

295C/ baicame tuwara hafan aha gioroi moribo sei gingguleme  
監 察 御 史 臣 覺 羅 莫礼博 等が 謹

wesimburengge, mentuhun i gūnin be tucibufi, ferguwecuke šumin gūnin  
奏すること, 愚 意 を 敬陳し 類い稀な 深 意

de gingguleme aisilara jalin, aha be, takūraha be alifi giyarime  
を 謹しみて 輔佐する為にす。臣 等, 使 命 を 受け 巡

baicaha ci ebsi, ba na umesi elhe, cooha, irgen gemu dur seme  
査して より以來, 地 方のはなはだ寧靜であり, 兵 民は 俱に ひたすら

/296A/ ejen i kesi be hukšembi, baicaci tung jeo, gi jeo, dzun hūwa  
聖主の 恩 に 感謝している。査するに通 州, 薊州, 遵 化

jeo, san ho hiyan i jergi ba serengge, juwe jugūn de hafunara ba,  
州, 三 河 縣 等の処というのは, 二 路 に真直に達する所であり,

munggan de geli hanci, amasi julesi yabure alban umesi labdu, ba na  
陵 寢 にも又 近い。往 來 の 差臣ははなはだ多い。地 方

i hafasa /B/ urunakū tuwakiyan bisire, baita de sain muterengge oci,  
の官員は 必らず 才幹 あり, 事 をよく処理し得る者にして,

teni baita icihiyara de tookanjarakū ombi, tung jeo i jyjeo  
はじめて事の処理 に 遅悞なからしめることができる。通 州 の知州

hūwang ceng jang, teni tušan alime gaiha bicibe, ginggun olhoba,  
黄 成 章は はじめて任を 受け た けれども 敬 慎であり,

san ho hiyan i jyhiyan wang yuwan sy /C/ tušan alime gaifi hontoho  
三 河 縣 の 知縣 王 原 泗は 任を 受けて 半

aniya oho, gebu algin sain, gisurerakū ci tulgiyen, gi jeo i jyjeo joo  
年になるが, 聲 名は良いので論議の対象 としない。薊 州の 知州 趙

sung, tušan de juwan aniya oho bime, gebu algin umesi ehe, dzun  
松は 職 に 十 年間 任 じ, 聲 名は はなはだ悪い。遵

hūwa jeo i jyjeo moo de ki niyalma nomhon /297A/ bicibe baita de  
化 州 の知州 毛 徳 琦は 人となりが真面目 でも 事に当って

uhuken, niyalma ba na de acarakū, uttu be dahame, bairengge,  
軟 弱。 人柄が 地 方 に 適合しない。こういうわけで どう か

harangga jurgan de hese wasimbufi, jyjeo joo sung, moo de ki be  
所属の 部 に 敕を 下し, 知州 趙 松, 毛 徳 琦を

ilgame faksalafi gisurefi toktobureo, dzun hūwa jeo, gi jeo i /B/  
分 別 定 議して下さい。遵 化 州, 薊 州 の

juwe bade, colgorome tucike, akdulaha ursei dogide sain mutere,  
兩 所の 拔 群の 薦舉 人員の 内に 良い才能があり,

tuwakiyan bisire, baita de urehengge be sonjofi niyeceme sindara ohode,  
操守 あり, 事 に 熟練した者 を 選び 補 任したなら,

ba na de sain niyalma bahaci labdu tusa ombi, erei jalin gingguleme  
地 方 に 良い 人 を 得れば はなはだ 益がある。この 為に 謹

/C/ wesimbuhe,,  
奏した。

hūwaliyasun tob i sucungga aniya ninggun biyai orin,  
雍 正 元 年 六 月 二十日。

baicame tuwara hafan aha gioroi moribo, baicame tuwara hafan aha  
監 察 御 史 臣 覚羅 莫礼博, 監 察 御 史 臣

sioi žung.  
許 容。

鄂奇善：雍正元年六月二十二日，監察御史奏報糧米起運安設台運摺

318B／ bele juwere baita be baicara, baicame tuwara hafan amban  
巡 査 運 糧 事 務, 監 察 御 史 臣

okišan, lo ki cang sei gingguleme wesimburengge, getukeleme tucibufi  
鄂奇善, 羅其昌 等が 謹 奏すること, 明 白 に 陳 述 し

boolara jalin, amban be, ging hecen ci jurafi, ninggun biyai juwan juwe  
報告する為にす。臣 等, 京 師 から出発し, 六 月 十 二

de, sansi harangga daitung fu de isinjiha manggi, baicaci, gūsai ejen  
日, 山西 所属の 大同 府 に 到った 後, 査するに, 都 統

tushai i jergi hafasa yooni isinjiha, damu sansi /C/ siyūn fu nomin i  
図思海 等の 官等は 全員 到着した。ただ 山西 巡 撫 諾敏の

tucibuhe ba na i geren jeo hiyan i hafasa, tehengge hanci goro adali  
派遣した地 方 の 諸 州 縣 の 官員等は 住地が 近 遠 一様で

akū ofi, ninggun biyai juwan jakūn, juwan uyun de, teni siran siran i  
ないので, 六 月 十 八日, 十 九 日にやっとなつぎつぎと

daitung fu de isinjifi, ere biyai orin de bele juweme deribuhe, geli baicaci,  
大 同 府 に到着し, 今 月 二十 日米穀を 運び 始めた。又 査するに,

gūsai ejen tushai sei ba na i hafasai emgi acafi gisurefi, temen jobobure  
都 統 図思海等が 地 方 の 官員等と共に 會 議し, 駱駝を 労苦させ

ayoo seme jasei/319A/tule tai tebure kooli songkoi tai  
はしまいかと恐れ, 境 外の台(駅)に留める 法に照らして台(駅)

tebufi, bele be hin jeo i bade juweme isibuha manggi, encu sejen, ulha  
に留め, 米糧を 忻 州 の地に 運び 送った 後, 他 の 車や 家畜を

turifi, ulame geren jeo hiyan de juweme isibuki seme gisurefi  
賃借りし, 転送し, 諸 州 縣 に 運 送したいと 議 し

jurambuha, uttu ofi, amban be, giyan be dahame jurambuha inenggi,  
出発させた。こういうわけで臣 等は 理として 應に 出発させた 日期,

jai tai tebure, juweme isibure babe suwaliyame tucibufi gingguleme  
および台に留めたこと, 運 送の 事を 合 併 陳 述 し 謹しんで

jedzi arafi /B/ wesimbuhe,,  
摺子を繕寫し 上奏した。

hūwaliyasun tob i sucungga aniya ninggun biyai orin juwe,  
雍 正 元 年 六 月 二十 二日。

張鵬翮：雍正元年六月二十三日，吏部奏為謝旻補授道員請旨摺

322A／ hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin,,  
吏 部 謹 奏し 旨 を 請う為にす。

hūwaliasun tob i sucungga aniya ninggun biyai orin juwe de amban  
雍 正 元 年 六 月 二 十 二 日, 臣

meni jurgan ci hūguwang ni jekui dooli wang i hūng, šansi de hūsun  
等の 部 から 湖廣 の 糧儲 道の 王 奕 鴻は 陝西 に 効

bume faššame /B/ genehebi, . gui jeo i gui si dooli li tiyan siyang,  
力 のため 赴いている。貴 州の 貴西 道 李 天 祥は

sinagalahabi, ere juwe oronde, siyei min<sup>(22)</sup>, u ing lung,  
服喪している。この二人の缺員(を補う為)に(郎中)謝 旻, 吳 應 龍,

giya k'o gi, lio giyūn, ho ši giyan i jergi sunja hafan i gebu jergi be  
賈 擴 基, 劉 均, 何 師 儉 等 五人の 官 の 職名 等 を

jedzi de arafi wesimbuhede, ineku inenggi /C/ fulgiyan fi siyei min  
摺子 に 書き 上奏したところ, 本 日 硃 批があり「謝 旻

be šurdeme tucibuhebi<sup>(23)</sup>, siyei min be ya bai dooli oronde sindaha  
を 圈 出した」と。謝 旻 を 何処の 道員の 缺員に 任じるのか

babe, gingguleme hese be baimbi,,  
を 謹しんで 旨 を 請う。

“siye min be wang i hūng oronde sinda.”

〔謝 旻 を 王 奕 鴻の 缺員に 任ぜよ〕

/323A/ hūwaliasun tob i sucungga aniya ninggun biyai orin ilan,  
雍 正 元 年 六 月 二 十 三 日。

taidzi taifu dorgi yamun i aliha bithei da bime kemuni hafan i jurgan  
太子 太傅 内 閣 大 学 士 仍 兼 管 吏 部

i aliha amban i baita be /B/ kamcifi icihiyara amban jang peng ge,  
尚 書 事 臣 張 鵬 翮,

hashū ergi ashan i amban amban batai, hashū ergi ashan i amban  
左 侍 郎 臣 巴 泰, 左 侍 郎

amban hūwang šu lin, dorgi yamun i ashan i bithei da bime dorolon i  
臣 黄 叔 琳, 内 閣 学 士 兼 禮

jurgan i ashan i amban kamciha hafan i jurgan i ici ergi ashan i  
部 侍 郎 署 吏 部 右

amban i /C/ baita be daiselaha amban ši i jy.  
侍 郎 事 臣 史 貽 直。

佛格：雍正元年六月二十六日，刑部奏為趙世綸訛詐案請旨摺

344A/ beidere jurgan i aliha amban uksun i foge sei gingguleme  
刑 部 尚 書 宗室 佛格 等が 謹

wesimburengge, šerime yabuha jalin,, kubuhe fulgiyan i ujen coohai  
奏すること、 訛 詐の事の為にす。鑲 紅 旗 漢 軍

gūsai ejen, tui janggin de kamciha gidangga sei benjihe bithede, jalan i  
都 統 兼 護軍 統領 紀党阿 等の 送った 咨 に 「参

janggin bime, nirui janggin joo ši luwen, yabun umesi ehe facuhūn  
領 兼 佐 領 趙 世 綸は 操行がはなはだ悪 乱

guwanggun, ini banjiha /B/ ahūn joo ši hiyan, birai dzungdu ci  
光棍である。彼の 胞 兄 趙 世 顕が 河道 總 督 を

nakabufi amasi gajiha de, ini ahūn i juwe tumen yan funcere menggun,  
革退させられ回 來した時、彼の兄 の 二 萬 兩 餘りの 銀、

boo, usin be šerime gaihabi, ere gese šerime guwanggušame  
房 地 を 訛詐して取った。このような 訛詐 光 棍 の

yabuhangge umesi ubiyada, jalan i janggin i tušan be ambula  
おこないは はなはだ憎むべきである。参 領 の 職 を 大いに

gūtubuhabi, joo ši luwen be hafan /C/ efulefi, harangga jurgan  
はずかしめている。趙 世 綸 を 革 職し、所属の 部

de afabufi ciralame weile gisurebuki, ini ahūn ci šerime gaiha menggun,  
に 交與して厳しく 罪を 議したい。彼の兄 から訛詐して取った 銀 兩

boo, usin be, ini boo boigon de nikebufi heni funceburakū, ciralame  
房 地 を 彼の家 産 を かたにとりいささかも残すことなく厳しく

yooni šorgime gaifi afabuki seme wesimbuhede, hese gisurehe songkoi  
全て 督促して 取り 交與したい」と上奏したところ、旨あり「議の 如く

obu sehebe gingguleme dahafi, /345A/ joo ši luwen be jurgan de  
せよ」との仰せに欽 遵し 趙 世 綸 を 部 に

benjihebi, baicaci tokto buha kooli de, yaya ehe guwanggun ulin  
送った。 査するに 定 例にては、およそ 悪 棍が 財

menggun šerime gaiki sere jergi weile tucike de, ulin baha bahakū  
銀を 索 詐する などの罪が発覚した時、財を得たか得なかった

be ilgarakū, ujuhangge be uthai sacime wambi sehebi, geli fafun i  
かは區別せず、首謀者 をただちに 斬 殺すると言っている。又 律

bithede, arga deribufi, hafan cisui anagan de /B/ jalidame eitereme  
書内に 計を 用い、 官が 勝手に 口実をもうけ、 騙し 欺き

ulin jaka be gaici, gaiha ulin be bodome, butu hūlha de obufi gisure,  
財 物 を 取れば、取った財 を 計り、 竊 盜 となして 論ぜよ。

barun i sinahi eture niyalma ci fusihūn ishunde jalidame eitereci, bai  
滿一年の 喪に 服する 人 より以下 互に 欺 詐すれば、凡

niyalma ci sunja jergi ekiyeniye sehebi, joo ši luwen be giyan i  
人 より 五 等を 減ぜよと言っている。趙 世 綸 は 應 に

barun i sinahi eture niyaman ishunde jalidame /C/ eiterehe fafun i  
滿一年の 喪に 服する 親族が 互に 欺 詐した 律

bithe songkoi sunja jergi ekiyeniye fi, emu aniya emu hontoho aniya  
書に 照らし, 五 等を 減じ, 一 年 半

weilebure jalin, orin sunja inenggi selhen etubuci acambihe,  
徒刑に処するところ 二十 五 日 枷號をつけさせるべきであった。

damu joo ši luwen, beye tušan bisire hafan bime, ini banjiha ahūn i  
ただ 趙 世 綸は 身は 職任を帯びた 官であって, 彼の 胞 兄 の

menggun, boo, usin be, gūnin cihai šerime gaihangge umesi /346A/  
銀 兩 房 地 を 意のままに 訛詐して取った事は はなはだ

ubiyada, fafun i bithe songkoi jergi eberembuci ojurakū, joo ši  
憎むべきであり, 律 書に照らし, 等を減ずることはできない。趙 世

luwen be taka loode horifi, bolori dosika erinde ilan biya selhen etubufi,  
綸 をしばらく牢に 入れ, 秋に 入っ て 三個月 枷號をつけさせ,

tanggū šusiha tantaki, ini ahūn ci šerime gaiha menggun, boo,  
一百 鞭 うちにしたい。彼の兄 から 訛詐して取った 銀兩 房

usin be, harangga gūsade afa bufi, ini boo boigon de nikebuci heni /B/  
地 を 所属の 旗に 委ね, 彼の 家 産 を かたに, いささかも

funceburakū, ciralame yooni bošome gaifi alban de dosimbukini sembi,  
餘すことなく 厳しく 全て 追 徴し, 官 に 納入させようと思う。

erei jalin gingguleme wesinbuhe, hese be baimbi,,  
このために 謹 奏した。 旨 を 請う。

hūwaliyasun tob i sucungga aniya ninggun biyai orin ninggun,  
雍 正 元 年 六 月 二十 六日。

beidere jurgan i aliha amban, amban uksun i foge, aliha amban,  
刑 部 尚 書 臣 宗室 佛格, 尚 書

amban li ting i, dorgi yamun i ashan i bithei da bime ici ergi ashan i  
臣 勵 廷儀, 内 閣 学 士 署 右 侍

amban i baita be daiselaha amban malciha, ici ergi ashan i amban  
郎 事 臣 馬爾赤哈, 右 侍 郎

amban lu siyun,  
臣 盧 詢。

佛格：雍正元年六月二十六日，刑部奏聞追賠八宝訛詐銀兩摺



347A / beidere jurgan i aliha amban uksun i foge seiingguleme  
刑 部 尚 書 宗室 佛格 等が 謹

wesimburengge, donjibume wesimbure jalin,, hūwaliyasun tob i sucungga  
奏す。 奏 聞する 為にす。 雍 正 元

aniya juwe biyai tofohon de, hiya kadalara dorgi amban gung arsungga  
年 二 月 十 五 日, 管 侍 衛 内 大臣 公 阿爾松阿

se, baboo sebe weile gisurehe baita be tucibufi ulame /B/ hese  
等が 八宝 等の 罪を 議した 事 を 陳述し 傳 旨を

wasimbuhanngge, baboo be sacime wara weile tuhebufi loode horifi bolori  
下された事 「八宝 を 斬 殺の 罪に 定め, 牢に 入れ 秋

be aliyafi wa, baboo i sukji ci šerime gaiha menggun ci ubui nonggifi  
を 待ち 殺せ。八宝 が蘇克濟から訛詐して取った 銀兩 を 倍 加し,

tumen yan obufi, baboo de nikebufi sukji de toodabu, toodame  
萬 兩 となし, 八宝 に 命じ 蘇克濟 に 賠償させよ。賠償し

wacihiyarakū oci, bolori beidere de urunakū fafun i gamambi/C/sehebe  
完らなければ, 秋 審 時に 必ず 法を以て取る」 との仰せに

gingguleme dahafi, amban meni jurgan ci uthai baboo be loode horifi,  
欽 遵し, 臣 等が 部 よりただちに八宝 を 牢に 入れ,

sukji de toodaci acara tumen yan i menggun be, gulu suwayan i gūsade  
蘇克濟に 賠償す べき 萬 兩 の 銀兩 を 正 黄 旗 に

hūdun bošome toodabufi jurgan de boolanjikini seme bithe unggihe  
すみやかに 追 償させ, 部 に 報告するようにと 書を送って

bihe, te gulu suwayan i gūsai ejen marsa sei benjihe bithede, /348A/  
おいた。今 正 黄 旗 都 統 馬爾賽等の 送って來た咨に,

baboo i sukji de toodaci acara tumen yan i menggun be siran siran i  
八宝 が蘇克濟に 賠償すべき 萬 兩 の 銀兩 を つぎつぎと

bošofi yooni sukji de afabuha seme benjihebi, erei jalin gingguleme  
追徴し 全て 蘇克濟に 渡した と 咨報して來た。このために 謹んで

donjibume wesimbuhe.  
奏 聞す。

“menggun be toodame wajici, baboo be sindafi jakan giyamun de  
〔銀兩 を 賠償し 完れば, 八宝 を 釋放し, 近ごろ 駅 に

tucibuhe hafasa i jergi de weile be sume faššame yabukini,”  
派出した 官 等 の下で, 罪 を 解き奮勉してつとめるように〕。

hūwaliyasun tob i sucungga aniya ninggun biyai orin ninggun,  
雍 正 元 年 六 月 十 六 日。

beidere jurgan i aliha amban amban uksun i foge, aliha amban amban  
刑 部 尚 書 臣 宗室 佛格, 尚 書 臣

li ting i, dorgi yamun i ashan i bithei da bime, ici ergi ashan i amban i  
勵 廷儀, 内 閣 学 士 署 理

baita be daiselaha amban malciha, ici ergi ashan i amban amban lu  
侍 郎 事 臣 馬爾赤哈, 右 侍 郎 臣 盧

siyūn,  
詢。

徐元夢：雍正元年七月初二日，奏參賀有章請交部治罪摺

367C/ambarame giyangnara hafan, dorgi yamun i aliha bithei da i  
經 筵 講 官, 協 理 内 閣 大 学

baita be aisilame icihiyara aliha amban, uheri be baicara yamun i  
士 事 務 尚 書 署 都 察 院

hashū ergi alifi baicara amban i baita be daiselabuha, šu gi ši be  
左 都 御 史 教 習 庶 吉

tacibure, emu jergi nonggiha amban sioi yuwan meng sei gingguleme  
士 加 壹 級 臣 徐 元 夢 等 が 謹

wesimburengge, wakalame wesimbure jalin, honan doo i /368A/  
奏すること, 参 奏する ためにす。河南 道 の

baicame tuwara hafan bihe encu baita de hafan efulehe ho io  
監 察 御 史 であり別 事によって官を 革職させられた 賀 有

jang ni alibuhangge, ho io jang bi gui jeo ba i orho suihei gese  
章 の 呈に 「賀 有 章わたくしは 貴 州 地方の 草 艾の 如 き

umesi dubei jergi fusihūn niyalma, šengdzu gosin hūwangdi desereke  
はなはだ末 等 微賤の者です。 聖 祖 仁 皇 帝の 格 外 の

kesi isibume ho io jang mimbe baicame tuwara hafan /B/ sindaha,  
殊恩を荷蒙し, 賀 有 章わたくしを監 察 御 史に 任じられた。

elhe taifin i ninju emuci aniya juwe biyade, mini mentuhun hūlhi be  
康 熙 六 十 一 年 二 月 に, わたくしの愚 昧 を

bodorakū, šansi goloi ilan li menggun, ilan g'o i bele be nonggime  
はからず, 陝 西 省の 三 釐の 銀 兩, 三 合 の 米 の 加

gaijara be ilibure, akdulaha hafasa be kimcime yargiyalara,  
徴 を止めさせること, 保舉した官員等 を詳細に調べたしかめること,

wargi be dailara cooha morin i ciyanliyang be emu obume bodoro,  
西 征 兵 馬 の 錢 糧 を 一つとなし 籌畫すること,

/C/ jai fan i niyalma be elbifi mejige gaire jergi baitai jalin hacilame  
および番 民 を招募し情報を取る 等の 事の 為に 條 陳

wesimbuhede, hese, ne cooha nashūn i ucuri, jing amban jui oho  
奏聞したところ、旨あり『今 軍 機 の際に当り、正に 臣 子たる

niyalmai faššaci acara erin, ho io jang jugūn takara fan i niyalma  
者の 効力すべき 時である。賀 有 章が「路を 識る 番 民

be elbifi mejige gaibume fujurulabume unggici acambi sebebe/369A/  
を 招募し、情報 取 得と 訊問のため 派遣すべきである」と言った

dahame, ini beye uthai coohai bade genefi unggici acara fan i niyalma  
のに従い、彼自身がすなわち 軍 前に 赴き、派遣 すべき番 民

be elbifi mejige gaibume fujurulabume unggifi, baita be mutebuci umesi  
を 招募し情報を取らせ、 訊問に 派遣し、事 を成さしむれば最も

sain sebebe gingguleme dahafi, ho io jang bi uthai beyei hūsun i  
好し』との仰せに欽 遵し、賀 有 章わたくしはただちに自 辦 で

su jeo de isinafi, tubai tung pan mao fung i de/B/sain mutere tungši  
肅 州 に 到り、彼処の通 判 毛 鳳 儀 に 『能 幹 通事

be sonjofi benju, sasa elbiki seme bithe unggici, ududu biya  
を 選び 送れ。協同して招募したい』と言って文書を送ったが、数 月

otolo emu niyalma benjihekū sere anggala emu bithe inu amasi benjihe  
たっても一 人も 送って来ない のみならず、一 書 をも 回 覆したこと

ba akū, tule inenggi goidara jakade, pancan yooni wajifi  
がない。外において日 久しい ので、盤費(旅費)はことごとく使い果し、

dahalara niyalma gemu ukakabi,/C/emuhun beye nikere ba baharakū  
從 者は 皆 逃亡した。孤 身の 倚る 所も得ない

de ainaha seme elbime muterakū, jasei tule bucere anggala, ejen  
ので、どうしても 招募することができない。境 外に死ぬ よりも 主

i yamun de jifi weile alire de isirakū seme gūnifi facihiyašame ging hecen  
の衙門 に 来て罪を受けるに如かず と 思い、憂慮し焦り 京 師

de jihe, bairengge, ulame wesimbureo seme alibuha manggi, /370A/  
に 来た。どうか 轉 奏して下さい」と 称した ので、

amban be uthai ho io jang de, si serengge, hesei coohai bade  
臣 等はすなわち 賀 有 章 に「汝という者は、旨を以て 軍 前に

unggifi fan i niyalma be elbifi mejige gaibume fujurulabure niyalma,  
差遣し 番 民 を 招募し情報を 取得し 探聴する 人である。

ai turgunde cisui amasi jihe seme fonjici, jaburengge, duleke aniya  
何 故に 勝手にもどって来たのか」と問えば、答えて言う 「去 年

/B/ hese, mimbe coohai bade genefi unggici acara fan i niyalma be  
 旨を奉じ、わたくしを 軍 前に 赴き、差遣 すべき 番 民 を  
 elbifi mejige fujurulabume gaikini seme unggihede, ho io jang  
 招募し 情報 を 探 聴するようにと 差遣された時、賀 有 章  
 bi su jeo de isiname uthai tubai tung pan mao fung i de sain  
 わたくしは肅州 に 到るや、ただちに彼処の通 判 毛 鳳儀に 能  
 mutere tungši be sonjofi benju seme bithe unggici, ududu biya /C/  
 幹 通事 を 選り 送れ といって文書を送ったが 数 月たって  
 otolo emu niyalma emu bithe amasi benjihe ba akū, uttu bime  
 も 一人 も 一 文も 回覆したことがない。それにわたくしは  
 geli boigon i jurgan i ejeku hafan i tušan i dorgi encu baita de  
 又 戸 部 主 事 の 任 内で 別 案 に  
 ušabufi hafan efulehe, gelhun akū kooli be jurceme dabali  
 關りあいになり官を 革職されている。敢て 例 に 違い 越  
 wesimbuci ojurakū, tule inenggi goidara jakade, pancan yooni  
 奏することはできない。外にある日が久しい ので、 盤費は ことごとく  
 wajifi dahalara /371A/ niyalma gemu ukakabi, emhun beye nikere  
 使い果し、從 者は 皆 逃亡した。孤 身の 倚る  
 ba baharakū de ainaha seme elbime muterakū, bi daci jecen i  
 所すら得ない時にどうしても 招募することはできない。わたくしはもと辺  
 ba i emu mentuhun hūlhi niyalma, balai felehudeme hacilame  
 地 の 一 庸 愚の 人、 冒昧 條 陳 し  
 wesimbuhe be te aliyaha seme amcarakū, omiholome buceci baibi  
 上奏したことを 今日 後悔しても 及ばない。餓 死すれば 空しく  
 tulergi bai hutu ombi, tuttu umesi /B/ hafirabufi giohame ging  
 他 郷の鬼 となる。かように はなはだ 困窮し 乞食して 京  
 hecen de jihe, bairengge ulame wesimbureo, bi cihanggai weile be  
 師 に 來た。どうか 轉 奏して下さい。わたくしは願わくば罪 を  
 alime gaiki sembi. geli si amasi jiki seci, giyan i ba na i hafasa  
 待ち たい」と言う。又 汝は回 來したいと思うなら、應に(彼処の) 地方官等  
 de getukeleme bithe alibufi, ba na i hafan getukeleme wesimbuhe erinde  
 に 明 白 に 書を呈し、地 方 官が 明白に 奏聞した 時に  
 jai amasi jici acambi, ai turgunde cisui /C/ uthai amasi jihe seme  
 また 回 來すべきに、何の理由で 勝手に さっさと 回來したのかと  
 fonjici, jaburengge, neneme coohai jurgan ci yabubuha bithede, damu  
 たずねると、答えて言う「先に 兵 部 より 送られた書には、ただ

mimbe      genefi elbikini                      sehe,                      umai ba na i hafan de  
わたくしが行って 招募するようにと行ってあった。全く 地方 官 に

sakini              seme bithe yabubuhakū ofi,                      bi                      umai  
知らせるようには 書面に言い送られていなかったのも、わたくしが 全然

bithe alibuci      acara ba akū, udu bithe alibure ba bihe  
書を 具呈すべき事ではなかった。たとえ 書を 呈するところであったと

seme              we mini/372A/bithe be alime gaimbi sembi. amban be  
言われても、誰が 私の 書 を 受け 取ろうか」と言う。臣 等が

baicaci, baicame tuwara hafan bihe encu baita de hafan efulehe ho io  
査するに、原 任 監 察 御 史 別 案 革 職 賀 有

jang, hesei coohai bade unggifi fan i niyalma be elbifi mejige gaibume  
章は、旨を奉じ 軍 前に 到り 番 民 を 招募し情報を得る為に

unggihe niyalma, udu /B/coohai bade isinaha secibe, heni majige  
差遣された人である。たとえ 軍 前に 到ったといっても、いささかも

faššame mejige gaime yabuha ba akū bime, uthai cisui amasi ging  
努力して 探 聴の為に 働いたことが なく、すなわち勝手に京師に帰っ

hecen de jihengge, turgun ambula ubiyada.                      uttu be dahame, ho  
て 来たことは、情由はおおいに憎むべきである。こういうわけで 賀

io jang be beidere jurgan de afabume benefi, ujeleme weile arabuki  
有 章 を 刑 部 に 交 送し、重く 治罪 したいと

sembi, erei jalin /C/gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi.  
思う。この 為に 謹 奏す。 旨 を 請う。

“ho io jang ni hacilame wesimbuhe jedzi be bi tuwafi jai  
〔賀 有 章 の 條陳 奏聞した 摺子 を わたくしが見て また

hese wasimbumbi<sup>(24)</sup>.”  
旨を 下す。〕

373A/ hūwaliyasun tob i sucungga aniya nadan biyai ice juwe,  
雍 正 元 年 七 月 初 二日。

ambarame giyangnara hafan, dorgi yamun i aliha bithei da i baita be  
經 筵 講 官 協 理 内 閣 大 学 士 事 務

aisilame icihiyara aliha amban, uheri be baicara yamun i hashū ergi  
尚 書 署 都 察 院 左 都

/B/alifi baicara amban i baita be daiselabuha šu gi ši be tacibure,  
御 史 教 習 庶 吉 士

emu jergi nonggiha amban sio yuwan meng, ambarame giyangnara hafan  
加 一 級 臣 徐 元 夢, 經 筵 講 官

taidzi taiboo, dorolon i jurgan i aliha amban bime uheri be baicara  
太子 太保, 禮 部 尚 書 署 都 察

yamun i hashū ergi alifi baicara /C/ amban i baita be daiselaha,  
院 左 都 御 史 事

emu jergi nonggiha amban jang ting ioi, hashū ergi ashan i baicara  
加 壹 級 臣 張 廷 玉, 左 副 都 御

amban bime weilere jurgan i ashan i amban i baita be icihiyara  
史 辦 理 工 部 侍 郎 事 務

amban sarna, hashū ergi ashan i baicara /D/ amban amban giyang  
臣 薩爾納, 左 副 都 御 史 臣 江

kio, hashū ergi ashan i baicara amban emu jergi nonggiha amban gin  
球, 左 副 都 御 史 加 壹 級 臣 金

ing bi,,  
應 璧。

**佛格：雍正元年七月初三日，刑部奏參奸商遲悞各倉工程摺**

387C/ beidere jurgan i aliha amban uksun i foge sei gingguleme  
刑 部 尚 書 宗室 佛格 等が 謹

wesimburengge, tucibume wakalara jalin,, ts'ang cang ni ashan i  
奏すること, 陳述し 彈劾する 為にす。 倉 場 總

amban<sup>(25)</sup> cen šeo cuwang sei jalingga hūdai niyalma lio k'ang ši be, ging  
督 陳 守 創 等が「奸 商 劉 康 時 が 京

hecen, tungjeo i juwan emu ts'ang ni weilen be alifi yabuha, cisui  
師, 通州 の 十 一 倉 の 工 事 を 包攬し 勝手に

menggun /388A/ gaifi weile be tookabuha seme hūwaliyasun tob i  
銀兩を 受け 工 事 を おくらせた」と 雍 正

sucungga aniya ninggun biyai ice jakūn de jedzi arafi wakalame  
元 年 六 月 初 八 日, 摺子を書いて 劾

wesimbuhede, ineku inenggi, hese, harangga jurgan gisurefi wesimbu  
奏したところ, 本 日 旨あり, 「該 部が 議 奏せよ」

sehebe gingguleme dahafi, ineku biyai ice uyun de jurgan de isinjiha be,  
との仰せに欽 遵し, 本 月 初 九 日 (刑) 部に到ったのを

/B/ amban meni gisurehengge, ts'ang cang ni ashan i amban cen šeo  
臣 等が 議した事, 倉 場 總 督 陳 守

cuwang sei hūdai niyalma lio k'ang ši be, ging hecen, tungjeo i juwan  
創 等が「商 人 劉 康 時 が 京 師, 通州 の 十

emu ts'ang ni weilen be yooni alifi yabuha, cisui menggun be gaifi  
一 倉 の 工事 をすべて 包 攬 し, 勝手に 銀兩 を 受領し,

weilen be tookabuha seme jedzi arafi wakalame wesimbuhe /C/ emu  
工程 を 遅慢させた」として摺子を書き 効 奏した 一

baita be fonjici, lio k'ang ši i jabunde, bi dulimbai hecen i irgen,  
案 を 訊問したところ, 劉 康 時の 供述に「わたくしは中城の民です。

weilere jurgan i doho afabure niyalma, duleke aniya jorgon biyai orin  
工 部 の石灰をわたす 者です。 去 年 十二 月 二十

duin de ing šan syci mimbe selgiyeme gamafi, ejeku hafan hajan  
四 日, 宮 繕 司がわたくしを命令を傳えてつれに來て, 主 事 哈詹が

mini baru, te šün tiyan fu yamun ci /389A/ hūdai niyalma be  
わたくしに向い, 『今 順 天 府 衙門から 商 人 を

gaifi ging hecen, tungjeo i geren ts'ang ni weilen be weilebumbi  
つれて行き, 京 師, 通 州の 諸 倉 の 工事 をおこなわせよ

seme bithe benjihebi, be sini banjire were be sambi seme hendufi  
と 文書を送って來た。われわれはお前の生活を知っている』と言った。

ineku biyai orin ninggun de bi ejeku hafan hajan, yangšeng be dahame  
そして本月 二十 六 日, 私は主 事 哈詹, 楊聲 に 従い,

šün tiyan fu yamun de genefi, alime gaiha /B/ sere bithe be alibuha de,  
順 天 府 衙門 に 行き, 『承認しました』という文書 を 呈した 時,

fu yen pilehekū, hajan, yangšeng, jelgin mimbe ashan i amban li ing  
府尹 は批准せず, 哈詹, 楊聲, 哲爾金が私を 總 督 李 鐸

gui i jakade gamafi pilehe manggi, bi teni geren ts'ang ni weilen be,  
貴 の 処に つれて行き批准した後, 私ははじめて各 倉 の 工事 を

alifi icihiyaha, umai ashan i amban li ing gui be eiterefi cisui alifi  
承 辦した。全く 總 督 李 鐸 貴 を 欺き ひそかに 包攬

yabuha ba /C/ akū, ere aniya aniya biyai ice ninggun de, bi ejeku  
をおこなったことはない。今 年 正 月 初 六 日, 私は 主

hafan yangšeng, g'ao hūi, bithesi anfu be dahame boigon i jurgan de  
事 楊 聲, 高 輝, 筆帖式 安福 に 従い, 戸 部 に

genefi juwe tumen orin ilan yan menggun be gaifi boode gamafi, jaka  
行き, 二 万 二十三 兩 銀 を 受け 家に 持ち帰り, 物

hacin be udafi belhehe, umai niyalma de /390A/ dendeme buhe ba  
件 を 買いととのえた。決して人 に 分け 與えたことは

akū, ging hecen, tungjeo i jergi ts'ang ni weilen, neneme gemu bi alifi  
ない。京 師, 通 州 等の 倉 の 工程は 先に すべて私が承

icihiyambihe, amala baita amba be safi, uthai lu mi i jergi  
 辦するところであった。後に 事の 大きさを 知って、すなわち 禄 米 等  
 nadan ts'ang weilere be nakafi, damu sin giyan, fu sin, ben ioi ilan  
 七 倉の 工事 を 止めた。そしてただ新 建, 富 新, 本 裕 三  
 ts'ang ni weilen be /B/alifi icihiyaha, ere ilan ts'ang ni weilen, uheri  
 倉 の 工事 を 承 辦した。この 三 倉 の 工事は、共に  
 weilere hūdai menggun duin tumen uyun minggan yan funcembi, cen  
 工 費 銀は 四 萬 九 千 兩 餘り、 陳  
 ashan i amban tušan alime gaire ongolo, bi juwe tumen orin ilan yan  
 總 督 の 到 任 前, 私は二 萬 二十 三 兩  
 menggun gaiha, tušan alime gaiha amala, bi geli menggun gaike /C/  
 銀を 受領した。 到 任 後, 私は又 銀兩を いただきたいと  
 serede, cen ashan i amban mimbe holtome menggun gaifi jaka  
 言うと、陳 總 督は 私が 欺いて 銀兩を 受領していながら、物  
 hacin udarakū seme cohome hafan takūrafi, geren ts'ang de kimcime  
 件を買っていないと、 特に 官を 差遣し、 各 倉 を詳しく調べ  
 baicafi, mini benehe jaka hacin bisirengge yargiyan sere  
 検査した。そして私が送った 物 件が あるというのは真実であると (わ  
 jakade, teni mimbe siran siran i ilan tumen emu minggan yan  
 かった) ので、 はじめて私に ひきつづき 三 萬 一 千 兩  
 funcere menggun gaibuha, bi emu /391A/ minggan yan menggun  
 餘 の 銀 兩を 與えた。私が 一 千 兩の 銀に  
 salire weilen weilehe manggi, teni jakūn tanggū yan menggun bumbi,  
 値する工事を造作した 後, はじめて八 百 兩の銀を與えている。  
 damu ere ilan ts'ang ni weilen be acabume bodoci, bi udu fulu juwe  
 ただ この 三 倉 の 工事 を 合 計すれば、私がたとえ多く 二  
 minggan yan funcere menggun gaicibe, damu mini lu mi i jergi  
 千 兩 餘の 銀兩を 得たといっても、ただ 私が 禄 米 等の  
 nadan ts'ang de benehe jaka hacin, uheri uyun minggan yan/B/funcere  
 七 倉 に送った 物 件は、 全て 九 千 兩 餘の  
 menggun salimbi, mini fulu gaiha menggun ci tulgiyen, kemuni minde  
 銀兩に 相当する。私が 多 領した 銀兩 を 除き、 まだ 私に  
 buci acara duin minggan yan funcere menggun bi, mini alifi  
 與えられねばならない四 千 兩 餘の 銀兩が ある。私が 承  
 icihiyaha weilen, toktobuha bilagan ere aniya jakūn biyai ice uyun de  
 辦する 工程の 定められた 期限は 今 年 八 月 初 九 日



teni bilagan jalumbi, bi te cihanggai menggun gairakū mini boo  
にはじめて期限が満ちる。私は今願わくば銀兩を受領せず、私の家

boigon be /C/ fayafi neneme weilen be weileme wajifi, amala jai  
産を 売りはらい、先に 工事を 造営し 終り、その後にもた

menggun gaiki sembi, yangšeng ni jabunde, bi weilere jurgan  
銀兩を受け取りたい」と言っている。楊聲 の 供述に「私は工部

i ejeku hafan, tai ping ts'ang ni giyandu, duleke aniya jorgon biyade,  
主事です。太平倉の監督です。去年十二月に、

šün tiyan fu yamun ci weilere jurgan de hūdai niyalma gaifi, ging  
順天府衙門から『工部で商人を得て、京

hecen, tungjeo i geren ts'ang ni weilen be icihiyabuki /392A/ seme bithe  
師、通州の各倉の工事を処理させたい』との書を

benjihe manggi, weilere jurgan ci membe selgiyefi, lio k'ang ši be šün  
送って来たので、工部から私共に傳えて、劉康時を順

tiyan fu yamun de gamafi alime gaiha sere bithe be pilebume  
天府衙門につれて行き、承認書を批准しに

genehede, fu yen i gisun, ere ts'ang cang ni ashan i amban i baita, bi  
行った時、府尹の言、『この倉場總督の事は、私は

pileci ojurakū sere jakade, be teni lio k'ang ši be ashan i /B/  
批准できません』と言うので、我々はじめて劉康時を總

amban li ing gui i jakade gamafi ini alime gaiha sere bithe be  
督 李鎡 貴の所につれて行き、彼が承け取ったという認状を

pilefi buhe, ere aniya aniya biyai ice ninggun de, ashan i amban,  
批准して與えた。今年正月初六日、總督は

g'ao hūi meni juwe niyalma be tucibufi lio k'ang ši be gamame boigon i  
高輝と我々二人を派出し、劉康時を帯同し、戸

jurgan de genefi, juwe tumen orin ilan yan menggun be gaifi lio k'ang  
部に行き、二萬二十三兩銀を受領し、劉康

ši de /C/ afabuha inu, menggun gaire bithede ashan i  
時に 交與したことは事実である。銀の受領書内に總

amban asinai, li ing gui i gebu inu bi, cisui ganame genehengge waka,  
督 阿錫鼐、李鎡 貴の名もあった。勝手に持って行ったのではない。

inu menggun dendehe ba akū sembi, g'ao hūi i jabunde, bi inu  
また銀を分配したことはない」という。高輝の供述に、「私もまた

weilere jurgan i ejeku hafan, tai ping ts'ang ni giyandu, ere aniya aniya  
工部主事で、太平倉の監督である。今年正

biyai ice ninggun de, ashan i amban mimbe /393A/ tucibufi yangšeng  
月 初 六 日, 總 督が 私を 派遣し, 楊聲

ni sasa lio k'ang ši be gamame boigon i jurgan de genefi, menggun  
と 共に 劉 康 時 を つれて 戸 部 に 行き, 銀兩を

gaifi lio k'ang ši de afabuha inu, cisui ganame genehengge  
受領し, 劉 康 時に交與したことは本当である。勝手に行って取ったもの

waka, inu menggun dendehe ba akū sembi, anfu i jabunde, bi  
ではない。また銀兩を 分配したこともない」という。安福の供述では「私は

ts'ang cang yamun i bithesi, ere aniya aniya biyai ice juwe de,  
倉 場 衙門 の 筆帖式である。今 年 正 月 初 二 日,

ashan i amban li ing gui /B/ mimbe takūrafi menggun gaire bithe be  
總 督 李 鎭 貴が 私を 遣わし 銀兩 受領 書 を

boigon i jurgan de benebuhe, bithede ashan i amban asinai i gebu inu  
戸 部 に 送った。文書内に 總 督 阿錫鼐の 名 も

bi sembi, jelgin i jabunde, bi weilere jurgan i aisilakū hafan,  
あった」と言う。哲爾金の供述では「私は工 部 員外郎である。

weilen be kadalame weilere giyandu, duleke aniya jorgon biyade, bi  
工事 を 監 修する監督である。去 年 十二 月に, 私は

ashan i amban li ing gui i boode genefi tai ping ts'ang ni bele sindara  
總 督 李 鎭 貴の 家に行き, 太 平 倉 の 米を 置く

baita /C/ alaname genehede, hajan se lio k'ang ši be gaifi alime gaiha  
ことを 報告に 行った時, 哈詹等が 劉 康 時 を つれ, 受 領

sere bithe pilebume genehede ucarafi, bi ini funde ashan i amban li  
書を 批准しに行くところに出遇い, 私は彼の代りに 總 督 李

ing gui de alaha babi, bi serengge tuwame weilere hafan,  
鎭 貴 に 報告したことがあった。私という者は 監 造の官であって,

ciyanliyang ni baita be daha ba akū, bi umai menggun dendehe  
錢 糧 の 事 に 干與したことはない。私は全く 銀兩を 分配した

ba /394A/ akū sembi, hū yūn g'an i jabunde, bi sin giyan ts'ang ni  
ことは ない」と言う。胡 允 幹 の供述では「私は新 建 倉 の

weilen be tuwame weilere giyandu, lio k'ang ši juwe tumen orin ilan  
工事 を 監 修する監督である。劉 康 時が二 萬 二十 三

yan menggun gaihangge, aniya biyade gaiha bihe, bi juwe biyai  
兩 銀を 受領したのは, 正 月に 受領したのである。私は二 月

ice uyun de weilen de isinaha, bi oron sarkū, bi /B/ damu  
初 九 日 工事 に 到着したので, 私は全く知らない。私は ただ

weilen be tuwame weilembi, ciyanliyang ni baita be daha ba akū,  
工事を監修するだけで錢糧の事に干與したことはない。

lio k'ang ši inenggidari meni baru ciyanliyang gaiki  
劉康時は毎日我々にむかい錢糧を受け取りたいと言っておき

sembime, weilen be asuru hacihiyame weilerakū turgunde, be imbe  
ながら、工事を厳しく緊急に工事をおこなわないので、我々は彼を

esukiyeme tafulame henduci, geli herserakū arbušambi, atanggi  
叱りつけ諫言したけれども、(彼は)また気にも留めず振舞っている。何時か

bicibe weilen tookabumbi seme gūniha bihe, /C/ cen halangga, jang  
きっと工事を遅延させるだろうと思っていた。陳姓張

halangga juwe amban wakalara jakade, te jakūn fun funceme weilehe  
姓の二大人が弾劾したので、今八分餘り工事が成った」

sembi, uttu ofi, amban meni jurgan ci lio k'ang ši i alifi icihiyaha sin  
と言う。これにより臣等が部から劉康時の承辦した新

giyan i jergi ilan ts'ang ni weilen, wacihiyahangge udu, wacihiyara  
建等三倉の工程は、すでに完工したものはいくらか、未完工

undengge udu, jai lio /395A/ k'ang ši i lu mi i jergi nadan ts'ang  
のものはいくらか、及び劉康時の禄米等七倉

de dosimbuha jaka hacin bisire akū, yargiyan i uyun minggan yan  
に運び入れた物件の有無、果して九千兩

funcere menggun salire salirakū babe, geren ts'ang ni giyandu  
餘の銀兩に値いするかしないかのところを、各倉の監督

sede emke emken i getukeleme baicafi boolanjikini seme bithe yabubuha  
等に逐一明白に調査し報告するようにと文書を送って

bihe, sirame ben ioi ts'ang ni /B/ giyandu deo žung hiyūn i alibuha  
おいた。それから本裕倉の監督寶容恂が呈出した

bithede, lio k'ang ši i alifi icihiyaha meni ts'ang ni weilen be wacihiyaha  
文書に「劉康時の承辦した我々の倉の工事が完成した」

sembi, fu sin ts'ang ni giyandu cancibu sei alibuha bithede, lio k'ang  
と言う。富新倉の監督禪齊布等が呈出した申に「劉康

ši alifi icihiyaha meni ts'ang ni weilen uyun fun weileme /C/ wacihiyaha  
時が承辦した我々の倉の工程は九分どおり工事が完成した」

sembi, sin giyan ts'ang ni giyandu yangšeng sei alibuha bithede, lio  
と言う。新建倉の監督楊聲等の呈出した申に「劉

k'ang ši i alifi icihiyaha meni ts'ang ni weilen te jakūn fun funceme  
康時の承辦した我々の倉の工程は、今八分あまり

weileme wacihiyaha sembi, jai lu mi i jergi nadan ts'ang ni giyandu  
 完 工した」と言っている。また禄米 等 七 倉 の 監 督  
 fude sei alibuha bithede, lio k'ang ši /396A/ meni geren ts'ang de  
 傳徳 等が 呈出した 申に 「劉 康 時が 我々の 各 倉 に  
 benjihe jaka hacin uheri hūda sunja minggan nadan tanggū nadanju  
 送った 物 件の 全部の 値段は 五 千 七 百 七 十  
 uyun yan funcere menggun salimbi sehebi, lio k'ang ši i jabunde,  
 九 兩 餘 銀に 値る」と言っていた。劉 康 時の 供述に  
 udu bi cihanggai gaire unde duin minggan yan funcere menggun be  
 たとえ「私は願わくば未 受 領の 四 千 兩 餘りの 銀兩 を  
 taka gairakū, mini boo /B/ boigon be fayafi neneme weilen be  
 しばらく受領せず、私の 家 産 を 売り 先に 工事 を  
 wacihiyabufi, amala jai menggun gaike secibe, damu lio k'ang ši  
 完成させ、 後に また銀兩を受け取りたい」と言っても、ただ 劉 康 時が  
 neneme amala sunja tumen yan funcere menggun gaiha bime, sin  
 前 後 五 萬 兩 餘の 銀兩を受取っておきながら、新  
 giyan i jergi ilan ts'ang be umai hacihiyame weilerakū, damu gaire  
 建 等 三 倉 を 全く 緊急に 工事をおこなわず、ただ 未  
 unde duin minggan yan funcere menggun be kanagan arame, hū yūn  
 領の 四 千 兩 餘の 銀兩 を 口実 とし、胡 允  
 g'an i baru /C/ dahūn dahūn i menggun bošome anatame goidabure  
 幹 に向い、 しばしば 銀兩を 催促し、 日限をのばし遅延  
 be kiceme yabure de, hū yūn g'an imbe esukiyeme tafulame henduci,  
 を 謀り おこなう時、胡 允 幹は 彼を 叱責し 諫 言したけれども、  
 herserakū arbušahangge ambula ubiyada, lio k'ang ši be giyan i  
 気にも留めず振舞っていたことは 大いに 憎むべし。劉 康 時を 宜しく  
 uthai weile araci acambihe, damu halhūn beidere<sup>(26)</sup> de ucarafi  
 ただちに罪に 処すべきであつたろう。ただ 熱 審 に 遇い、  
 erun be eberembure ucuri bime, sin giyan, fu sin juwe ts'ang ni/397A/  
 刑 を 減ずる時であつて 新 建, 富 新 二 倉 の  
 weilen kemuni wacihiyara unde be dahame, neneme lio k'ang ši be  
 工程は 尚 未完工 である の で、 先に 劉 康 時 を  
 gamafi menggun gaiha yangšeng, g'ao hūi sasa alime gaiha  
 つれて 銀兩を 受領した 楊聲, 高 輝およびともどもに受 領  
 sere bithe be gamafi pilebuhe jelgin de afabufi, tuwame lio k'ang ši  
 書 を 持って行き批准した哲爾金に 押 令 し、 劉 康 時

be hūduŋ weilen be wacihiyabukini, erebe ts'ang cang ni ashan i  
をしてすみやかに工事を完成させるように。これを倉場總

amban, da kadalame bošoro hafasa de afabufi erin akū baicame /B/  
督ならびに原督催各官に令し、不時査

giyarikini, aikabade bilagan i dorgide weilen be wacihiyarakū ojoro,  
察するように、もしも期限内に工事を完成できなくなり、

eici ainame ainame weileme wacihiyaci, uthai wakalame wesimbufi lio  
或は草率に完工すれば、ただちに題参し、劉

k'ang ši be ujeleme weile arafi, kemuni lio k'ang ši de nikebufi  
康時を重く治罪し、すなわち劉康時に命じて

toodabume weilebuki, yangšeng, g'ao hūi, jelgin be suwaliyame  
賠償工事をさせたい。楊聲、高輝、哲爾金を併せて

harangga jurgan de afabufi weile gisurebuki sembi, erei jalin  
所属の部に命じ罪を議させたいと思う。この為に

gingguleme /C/ wesimbuhe, hese be baimbi.  
謹奏す。旨を請う。

“gisurehengge inu, saha.”  
〔議するところ是なり。見た。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya nadan biyai ice ilan,  
雍正元年七月初三日。

beidere jurgan i aliha amban amban uksun i foge, aliha amban amban  
刑部尚書臣宗室佛格、尚書臣

li ting i, dorgi yamun i ashan i bithei da bime, ici ergi ashan i  
勵廷儀、内閣學士署理(刑部)右

amban<sup>(27)</sup> i baita be daiselaha amban malciha, ici ergi ashan i amban  
侍郎事臣馬爾赤哈、右侍郎

amban lu siyūn,  
臣盧詢。

佛格：雍正元年七月初三日、刑部奏為揀選補用司員請旨摺

398C/ beidere jurgan i aliha amban uksun i foge sei gingguleme  
刑部尚書宗室の佛格等が謹

wesimburengge, hese be baire jalin,, amban meni jurgan erun koro i  
奏する事。旨を請う為にす。臣等が部は刑罰の

baita be cohotoi icihiyambi, holbobuhangge ujen amba, sy tome niyalma  
事を専ら処理す。關係する所は重大である。司ごとに人を

bahaci, /399A/teni icihiyame mutere be dahame, urunakū akudulame,  
得て はじめて 処理し 得る の で、 必ず 善を擧げ、

wakalame huwekiyendure targara be ulhibuci acambi, amban meni  
非を咎め、 勸 懲 を 悟り知らせるべきです。 臣 等の

jurgan i gulu šanggiyan i manju ejeku hafan šitu gebu algin ehe, erebe  
部 の 正 白 旗 滿 洲 主 事 石図は聲名が悪く、この者を

nakabuki, gulu lamun i manju aisilakū hafan warka, kubuhe lamun i  
革職させたい。正 藍 旗 滿 洲 員 外 郎 瓦爾喀、鑲 藍 旗

ujen coohai aisilakū hafan jang /B/ ioi, gemu niyalma eberi, gulu  
漢 軍 員 外 郎 張 璵は俱に 人格が 劣る。正

lamun i manju ejeku hafan kesiten hūlhi, nikan aisilakū hafan jang  
藍 旗 滿 洲 主 事 克什騰は愚昧。漢 員 外 郎 章

ging ceng, nikan takūrabure hafan u ši je, gemu sakdaka nimekungge,  
鏡 承、漢 司 務 吳世澤は俱に 年老 有 疾。

nikan ejeku hafan gin ciowan niyalma hūlhi, ere ninggun hafan be/C/  
漢 主 事 金 銓は 人柄が 愚昧。以上の 六 員 を

gemu tušan ci aljabuki, amban meni jurgan i ejeku hafan bihe, te tai  
俱に 職務 から解任したい。臣 等の 部 の 原 任 主 事 であって 今太

pu sy yamun i aisilakū hafan de wesike kubuhe suwayan i nahai, jai  
僕 寺 員 外 郎 に 陞った 鑲 黃旗 納海、および

taicangsy yamun i boši kubuhe lamun i gišan, gemu baita de urehe,  
太常寺 博士 鑲 藍旗 積善は俱に 事務 に 諳練し

kicebe olhoba, bairengge, /400A/ nahai be amban meni jurgan i  
勤 慎である。請うらくは 納海 を 臣 等の 部 の

aisilakū hafan de forgošobufi, gišan be ejeku hafan obufi, amban meni  
員 外 郎 に 轉任させ、 積善 を 主 事に 任じ、臣 等の

jurgan de bufi baita icihiyabureo, esei oronde encu niyalma  
部 に 與え 事務を処理させられよ。彼等の缺員には 他の 者を

sindabureo, neneme enduringge ejen sonjofi, amban meni jurgan de  
補任されよ。先に 聖 主が 選び、臣 等の 部 で

cendeme yabubure gulu šanggiyan i tuwašara hafan bime, lamun/B/  
試 用している 正 白 旗 雲 騎 尉であって藍翎

funggala bihe mingšeo, kicebe sijirhūn, ini jergi be tuwame aisilakū  
侍衛であった 明寿は、 勤 直である。彼の品級に 照らし 員 外

hafan obureo, jai amban be enduringge ejen de baime wesimbufi, bithesi  
郎とされよ。また 臣 等が 聖 主に 奏 請し、 筆帖式

be ejeku hafan araha kubuhe suwayan i cangling, kubuhe lamun i  
を 主 事 と為した 鑲 黄 旗 常 齡, 鑲 藍 旗

cangtai, gulu šanggiyan i cangnai, ere ilan dorgide, cangtai ne senggi  
常 泰, 正 白旗 常 鼐, この 三人の中, 常泰は 今 血を

/C/ kaksime nimere be dahame, cangling, cangnai be šitu, kesiten i  
吐き 病んでいる ので, 常 齡, 常 鼐 を 石図, 克什騰の

oronde ejeku hafan sindareo, jai amban meni jurgan i giyangnan,  
缺員の 主 事に 任ぜられよ。また 臣 等が 部 の 江 南,

jegiyang, šansi, fugiyan ere duin syi baita, gemu umesi largin oyonggo,  
浙 江, 陝西, 福 建, この 四 司の事務は俱に 甚だ 煩雜緊要である。

ne ice niyeceme sindaha giyangnan syi nikan icihiyara hafan ioi hoo,  
今 新しく 補 任された 江 南 司 漢 郎 中 于 灝は

daci weilere jurgan ci /401A/ wesike hafan, weilere jurgan de bihe  
もと 工 部 から 推陞された官員で, 工 部 に在職した

fonde, bele uncara de tucibure jakade, kemuni jurgan de jifi, baita  
時, 米 売り に 派出されたため, なお 部 に來て 事務を

icihiyara unde ofi, erei sain ehe be amban be tengkime  
処理したことはないので, この者の 賢 否 を 臣 等は はっきりとは

sarkū, amban meni jurgan i sycuwan syi nikan icihiyara hafan jang  
知らない。臣 等の 部 の 四川 司 漢 郎 中 張

guwang lin, baita de /B/ ombime, tuwakiyan bi, erebe giyangnan syi  
光 麟は 事務が でき, 才幹 がある。この者を 江 南 司

icihiyara hafan de forgošofi, ioi hoo be sycuwan syi icihiyara hafan de  
郎 中 に 転任させ, 于 灝 を 四川 司 郎 中 に

forgošobureo, giyangsi syi nikan icihiyara hafan jang u gio, baita  
転任せしめられよ。江西 司 漢 郎 中 張 無 咎は 事務

icihiyara de kicebe mutembi, erebe šansi syi icihiyara hafan de  
処理 が 勤勉有能である。この者を 陝西 司 郎 中 に

forgošofi, /C/ šansi syi nikan icihiyara hafan hung ceng be giyangsi  
転任させ, 陝西 司 漢 郎 中 洪 理 を 江西

syi icihiyara hafan de forgošobureo, nikan ejeku hafan ioi ki siyūn,  
司 郎 中 に 転任させられよ。漢 主 事 于 其 珣,

yan cūn si, jurgan i baita icihiyame aniya goidaha, niyalma kicebe  
閻 純 璽は 部 の 事務を 処理し 年 久しい。人柄は 勤

olhoba, ioi ki siyūn be fugiyan syi aisilakū hafan jang ging ceng ni  
慎。 于 其 珣 を 福建 司 員 外 郎 章 鏡 承 の

／402A／ oronde niyeceme sindareo, jegiyang, honan juwe syi nikan  
員缺に 補 任されよ。浙 江, 河 南 二 司 漢

aisilakū hafan, giyangnan syi nikan ejeku hafan i oronde, udu guwangsi  
員 外 郎 江 南 司 漢 主 事 の 員缺に, すでに 廣 西

dzo jeo i jyjeo lo ši kui, aisilame jafaha ho si tiyan, sycuwan i cang  
左 州 知州 羅 士 奎, 捐 納の 何 錫 田, 四 川 長

šeo hiyan i jyhiyan boo guwa i jergi ilan hafan be niyeceme sindacibe,  
壽 縣 知縣 包 括 等 三 員 を 補 任したが

gemu /B/ tušan be alime gaire unde, oron funtuhulefi emu aniya  
俱にまだ 職務 に 到って いない。 缺員は空職のまま 一 年

ohobi, ne ere ilan syde baita icihiyara niyalma akū, oron be goidame  
たった。現在この三 司に 事務を処理する人物はいない。 缺員 を 久しく

funtuhuleci ojurakū be dahame, lo ši kui, ho si tiyan, boo guwa i  
空職にしておくことはできないので, 羅 士 奎, 何 錫 田, 包 括 の

oron be tucibufi, hafan i jurgan ci, ese isinjime encu  
缺員 を 書き出させ, 吏 部 からこれ等の人々の到着を待ち, 別に

niyeceme /C/ sindabureo, jegiyang syi aisilakū hafan i oronde, ejeku  
補 任させられよ。浙 江 司 員 外 郎 の 缺員に, 主

hafan yan cūn si be niyeceme sindareo, jai amban meni jurgan i  
事 閭 純 璽 を 補 任されよ。また 臣 等の 部 の

giyangsi syi nikan ejeku hafah kio kiyoo, elhe taifin i susai ningguci  
江 西 司 漢 主 事 丘 嶠は 康 熙 五 十 六

aniya jung nan ts'ang ni giyandu ofi genehe, te nadan aniya otolo,  
年, 中 南 倉 監督として 赴任し, 今すでに七 年 間,

umai jurgan de /403A/ amasi jihe ba akū, ere oron be inu taka  
全く 部 に 帰って 来たことがない。この缺員 を また 暫く

tucibufi, gūwa oron be suwaliyame enduringge ejen hese wasimbufi,  
書き出させ, 他の 缺員 と 併せて 聖 主の 旨を 降 し

hafan i jurgan de afabufi, wesici acara, niyeceme sindaci  
吏 部 に 命じ 陞任させるべき, (および) 補任 させる

acara hafasai dorgici sonjofi niyeceme sindareo, ereci amasi amban  
べき 官員等の内から 選び 補 任して下さい。これより以後, 臣

meni jurgan i yaya manju nikan /B/ hafasai oron tucici, gemu  
等が 部 に, およそ 滿 漢 官員等の缺員が出れば, 俱に

sonjofi niyeceme sindara ohode, niyalma bahambime, yamun de ambula  
揀選し 補 任 すれば 人を 得たうえに 衙門 に 大いに



tusa ombi, jai syi hafasa emu niyalma be ududu sy kamciburakū,  
裨益があろう。また司の官員等は一人をして数司を兼任させられない。

jemden yabure jugūn be nakaburengge, yargiyan i umesi sain,  
弊害の通路を塞ぐことは、まことにはなほだ善きことである。

aikabade manju, nikan hafasa be gūwa bade takūrafi, /C/ syde  
もし満漢官員等を他所に派出し、司に

icihiyara niyalma akū oci, gūwa syi hafasa be tucibufi daiselame  
事務処理の人がなければ、他司の官員等を出させ署

icihiyabubureo, amban meni jurgan i geren syi hafasai dolo dursuki  
理させられよ。臣等の部の各司官員等の内に不

akūngge bisire, jai amban meni akdulaha niyalmai dorgi, yabun  
肖の者がおり、又臣等が保舉した人の内、おこないが

halahangge bisire oci, amban be erin akū kimcime baicafi /404A/  
変ってしまった者がいれば臣等は不時査察し、

wakalame wesimbuki, erei jalin suwaliyame getukeleme tucibufi  
題参したい。このために合併聲明し

gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi,,  
謹奏した。旨を請う。

“nakabure oron de sindarangge be cimari gajifi beyebe tuwabume  
〔革職させた者の缺員に任じる者を明朝つれて引見のため

wesimbu, gūwa be hafan jurgan gisurefi /B/ wesimbu,  
上奏せよ。他の者は吏部が議して上奏せよ。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya nadan biyai ice ilan,  
雍正元年七月初三日。

beidere jurgan i aliha amban amban uksun i foge, aliha amban amban  
刑部尚書臣宗室佛格,尚書臣

li ting i, dorgi yamun i ashan i bithei da bime, ici ergi /C/ ashan i  
勵廷儀,内閣學士署理右

amban i baita be daiselaha, amban malciha<sup>(28)</sup>, ici ergi ashan i amban  
侍郎事臣馬爾齊哈,右侍郎

amban lu siyūn,  
臣盧詢。

隆科多：雍正元年七月初三日，吏部奏請補授通政使司員缺摺

405A/uheri baita icihiyara taiboo hafan i jurgan i aliha amban bime  
總理事務太保吏部尚書

uheri da, gung, nakcu amban longkodo sei gingguleme wesimburengge,  
提 督 公 舅 舅 臣 隆科多 等が 謹 奏する事,

hese be baire jalin, tung jeng ši sy yamun i hashū ergi hafumbure  
旨 を 請う為にす。通 政 使 司 左 通

hafan kubuhe suwayan i /B/ danggūri be, guwanglusy yamun i aliha  
政 鑲 黃 旗 黨古禮 を 光祿寺 卿

hafan sindahabi, ere oron be giyan i sindaci acambi, baicaci, hūwaliyasun  
に 任 じ た。この缺員 は 宜しく 補任すべきである。査するに, 雍

tob i sucungga aniya duin biyai orin jakūn de, baita wesimbure aisilakū  
正 元 年 四 月 二 十 八 日, 奏 事 員 外

hafan jang wen bin ulame hafan i jurgan i aliha amban gung nakcu  
郎 張 文 彬が(上諭を)傳え, 吏 部 尚 書 公 舅 舅

/C/ longkodo de, hese wasimbuhangge, gisurere hafan šose be, ini  
隆科多 に 旨を 降したこと 「給 事 中 碩色を, 彼の

wesici acara oron bici, gebu be donjibume wesimbukini sehebe  
陞任すべき 缺員があれば, 職名を 奏 聞するように」との仰せに

gingguleme dahafi, dangsede ejehebi, te tung jeng ši sy yamun i  
欽 遵し, 檔 案 に 書き留めた。今 通 政 使 司

hashū ergi hafumbure hafan kubuhe /406A/ suwayan i danggūri i  
左 通 政 鑲 黃 旗 黨古禮 の

oronde, eici šose be wesimbume sindara, eici wesici acara urse be,  
缺員に 或は 碩色 を 陞 補するか。或は陞任すべき 者 の

cohofi adabufi encu wesimbume sindara babe, dergici lashalarao,  
正陪を擬定し, 別に 具題し任命するかどうかを, 内より決裁して下さい。

erei jalin gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi,,  
この 為に 謹 奏す。 旨 を 請う。

/B/ “šose be coho, wesici acara niyalma be emke adabufi beyebe  
〔碩色 を 正となせ。陞任さすべき者 を 一人 陪とし 引見

tuwabume wesimbu.”  
のため 具題せよ。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya nadan biyai ice ilan,  
雍 正 元 年 七 月 初 三日,

uheri baita icihiyara taiboo, hafan i jurgan i aliha amban bime uheri  
總 理 事 務 太 保 吏 部 尚 書 提

da gung nakcu amban longkodo, /C/ taidzi taifu dorgi yamun i aliha  
督 公 舅 舅 臣 隆科多, 太子 太傅 内 閣 大

bithei da bime kemuni hafan i jurgan i aliha amban i baita be kamcifi  
学 士 仍 兼 管 吏 部 尚 書 事

icihiyara amban jang peng ge, hashū ergi ashan i amban amban batai,  
臣 張 鵬 翮, 左 侍 郎 臣 巴 泰,

hashū ergi ashan i amban amban hūwang šu lin, /407A/ dorgi yamun i  
左 侍 郎 臣 黃 叔 琳, 内 閣

ashan i bithei da bime dorolon jurgan i ashan i amban kamciha hafan i  
学 士 兼 禮 部 侍 郎 署

jurgan i ici ergi ashan i amban i baita be daiselaha amban ši i jy,  
吏 部 右 侍 郎 事 臣 史 貽 直。

佛格：雍正元年七月初九日，刑部奏請欽點堂官究審人犯摺

493B/ beidere jurgan i aliha amban uksun i foge sei gingguleme  
刑 部 尚 書 宗 室 佛 格 等 が 謹

wesimburengge, dergi hese be gingguleme dahara jalin,, baicaci, elhe  
奏すること。上 諭 を 欽 奉する為にす。査するに，康

taifin i susai nadaci aniya ninggun biyade, beidere k'o yamun i gisurere  
熙 五 十 七 年 六 月 に，刑 科 給 事

hafan yungfu, fung tiyan i jiyanggiyūn i baci /C/ jafaha hūlhamē  
中 永 福 が 「奉 天 將 軍 の 處 で 捕 えた

orhoda gurume jabdure unde weilengge niyalma be, beidere jurgan de  
人 参 竊 盜 未 遂 の 罪 人 を，刑 部 に

benjibure be nakafi, mukden i beidere jurgan, fung tiyan i fu yen i  
解送することを止め，盛 京 刑 部，奉 天 府 尹

yamun de afaufi, kooli songkoi beideme wacihiyabureo seme hacilame  
衙 門 に 委 ね，例 に 照 ら し 結 審 させ て 下 さい」 と 條

wesimbuhe be, amban /494A/ meni jurgan ci dahūme gisurefi  
奏 した の を，臣 等 の 部 より 議 覆 し

wesimbuhede, hese hūlhamē orhoda gurume jabdure unde jergi weilengge  
具 題 した ところ，旨 あり 「人 参 竊 盜 未 遂 等 の 罪

ursei baita be, tubai jurgan de afaufi beidebuci oiorakū, aniyadari  
人 等 の 事 を，彼 處 の 部 に 交 與 して 究 審 せ し め て は な ら ない。毎 年

nadan biyade, ging hecen ci tang ni hafan emke tucibufi unggifi,  
七 月，京 師 より 堂 官 一 人 を 派 出 し，

jiyanggiyūn, fu yen i emgi acafi beidefi /B/ wesimbukini, tuweri orhoda  
將 軍 府 尹 と 共 に 會 同 し 究 審 し 具 奏 する よう に。冬 期 人 参 が

duleme wajiha erinde, jai amasi jikini sehebe  
過ぎ 完る 時に 又(京師に)もどって來させるようにせよ」との仰せに

gingguleme dahafi, geren jurgan, yamun i manju, nikan tang ni hafasai  
欽 遵し, 各 部 院, 衙門の 滿 漢 堂 官等の

gebu jergi be faidame arafi gingguleme wesimbuhe, dergici tucibureo  
職名 等 を 開 列 し 謹 奏す。 上より 指點して下

/C/  
さい。

“hū hioi be tucibu mukden de isinafi majantai i emgi uhei beidefi hū  
〔胡 煦 を 出せ。盛京 に 到り 馬占泰 と 共どもに 究審し, 胡

hioi amasi jifi wesimbukini.”  
煦はもどって來て具奏するように。〕

dorolon i jurgan i aliha amban gioroi suku, coohai jurgan i aliha  
禮 部 尚 書 覺羅 蘇庫, 兵 部 尚

amban amban sunju, beidere jurgan i aliha amban uksun i foge, aliha  
書 臣 孫柱, 刑 部 尚 書 宗室 佛格, 尚

amban li ting i, hafan i jurgan i hashū ergi ashan i amban batai, hashū  
書 勵 廷 儀, 吏 部 左 侍 郎 巴泰, 左

ergi ashan i amban hūwang šu lin, /495A/boigon i jurgan i hashū ergi  
侍 郎 黃 叔琳, 戶 部 左

ashan i amban urtai, hashū ergi ashan i amban li jeo wang, ici ergi  
侍 郎 吳爾泰, 左 侍 郎 李 周 望, 右

ashan i amban tosi, dorolon i jurgan i ici ergi ashan i amban santai,  
侍 郎 托時, 禮 部 右 侍 郎 三泰,

coohai jurgan i ici ergi ashan i amban akdun, ici ergi ashan i amban  
兵 部 右 侍 郎 阿克敦, 右 侍 郎

wang du joo, /B/dorgi yamun i ashan i bithei da bime, beidere jurgan i  
王 度昭, 內 閣 學 士 署 理 刑

ici ergi ashan i amban i baita be daiselaha malciha, uheri be baicara  
部 右 侍 郎 事 馬爾赤哈, 都 察

yamun i hashū ergi ashan i baicara amban gin ing bi, dorgi yamun i  
院 左 副 都 御 史 金 應 璧, 內 閣

ashan i bithei da bime, dorolon i jurgan i ashan i amban kamciha  
學 士 兼 禮 部 侍 郎

cangboo, /C/ashan i bithei da bime dorolon i jurgan i ashan i amban  
常 保, 學 士 兼 禮 部 侍 郎

kamciha hū hioi, tung jeng ši sy yamun i alifi hafumbure hafan yang  
胡 煦, 通 政 使 司 通 政 使 楊

zu gu, hashū ergi hafumbure hafan cen yun gung, ici ergi hafumbure  
汝 穀, 左 通 政 陳 允 恭, 右 通

hafan ciyan i k'ai, hashū ergi aisilara hafan cangde, /496A/ hashū ergi  
政 錢 以 墀, 左 參 議 常德, 左

aisilara hafan uge, hashū ergi aisilara hafan jang guwe dung, ici ergi  
參 議 五 格, 左 參 議 張 國 棟, 右

aisilara hafan sun siyang, dai li sy yamun i aliha hafan li min ki, ilhi  
參 議 孫 勳, 大 理 寺 卿 李 敏 啓, 少

hafan bašisan, ilhi hafan žin i mi, /B/ ilhi hafan tang jy ioi, jan ši  
卿 巴 什 三, 少 卿 任 奕 鑾, 少 卿 唐 執 玉, 詹 事

fu yamun i jan ši bime, dorgi yamun i ashan i bithei da i baita be  
府 詹 事 署 理 內 閣 學 士 事

daiselaha iduri, ilhi jan ši wang lung, ilhi jan ši ho guwe dzung, /C/  
尹 都 立, 少 詹 事 汪 澂, 少 詹 事 何 國 宗,

hūwaliyasun tob i sucungga aniya nadan biyai ice uyun,  
雍 正 元 年 七 月 初 九 日。

beidere jurgan i aliha amban, amban uksun i foge, aliha amban, amban  
刑 部 尚 書 臣 宗 室 佛 格, 尚 書 臣

li ting i, dorgi yamun i ashan i bithei da bime, ici ergi ashan i amban i  
勵 廷 儀, 內 閣 學 士 署 理 右 侍 郎

baita be daiselaha amban malciha, ici ergi ashan i amban, amban, lu  
事 臣 馬 爾 赤 哈, 右 侍 郎 臣 盧

siyūn,  
詢。

允禩：雍正元年七月十九日，工部奏為核査各殿換簾数目摺

525B/weilere jurgan i baita be icihiyara, hošoi hanja cin wang, amban  
管 理 工 部 事 務 和 碩 廉 親 王 臣

yūn sy sei gingguleme wesimburengge, kimcime baicafi wesimbure jalin,,  
允 禩 等 が 謹 奏 する 事。 核 査 し 啓 奏 する 為 に す。

baicaci, yang sin diyan i halame weilere halfiyan sirge i liyanse orin  
査 する に 養 心 殿 換 造 の た め の 匾 條 簾 子 二 十

gargan, jursu bosoi liyanse ilan /C/ gargan, amargi ergi šurdere booi  
扇, 夾 布 簾 子 三 扇, 後 面 圍 房 の

cuse mooi liyanse juwe gargan be iolere, jai ere aniya juwe biyai orin  
竹 簾子 二 扇への塗油(工事)ならびに 本年 二 月 二十

nadan ci siran siran i dasataha guwan de diyan i jergi ba i duin tanggū  
七日 より 陸 続 修理した 観 徳 殿 等 處 の四 百

dehi ilan cuse mooi liyanse be iolere, sunja /526A/ tanggū susai jakūn  
四十三扇の竹 簾子への塗油(工事), 五 百 五十八扇の

cuse mooi jergi liyanse be dasatame weilere de, gumu aniya aniyai  
竹 簾子等 の 修理 工 事 に 俱に 歴 年の

baitalaha songkoi suje, ša be gemu onco juwe c'y obume bodofi, gaiha  
所用に照らし, 緞子, 紗 を 俱に 幅 二 尺として計算し, 受領した

suje orin duin jang sunja c'y nadan ts'un, ša gūsin duin jang duin c'y  
緞子 二十四 丈 五 尺 七 寸, 紗 三十 四 丈 四 尺

jakūn ts'un, lingse i onco be /B/ emu c'y sunja ts'un obume bodofi,  
八 寸。綾子の 幅 を 一 尺 五 寸 として計算し,

gaiha lingse emu minggan emu tanggū nadanju juwe jang jakūn ts'un,  
受領した綾子は 一 千 一 百 七 十 二 丈 八 寸。

bosoi onco be emu c'y obume bodofi, gaiha bosoi emu minggan emu  
布 の 幅 を 一 尺 として 計算し, 受領した布は 一 千 一

tanggū juwan nadan jang sunja c'y duin ts'un, halfiyan sirge i liyanse  
百 十 七 丈 五 尺 四 寸。匾 條 の 簾子の

weilere de, /C/ onco golmin be teherebume bodofi, emu c'y de  
製作 に 幅と 長さ を 均しく 計り, 方一尺(の製作に)

baitalara šanggiyan se sirge be jakūn jiha sunja fun obume bodofi,  
所用の 白 絲 を 八 錢 五 分 として 計り,

gaiha šanggiyan se sirge emu tanggū dehi emu gin ninggun yan, cuse  
受領した白 絲 は 一 百 四 十 一 斤 六 兩。竹

mooi liyanse weilere de, emu c'y de baitalara jun tonggo<sup>(29)</sup> be/527A/  
簾子の 製作 に 一 尺(の製作に)所用の絹 線 を

sunja jiha duin fun obume bodofi, gaiha jun tonggo juwe tanggū ninju  
五 錢 四 分 として 計算し, 受領した絹 線は 二 百 六十

duin gin juwe yan ninggun jiha duin fun, subeliyen futa weilere de,  
四 斤 二 兩 六 錢 四 分。絨(練絲) 繩を製作するのに,

golmin emu jang, muwa emu fun de baitalara subeliyen juwe  
長さ 一 丈, 幅(直径) 一 分(の製作に)所用の絨(練絲)を 二

yan duin jiha obume bodofi, gaiha subeliyen uyun/B/ tanggū ninju  
兩 四 錢 として 計算し, 受領した 絨は 九 百 六十

emu gin tofohon yan juwe jiha, halfiyan sirge i liyanse be iolere de,  
 一 斤 十 五 兩 二 錢。 匾 條 簾 子 の 塗 油 に,  
 onco golmin be teherebume bodofi, emu c'y de baitalara cinuhūn juwe  
 幅 と 長 さ を 均 し く 計 り, 方 一 尺 (の 製 作 に) 所 用 の 銀 硃 (朱) 二  
 jiha juwe fun jakūn li, si lu nadan jiha sunja fun, farsi fulgiyan boihon  
 錢 二 分 八 釐, 西 礫 七 錢 五 分。 片 紅 土  
 ilan jiha ilan /C/ fun, urehe tungio ilan jiha uyun fun, guwang ni  
 三 錢 三 分。 熟 桐 油 三 錢 九 分。 廣 の  
 amdun emu jiha jakūn fun, teišun i hūwa ce emkede ujen juwe  
 膠 一 錢 八 分, 黃 銅 (真 鍮) の 滑 車, 毎 一 個 重 さ 二  
 yan jakūn jiha, teišun i jinggeri, yan ciyan emkede ujen duin jiha  
 兩 八 錢, 真 鍮 の 兩 點 釘, 眼 錢 毎 一 個 重 さ 四 錢  
 ninggun fun nadan li obume bodofi, uheri gaiha cinuhūn emu tanggū  
 六 分 七 釐 と し て 計 算 し, 合 計 受 領 し た 銀 硃 は 一 百  
 /528A/ gūsin emu gin juwan yan uyun jiha, si lu susai nadan gin  
 三 十 一 斤 十 兩 九 錢, 西 礫 五 十 七 斤  
 ninggun jiha, farsi fulgiyan boihon emu tanggū gūsin duin gin juwan  
 六 錢, 片 紅 土 一 百 三 十 四 斤 十  
 duin yan nadan jiha, urehe tungio emu tanggū uyunju sunja gin jakūn  
 四 兩 七 錢, 熟 桐 油 一 百 九 十 五 斤 八  
 yan sunja jiha, guwang ni amdun uyunju sunja /B/ gin tofohon yan  
 兩 五 錢, 廣 の 膠 九 十 五 斤 十 五 兩  
 uyun jiha, urehe suwayan teišun emu tanggū uyun gin sunja yan duin  
 九 錢, 熟 黃 銅 一 百 九 斤 五 兩 四  
 jiha, urehe giowan emu tanggū gūsin nadan gin sunja yan be, udu  
 錢, 紅 熟 銅 一 百 三 十 七 斤 五 兩 を た と え  
 nenehe aniyai ton i songkoi gaifi baitalacibe, damu ciyanliyang de  
 先 年 の 数 目 に 照 ら し 受 領 し 用 い る と し て も, た だ 錢 糧 に  
 holbobuha baita ujen amba, fun, eli /C/ seme fulu dababuci ojarahū  
 關 係 し た 事 は 重 大 で あ り 分 釐 と て 餘 分 に 浪 費 し て は い け  
 be dahame, amban be narhūšame baicafi kimcime ekiyembufi, erei amasi  
 な い の で, 臣 等 は 詳 細 に 査 察 し て 減 ら し, 嗣 後  
 liyanse i jergi hacin be weilere de baitalara suje, ša i onco be gemu  
 簾 子 等 項 の 製 造 に 用 い る 緞, 紗 の 幅 を 俱 に  
 juwe c'y juwe ts'un obuki, lingse i onco be emu c'y ninggun ts'un sunja  
 二 尺 二 寸 と し た い。 綾 子 の 幅 を 一 尺 六 寸 五

fun obuki, /529A/ boso i onco be emu c'y emu ts'un sunja fun obuki,  
分 としたい。 布 の 幅 を 一 尺 一 寸 五 分 としたい。

halfiyan sirge i liyanse onco golmin be teherebume emu c'y weilere de,  
匾 條 の 簾子の幅と 長さ を 均しくし 一 尺の製作 に

šanggiyan se sirge be jakūn fun sunja li ekiyembufi, nadan jiha ninggun  
白 絲 を 八 分 五 釐 減 じ, 七 錢 六

fun sunja li obuki, cuse mooi liyanse emu c'y weilere de, /B/ baitalara  
分 五 釐 としたい。竹 簾 子 一 尺の製作 に, 所用の

jun tonggo be sunja fun duin li be ekiyembufi, duin jiha jakūn fun  
絹 線 は 五 分 四 釐 を 減 じ, 四 錢 八 分

ninggun li obuki, subeliyen futa emu jang weilere de, baitalara subeliyen  
六 釐 としたい。絨 繩 一 丈の 製作 に 所用の 絨

be juwe jiha duin fun ekiyembufi, juwe yan emu jiha ninggun fun obuki,  
を 二 錢 四 分 減 じ, 二 兩 一 錢 六 分 としたい。

halfiyan sirge i liyanse be /C/ emu c'y iolere de, cinuhūn be duin fun  
匾 條 の 簾子 を 一 尺塗油するのに, 銀硃 を 四 分

jakūn li ekiyembufi, emu jiha jakūn fun obuki, si lu be ilan jiha uyun  
八 釐 減 じ, 一 錢 八 分 としたい。西碌を 三 錢 九

fun ekiyembufi, ilan jiha ninggun fun obuki, farsi fulgiyan boihon be  
分 減 じ, 三 錢 六 分 としたい。片 紅 土 を

juwe jiha ilan fun ekiyembufi, emu jiha obuki, urehe /530A/ tungio be  
二 錢 三 分 減 じ, 一 錢 としたい。熟 桐油 を

uyun fun ekiyembufi, ilan jiha obuki, guwang ni amdun be jakūn fun  
九 分 減 じ, 三 錢 としたい。廣 の 膠 を 八 分

ekiyembufi, emu jiha obuki, teišun i hūwa ce be jakūn jiha ekiyembufi,  
減 じ, 一 錢 としたい。黄銅 (真鍮) 滑 車 を 八 錢 減 じ,

ujen juwe yan obuki, teišun i jinggeri, yan ciyan be ninggun fun nadan  
重さ 二 兩 としたい。真鍮 の 兩點釘, 眼 錢 を 六 分 七

li ekiyembufi, ujen duin jiha obuki, /B/ cuse mooi liyanse i sirge  
釐 減 じ, 重さ 四 錢 としたい。竹 簾 條は

narhūn be dahame, cinuhūn, farsi fulgiyan boihon, urehe tungio be  
細密 なので, 銀硃, 片 紅 土, 熟 桐油 を

gemu emte jiha jakūta fun obuki, ere weilehe, iolehe cuse mooi liyanse  
俱に 各一 錢 八 分 としたい。この製作し 塗油した竹 簾 子

i jergi liyanse, jai liyanse i undehen be gemu ere songkoi ekiyembume  
等の 簾子 並に 簾子 の 板 を 俱に これに照らして 減 算



bodoci, /C/ uheri fulu gaiha suje juwe jang duin c'y duin ts'un, ša ilan  
すれば, 共に餘分に受領した緞子は二丈四尺四寸, 紗三

jang duin c'y sunja ts'un, lingse emu tanggū juwan nadan jang juwe c'y  
丈四尺五寸, 綾子は一 百 十 七 丈 二 尺

juwe ts'un, boso emu tanggū juwan emu jang nadan c'y sunja ts'un,  
二 寸, 布 一 百 十 一 丈 七 尺 五 寸,

jun tonggo orin ninggun gin /531A/ ninggun yan, šanggiyan se sirge  
絹 線 二十 六 斤 六 兩, 白 絲

juwan duin gin emu yan, subeliyen uyunju ninggun gin emu yan ninggun  
十 四 斤 一 兩, 絨 九十 六 斤 一 兩 六

jiha, cinuhūn gūsin juwe gin tofohon yan ilan jiha, si lu orin uyun gin  
錢, 銀硃 三十 二 斤 十五 兩 三 錢, 西礫 二十 九 斤

ninggun yan emu fun, farsi fulgiyan boihon orin ninggun gin juwan  
六 兩 一 分, 片 紅 土 二十 六 斤 十

/B/ emu yan sunja jiha, urehe tungio ninju sunja gin sunja yan juwe  
一 兩 五 錢, 熟 桐油 六十 五 斤 五 兩 二

jiha, guwang ni amdun gūsin gin emu yan jakūn jiha, urehe suwayan  
錢, 廣 の 膠 三十 斤 一 兩 八 錢, 熟 黃

teišun gūsin gin duin jiha, urehe giowan orin gin uyun yan ninggun  
銅 三十 斤 四 錢, 熟 紅銅 二十 斤 九 兩 六

jiha, erebe gemu da salibume bodofi gaiha aisilakū hafan nanggitu,  
錢。これを 俱に 原 値をきめ 計って 受領した 員 外 郎 囊義図,

/C/ ejeku hafan mulu de nikebufi, juwan inenggi dorgide bošome ton  
主 事 穆禄 に 交與し, 十 日 以内に 催追し, 数

i songkoi da gaiha bade amasi afabufi, ciyanliyang be ginggulerakū  
に 照らし, 原 領の 處に 返 却し, 錢糧 を 謹まない

ursei targacun obuki sembi. erei jalin gingguleme wesimbuhe, hese  
者共の 戒 としたいと思う。このために 謹んで 奏す。 旨

be baimbi.  
を 請う。

/532A/ hūwaliyasun tob i sucungga aniya nadan biyai juwan uyun,  
雍 正 元 年 七 月 十九 日,

“fe kooli songkoi oci, ere gisurehengge waka ohobi, udu weile araci  
〔旧 例に 従えば, この 議は 誤りである。たとえ治罪するとも,

inu baitalaha jaka be miyaliyafi gingnefi getukelehe erinde weile gisureci  
また 所用 物件 を 丈量し 秤量し 明白にした 時に 罪を議すべき

ojofi dabala, buksuri ekiyembufi uttu toodaburengge bi yaya  
のみである。曖昧に 減じて かように償還させることは、私はおよそ  
demun i hūlhi oshon seme, ergese dasan be ambasa ai hacin  
異様な 愚な 暴虐だと思う。このような 政務 を 大臣等が 如何様に  
guwendebume yarhūdaha seme bi yabure ba akū, ere baitalaha  
鳴きわめき 引導した とて、私はおこなうことはない。この 所 用  
jaka be tucibufi weilere jurgan i yūn sy sunjaci booi ambasa emgi beye  
物件 を もって 工 部 の 允 祺, 孫查齊, 内務府總管等と共に自ら  
tuwame miyaliyafi gingnefi emke emke i getukelefi dasame gisurefi  
見て 丈量し 秤量し, 逐 一 明白に調べ 再び 議  
wesimbu.”  
奏せよ。]

weilere jurgan i baita be icihiyara hošoi hanja cin wang, amban yūn  
管 理 工 部 事 務 和碩 廉 親 王 臣 允  
sy, boigon i jurgan i aliha amban bime, /B/ weilere jurgan i aliha  
祺, 戸 部 尚 書 辦 理 工 部  
amban i baita be icihiyara, amban sunjaci, aliha amban, amban li  
尚 書 事 臣 孫查齊, 尚 書 臣 李  
siyan fu, hashū ergi ashan i amban, amban yentai, hashū ergi ashan i  
先 復, 左 侍 郎 臣 尹泰, 左 侍  
amban, amban hoo lin, ici ergi ashan i amban bime /C/ uheri be  
郎 臣 郝 林, 右 侍 郎 兼 都  
baicara yamun i hashū ergi ashan i baicara amban de kamciha, amban  
察 院 左 副 都 御 史 臣  
sarna,  
薩爾納。

阿布蘭：雍正元年八月初一日，奏為攪乱漕政人員議罪摺

541A/ doroi beile amban abulan sei gingguleme wesimburengge, dergi  
多羅 貝勒 臣 阿布蘭等が 謹 奏する事, 上  
hese be gingguleme dahafi, hūwaliyasun tob i sucungga aniya nadan  
諭 を 欽 奉 し, 雍 正 元 年 七  
biyai orin nadan de, amban be tungjeo de genere de<sup>(30)</sup>, dai tung kiyoo  
月 二十 七 日, 臣 等が 通州 に 行く 時, 大 通 橋  
de isinafi, badzung hū ming i de, /B/ ging gi wan giyūn fu, jang gung  
に 到り, 把總 扈 明 易 に, 經紀の 宛 君 甫, 張 公

ioi, gin wen kui, wang ceng de, li ši lu i jergi sunja niyalma be jafa  
玉, 金 文 魁, 王 成 徳, 李世禄 等 五 人 を捕えよ

seme afabufi, tungjeo de isinafi dzo liyang ting tulin, jyjeo hūwang  
と 命じ, 通州 に 到り 坐 糧 廳 圖林, 知州 黄

ceng jang de, inu wan giyūn fu i jergi sunja ging gi be/C/jafa seme  
成 章 にまた 宛 君 甫 等 五 經 紀を 捕えよ と

afabuha de, badzung hū ming i, wan giyūn fu, jang gung ioi be ging  
命じた 時, 把總 扈 明 易は 宛 君 甫, 張 公 玉 を 京

hecen ci jafafi benjihe, tulin, hūwang ceng jang, gin wen kui, wang  
師 から捕えて送って來た。圖林と 黄 成 章は 金 文 魁, 王

ceng de, li ši lu sebe tungjeo ci jafafi benjihe manggi, amban be, wan  
成 徳, 李世禄 等を 通州 から捕えて送って來たので, 臣 等が 宛

giyūn fu sebe beideci, /542A/wan giyūn fu sei jaburengge, ere aniya  
君 甫 等を 審問したところ, 宛 君 甫 等の 供 述, 「今 年

ninggun biyade inenggi be ejehekū, dzungdu li ing gui, meni ging gi  
六 月, 日は記憶していない。總 督 李 瑛 景が 我等 經 紀

sabe gemu selgiyefi, ini boode gamafi, bira jurgan i bele juwure de,  
等に 俱に 傳諭して彼の家につれて行き, 河 路を以て米を 運ぶ 時,

juwe tumen yan funcere ciyanliyang be malhūšaki seme meni emgi  
二 萬 兩 餘りの 錢 糧 を 節約したいと 我等と 共

/B/hebešere de, meni geren ging gi sei gisun, bira jurgan i jeku  
議した 時, 我等 各 經 紀 等の 言 『河 路を以て 糧を

juwure baita be weihuken i halame dasaci ojurakū, baita tookabure de  
運ぶ 事 を 輕易 に 更 改してはいけない。事を遅延させるのを

gelembi seme henduhede, li ing gui jili banjifi, suwe ere baita be alifi  
恐れる』と 言った時, 李 瑛 景は 怒り 『お前等がこの 事を 承

icihiyarakū oci, bi urunakū suwembe /C/wambi seme hendufi, membe  
辨しない なら, 私は断じてお前等を 殺す』と 言って, 我等を

bašame tucibuhe, sirame li ing gui, juwe tumen yan funcere ciyanliyang  
押し 出した。つづいて李 瑛 貴は 二 萬 兩 餘りの 錢 糧 を

malhūšara baita be wesimbuhe manggi, geli membe hūlame gamafi,  
節約する 事 を 上奏した 後, また 我等を 呼び つれてゆき,

wan giyūn fu minde juse bisire akū babe fonjiha de, bi juwe haha jui  
宛 君 甫 私に 子等がいまいかと 問うたので, 私は二人の男子が

bi seme alaha manggi, li ing gui i /543A/gisun, suwe aika ere baita  
いますと告げたところ, 李 瑛 貴の 言葉, 『お前等がもしもこの事

be alifi icihiyaci, bi urunakū suwembe gemu tuwašatambi, sini jui  
 を処理すれば、私はかならずお前等を みな 世話してやろう。お前の子  
 be hafan bahabure de ai mangga, suwe urunakū ere baita be alifi  
 をして官を得させるのに何のむつかしいことがあるか。お前等は必ずこ  
 icihiya, bi inu cohotoi syi hafan be tucibumbi seme hendure  
 の事を承辦せよ。私はまた 特に 司官をして推舉させてやろう』と言った  
 jakade, dzungdu i afabure baita be buya /B/niyalma ai gelhun akū  
 ので、總督 の命ずる 事 を 小 人が どうして敢て  
 alime gairakū, uttu ofi alime gaiha, amala dzungdu  
 承けたまわらない事があるか。この故に承けたまわりました。のちに 總督  
 i takūraha aisilakū hafan heo guwe ju jifi mende afabuhangge, suweni  
 の派遣した 員外 郎 侯 國 柱が來て我等に命じたこと、『お前等  
 ging gi i data juwan niyalma, juwe idu banjibufi dai tung kiyoo de  
 經 紀の頭目等 十 人は、二 組になり、大 通 橋 に  
 guise ilibufi, idurame geren /C/ging gi sei gaiha ki ding ni jiha be  
 櫃を立てさせ、輪番し、各 經 紀等の得た 旗 丁 の 錢 を  
 bargiyafi, bele juweme ts'ang de isibu, jiha buhe niyalma oci, ini bele  
 収め、米を 運び 倉 に 送れ、錢を支払った者 は、自分の米が  
 udu majige arsari bicibe inu alime gaisu, ts'ang ni dolo  
 たとえ少しくらい尋常のものであっても、また 受 取れ、倉 内  
 baitalara juwe minggan jakūn tanggū jiha be ainaha seme hairaci  
 用の 二 千 八 百 錢 を 決 し て 惜しんでは  
 ojurakū seme /544A/afabuha manggi, mini beye, jang gung ioi, gin  
 ならない』と 命じられたので、私 自身と 張 公 玉、金  
 wen kui, wang ceng de, li ši lu, jai wang šeng, li guwe hūwa, li guwe  
 文 魁、王 成 徳、李世 禄 と 王 勝、李 國 華、李 國  
 hing, yoo gung mai, nai guwe žui meni juwan ging gi i da, dai tung  
 興、姚 公 邁、奈 國 瑞、我等 十人の經 紀の頭目は大 通  
 kiyoo de guise ilibufi, jiha bargiyame deribuhe, cuwan/B/tome ts'ang  
 橋 に 櫃を立て、錢を 収め 始めた。船 毎に 倉  
 ni dolo baitalara juwe minggan jakūn tanggū jiha gaireci tulgiyen, geli  
 内 用の 二 千 八 百 錢を 取る 外、また  
 emu minggan juwe tanggū funcere jiha be, niyalma turire, pancalara  
 一 千 二 百 餘 錢 を、人を 備い 盤費(旅費)  
 de baitalambi, ere šufame gaire de, cuwan tome bele i labdu komso be  
 に 用いる。この 取り たてる時、船 ごとに米 の 多 寡 を

tuwame, duin minggan, ilan minggan, /C/ juwe minggan jiha adali  
はかり、四 千、三 千、二 千 錢 一様

akū gaimbi, ere gemu dzungdu li ing gui, heo guwe ju de afabufi  
でなく取る。これは皆 總督 李 瑛 貴が 侯 国 柱 に言いつけて

icihiyabuha baita, ede kemuni tookanjame ofi, ere aniya ging hecen  
処理させた事です。これにより仍 遲滞しているので、今 年 京 師

i ts'ang de dosimbure jeku, gūwa aniya ci juwe biya funceme sitabuhabi  
の 倉 に 納入する 米石は往 年 より 二箇月 あまり遅れている」

seme jabumbi, jang gung ioi i /545A/ jergi uyun niyalma gemu wan  
と答えている。張 公 玉 等 九 人は 俱に 宛

giyūn fu i emu songkoi jabumbi, baicaci, de jeo wei i jergi ilan mukūn  
君 甫と 同 様に答えている。査するに、徳 州 衛 等 三 幫(群)

i isinjiha jeku juwere ki ding sioi tiyan jy sei tucibuhe bade, ere aniya  
の到着した糧穀の運搬 旗 丁 徐 天 秩等の 陳述によると、「今 年

heo guwe ju, meni jekui cuwan be baicame ofi, aniyadari bure toktoho  
侯 国 柱が 我等の糧 船 を調査しており、歴年給するよう定めてある

ton ci tulgiyen, cuwan /B/ tome fulu jakūn minggan jiha gaimbi,  
数目の外に、 毎 船、額外に 八 千 文を得ている。

ere jiha be, heo guwe ju cuwan tome duite minggan jiha gaimbi, gemu  
この錢(の中) 侯 国 柱は 毎 船につき四 千文づつとっている。俱に

ging gi sa šufafi ini booi niyalma jang sy de afabumbi sembi,  
經 紀等が取り立てて自分の家 人 張 四 に渡している」と言う。

ubabe jang sy de fonjici, alime gairakū ofi, giyabalame  
この事を張 四に審問したところ、承 認しないので、足夾みの責具にかけ

fonjici, jang sy i jaburengge, /C/ mini ejen heo guwe ju  
訊問したところ、張 四 の 供述によると、「私の 主人 侯 国 柱が

mimbe takūrafi, geren ging gi sei baru jiha gaihangge yargiyan,  
私を 遣わし、 各 經紀等に向い、錢を要求して取ったことは本当です。

uheri udu gaire babe bi sarkū, bi siran siran i ging gi saci jakūnju  
全部でいくら取ったかは私は知りません。私はつぎつぎと經紀 等から 八十

minggan jiha gaifi, mini ejen de buhe sembi, ts'ang cang ni  
千 錢を得て、私の 主人に 與えました」と言う。倉 場 の

aisilakū hafan heo guwe ju de, sini dzungdu /546A/ simbe takūrafi,  
員外 郎 侯 国 柱に「お前の總督が お前を 遣わし、

ši ba, tu ba i jergi bade dulere jekui cuwan i ki ding sade, ging gi sabe  
石 壩、土 礮 等 處を 經過する糧 船 の旗 丁 等に、經 紀 等を

unggifi bele be baicame tuwara kanagan de adarame jiha gaiha babe  
遣わし、米石 査 看を 口実として、どのようにして錢を受取っ

tondo be jabu seme fonjici, heo guwe ju i jaburengge,  
たのか本当の事を答えよ」と訊問したところ、侯 国 柱の 供述によるに

dzungdu li ing gui juwe tumen yan funcere ciyanliyang be /B/  
「總督 李 瑛 貴は二 萬 兩 餘の 錢糧 を

malhūšara de, jeku juwere baita be tookabure de geleme ofi, mini  
節約する 時 運 糧の 事 を 遲滞させるのを 恐れて、 私に

baru, geren ging gi sade bi aifini afabufi, geren goloi jekui cuwan i ki  
向い『各 經 紀等に私はすでに言いつけて、各 省の 糧 船 の 旗

ding ci nonggime jiha šufame gaifi, jeku juwere baita de aisilabumbi,  
丁 から増額して 錢を 取り たて、運 糧 事務 を 接濟する。

si damu geren ging gi saci jiha gaisu seme henduhede, bi /C/ging gi  
お前はただ各 經 紀 等から錢を取れ』と言われたので、私は 經 紀

sade hendufi, cuwan tome fulu jakūn minggan funcere jiha be gaimbi,  
等に言いつけて、船 毎に 餘分に八 千 餘 錢 を 取る。

emu derei ging gi i da wan giyūn fu i jergi juwan niyalma de hendufi,  
一 面、經 紀 頭目 宛 君 甫 等 十 人 に言いつけ、

dai tung kiyoo de guise ilibufi, cuwan tome ts'ang ni dolo baitalara  
大 通 橋 に 櫃子を 立て 船 毎に 倉 内 用の

juwe minggan jakūn tanggū jiha, /547A/ jai ging gi sai pancalara,  
二 千 八 百 錢 と 經 紀等が 旅費とし、

niyalma turire emu minggan juwe tanggū funcere jiha be, gemu wan  
人を 備う 一 千 二 百 餘 錢とを、俱に 宛

giyūn fu sede afabufi, geren ging gi saci cuwan tome jiha gaifi  
君 甫 等に 渡し、各 經 紀 等から 船 毎に 錢を 取り

baitalaraci tulgiyen, cuwan tome duin minggan jiha gaisu seme mini  
使用させる 外、船 毎に 四 千 錢を 取れとって 私の

booi niyalma jang sy be/B/takūraha de, jang sy siran siran i jakūnju  
家 人 張 四 を 遣わした時、張 四はつぎつぎと 八 十

minggan jiha bargiyafi gajiha be, bi geli jang sy be takūrafi, dzungdu  
千 錢を 収め 持参したのを、私はまた張 四 を 遣わし、總督

li ing gui i boode benefi, ini booi da li u de afabuha inu sembi, /C/  
李 瑛 貴 の家に 送り、彼の家の 頭 李五に渡した。これは事実である」

amban meni uhei acafi gisurehengge, li ing gui, ejen i booi se  
と言う。臣 等は 共々に会 議 し、李 瑛 貴は聖主の 家の 年

bisire fe niyalma, šengdzu gosin hūwangdi i den jiramin kesi be aniya  
老いた舊臣である。聖祖仁皇帝の至厚の恩寵に年

goidame alifi banjiha, hūwangdi inu kesi be aliha fe niyalma seme  
久しく沐した。皇帝も亦恩澤を蒙った舊臣であると

/548A/ gūnime, dabali ts'ang cang ni oyonggo tušan de sindafi  
思い、拔擢して倉場の要職に任

baitalaha, ede li ing gui, giyan i ejen i kesi de karulame,  
用せられた。これにより李瑛貴は應に聖主の恩に報いるため、

ts'ang cang ni baita de unenggi gūnin be tucibufi, tušan i baita de hing  
倉場の事に誠心を尽くし、職務に専

seme faššame, eiten jemden be geterembume, bele jeku i baita i  
心勤め、全ての情弊を除き、米穀の事務の

holbobuhangge amba oyonggo /B/ babe erindari gūnin de tebufi, eiten  
関係する所のはなはだ重要な事を毎時心に留め、全て

tusangga baita be kiceci acambi, elemangga syi hafan heo guwe  
有益な事に勤めるべきである。にもかかわらず司官侯國

ju i jergi buya urse de afaufi, kooli ci encu jekui cuwan i ki ding  
柱等の微員等に委し、例に違い、糧船の旗丁

sade ton ci fulu menggun jiha gaime, ki ding, ging gi sabe jocibume,  
等から数よりは餘分の銀錢を勒索し、旗丁經紀等を窮迫させ、

ts'ang de dosimbure /C/ bele be juwe ilan biya sitabure de isibufi, ne  
倉に納入する米穀を二三月遅延させるに到った。今

sucungga isinjiha šandung ni jeku bele i cuwan ci fulu gaire kooli be  
はじめて着いた山東の穀米船から餘分に勒索する例を

neifi, siran siran i giyan i giyan akū i gaifi beyede singgebuki seme  
開き、つぎつぎと理由があろうとなかろうと取り立て、己れに入れようと

gūnin toktohubufi, ts'ang cang ni baita be facuhūrame yabuhangge ambula  
心を定め、倉場の事を混乱させたことは、大いに

ubiyada, /549A/ amban be bahaci, dzungdu li ing gui be hafan efulefi,  
憎むべきである。臣等は、でき得れば總督李瑛貴を革職し、

“jafafi”<sup>(31)</sup> harangga jurgan de afaufi “ciralame” weile gisurebuki, heo  
〔捕え〕該部に交與し、〔厳しく〕罪を議したい。侯

guwe ju be hafan efulefi jafafi, ging gi wan giyūn fu, jang gung ioi, gin  
國柱を革職し、捕え、經紀宛君甫、張公玉、金

wen kui, wang ceng de, li ši lu, jai heo guwe jui booi jang sy, li ing  
文魁、王成德、李世祿、並に侯國柱の家人張四、李瑛

gui i booi /B/ li u sebe gemu jafafi, beidere jurgan de afabuki  
貴の家人 李五等を ことごとく捕え、刑 部 に交與したい

sembi, amban meni cisui gamara ba waka ofi, gingguleme wesimbuhe,  
と思う。臣 等がほしいままに処理する事ではないので、謹しんで奏した。

hese be baimbi,  
旨 を 請う。

/C/ hūwaliyasun tob i sucungga aniya jakūn biyai ice,  
雍 正 元 年 八 月 初一日。

kubuhe lamun i manju gūsa be kadalara doroi beile amban abulan,  
管 鑲 藍旗 滿洲 都 統 多羅 貝勒 臣 阿布蘭,

hafan i jurgan i ici ergi ashan i /550A/ amban amban ši i jy, dorgi  
吏 部 右 侍 郎 臣 史貽直, 内

yamun i ashan i bithei da bime beidere jurgan i ici ergi ashan i  
閣 学 士 署 刑 部 右 侍

amban i baita be daiselaha amban malciha.  
郎 事 臣 馬爾赤哈。

**佛格：雍正元年八月初三日、刑部奏為審擬偷進圍場人犯摺**

550B/ beidere jurgan i aliha amban uksun i foge sei gingguleme  
刑 部 尚 書 宗室 佛格等が 謹

wesimburengge, hese be baire jalin, tulergi golo be dasara jurgan ci  
奏する事, 旨 を請う為にす。理 藩 院 から

wesimbufi benjihe bithede, abai babe giyarire janggin guwanyemboo sei  
奏し 送った 書に, 圍 場を 巡察する 章京 觀 音 保 等が

abai bade hūlhame buthašame yabuha samboo sebe jafafi benjihe emu  
圍 場で ひそかに 狩獵 を おこなった三寶 等を 捕え 送った 一

/C/ baita be beideci, samboo i jabunde, bi gulu lamun i uksun i  
案 を審理したところ, 三寶 の供述 「私は正 藍旗 宗室

gung bihe urjan i suruk bai<sup>(32)</sup> adun i niyalma, duleke aniya meni tuba  
原 任公 烏爾站的 牧 場の 馬群 上人です。去 年 我等は彼處

jeku bargiyahakū banjici ojurakū ofi, bi mini deo samadi i baru, muse  
で食糧が稔らず 暮せなかったので、私は私の弟 薩麻地 に向い、我等は

abai bade hūlhame dosifi gurgu be wafi gajifi, cai, /551A/ bosoi jergi  
圍 場にこっそりしのびこんで獣を殺して取って来て、茶 布 等の

jaka be hūlašaki seme hebešefi, ere aniya ninggun biyai juwan jakūn de,  
物 と 交換しようと 相談し、今 年 六 月 十 八 日,



meni ahūn deo juwe morin yalufi, emte miyoocan gaifi hūlhame abai  
我等 兄 弟は 二匹の馬に乗り、 各一丁の銃を 持ち こっそりと 圍

bade dosifi buthašame yabure de, bi juwe buhū be miyoocalame wafi  
場に 入り 狩獵をおこなった 時、私は二匹の鹿を 鉄砲で射 殺し

efulefi acifi gajire de, aga de ucarafi/B/yali gemu gūwaliyafi  
解体し馬に負わせて持って来る時、雨に 遇い、 肉は 皆 腐敗し

waliyaha, sukū be gaifi yabure de, yonggan bai sekiyen i bade isinafi,  
棄てた。皮 を 取って行く 時、 沙子 頭 地方に 到り、

giyarire hafan, cooha de jafabuha inu, mini deo samadi  
巡審の 官 兵 に捕えられた。これは事実です。私の 弟 薩麻地

ci tulgiyen, jai umai sasa genehe niyalma akū sembi, samadi ini  
以外には、又 誰も一緒に行った者はありません」という。薩麻地は 彼の

ahūn samboo i emu songkoi ceni beye alime gaimbi, /C/ baicaci,  
兄 三寶 と 同 様に 彼等 自身 認めている。 査するに、

hūwaliyasun tob i sucungga aniya sunja biyade, abai bade hūlhame  
雍 正 元 年 五 月、 圍 場で ひそかに

buhū waka cang el sebe amban meni jurgan ci beidefi, ilan biya selhen  
鹿を 殺した 長 兒 等を 臣 等の 部 で 審理し、三箇月 枷號を

etubufi tanggū šusiha tantame gisurefi wesimbufi wacihiyaha be  
着けさせ百度 鞭うちにする と 議し 上奏し 完結し（その事）を

dangsede ejehebi, samboo, samadi be, cang el sei kooli/552A/songkoi  
檔案に記した。 三寶、 薩麻地 を 張 兒等の例に 照らし、

gemu ilan biya selhen etubufi tanggū šusiha tantafi harangga gūsade  
均しく三箇 月 枷號を着けさせ、百度 鞭うちにし 該 旗に

afabuki, ne baha morin, miyoocan be jafaha coohai urse de šangname  
渡したい。今 得た 馬、 銃 は 捕えた 兵 丁 に 賞 與

buki sembi, erei jalin gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi. /B/  
したいと思う。この 為に 謹 奏した。 旨 を 請う。

“urjan i suruk bai morin be sain targūn se asigan morin be juwe  
〔烏爾站的 牧 場 の 馬 を、よく 肥った歳の 若い 馬 を 二頭

sonjofi jafaha urse de šangna.”  
選び 捕えた人々に 賞與せよ。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya jakūn biyai ice ilan,  
雍 正 元 年 八 月 初 三日。

beidere jurgan i aliha amban amban uksun i foge, aliha amban amban  
刑 部 尚 書 臣 宗室 佛格、尚 書 臣

li ting i, dorgi yamun i ashan i bithei da bime, ici ergi /C/ ashan i  
勵 廷 儀, 內 閣 學 士 署 理 右 侍

amban i baita be daiselaha amban malciha, ici ergi ashan i amban  
郎 事 臣 馬爾齊哈, 右 侍 郎

amban lu siyūn,  
臣 盧 詢。

隆科多：雍正元年八月初四日，吏部奏請嚴加查核貢監諸生摺

553A/hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin.  
吏 部 が 謹 奏 する 事。 旨 を 請 う 為 に す。

gung šeng, giyan šeng ni jergi simnere be baicaci, toktobuha kooli de,  
貢 生, 監 生 等 の 考 選 を 査 する に, 定 例 に よ れ ば,

guwe dzi giyan yamun de bithe tacirengge oci, guwe dzi giyan yamun  
国 子 監 に て 書 を 学 習 する 者 は, 国 子 監

ci benjimbi, /B/da bade bithe tacirengge oci, harangga goloi siyūn  
から 送 っ て 來 る。 原 籍 で 書 を 学 習 する 者 は, 所 属 の 省 の 巡

fu jurgan de benjimbi, aniyadari sunja biyade uyun king uhei acafi  
撫 が 部 に 送 る。 毎 年 五 月 に 九 卿 が 会 同 し

timu tucibufi simnembi, amban meni jurgan i sy i hafasa giowandzi  
題 目 を 出 さ せ 考 試 する。 臣 等 が 部 の 司 官 等 が 卷 子 (答 案) を

bargiyaha amala fempilefi uyun king de /C/ benefi uhei tuwame jeo  
収 め た 後, 封 を し 九 卿 に 送 り 会 閱 し 州

tung, hiyan ceng, jeo pan, jubu, limu i jergi be toktobumbi, simneme  
同, 縣 丞, 州 判, 主 簿, 吏 目 等 を 定 め る。 考 選 に

jiderengge minggan niyalma isimbime damu sain ehe be ilgambi,  
來 た 者 は 千 人 近 く に な り, た だ 善 惡 を 区 別 する だけ で,

meiterengge akū ojoro jakade, balai orolome yabume aniya goidafi ehe  
切 り 捨 て る こ と が な い の で, 徒 ら に 缺 官 に 補 任 し, 年 久 し く な り, 惡

tacin /554A/banjinahabi, te hūwaliyasun tob i sucungga aniya nadan  
習 が 生 じ て い る。 今 雍 正 元 年 七

biyai orin ninggun de, amban meni jurgan ci guwe dzi giyan yamun,  
月 二 十 六 日, 臣 等 の 部 から 国 子 監 な ら び に

geren goloi siyūn fu i jurgan de benjihe gung šeng, giyan šeng uheri  
各 省 巡 撫 が 部 に 送 っ た 貢 生, 監 生 共 に

nadan tanggū /B/ gūsin niyalma be, abkai elhe obure dukai tule  
七 百 三 十 人 を 天 安 門 外 の

simnere de, amban meni jurgan i sy i hafasa be dendeme tucibufi  
考試 に 臣 等が 部 の 司 官等を 分 派し、  
gebu hūlame giowandzi bargiyaha, geren sy i hafasai alarangge,  
名を 點呼し 卷子を 収めた。 各 司 官等の 言うには  
simneme jidere geren gung /C/šeng, giyan šeng sa, araha wen jang  
「考試に應じて來た各 貢 生, 監 生 等が書いた 文 章は  
emu adali, gisun mudan acanarakūngge labdu, ede gebu  
一 様でも聲 音が 符号しない者が 多い。この為に冒名頂替（名前  
oroloro jemden bisire be boljoci ojarahū sembi, amban be  
だけ見て補任する）の弊害のあるのを予測できない」という。 臣 等  
hujume gūnici, jeo tung ni jergi hafan i jergi serengge, /555A/ejen i  
伏して思うに, 州 同 等の 官 等というものは, 聖主の  
yamun i gebu hergen de holbobuha be dahame, gelhun akū an i baita  
衙門 の 名と 官 に 関りがある ので, 敢て 通常の 事  
obufi tuwaci ojarahū, uttu be dahame, amban meni jurgan i sy i  
として考える事はできない。この 故 に 臣 等が 部 の司  
hafasa be, ne simneme jihe geren gung šeng, giyan šeng sebe gebu  
官等 が, 今 應試 に 來た 各 貢 生, 監 生 等に 人毎  
aname acabume baicame, erei dorgi /B/hergen acanarakū, gisun  
に 会って 調べ, この内に 筆跡が合わず, 聲  
mudan acanarakūngge bici, uyun king de benefi tuwaburakū obuki  
音が 合わない者があれば, 九 卿 に 送り閲取しないようにしたい。  
yargiyan i beye jifi simnerengge be kooli songkoi simnehe giowandzi  
本當に 自分で來て應試した者 は 例に 照らし 試 卷  
be fempilefi, uyun king de benefi acafi tuwafi, wen jang sain ehe be  
を 封じ 九 卿 に 送り 会同し看閲し, 文 章の 善 惡 を  
tuwame, hafan i jergi amba /C/ajige be toktobuki, kemuni<sup>(33)</sup> nenehe  
見て 官 の 等級の大 小 を 定めたい。仍ち 從前の  
ehe tacin i songkoi emu adali (“amban be gelhun akū cisui jemden  
陋 習に 従い 一 様に [ 臣 等は敢て ほしいままに弊害を  
yabume, heoledeme”) balai hafan i jergi (“be derencume”) buci  
おこない 怠たり] みだりに官 等 [を依怙ひいきして] 與えては  
ojorakū, erebe kemuni guwe dzi giyan yamun, jai jyli geren goloi  
いけない。これを仍 国 子 監 ならびに 直隸 各 省  
siyūn fu de bithe unggifi, ereci amasi benjihe gung šeng, giyan šeng  
巡 撫に 行 文し, これより以後, 咨送した 貢 生, 監 生

／556A／sebe urunakū ciralame baicafi, harangga giyan šeng de bithe  
等を 必らず 厳しく 調べ 所属の 監 生 に 書を

bufi beye gajifi jurgan de jifi bithe alibufi, beye tuwabunjiha  
給し、本人みずから持って 部 に 来て書を呈出させ、来て 引見させた

manggi, teni simnebuki, aikabade holtome oroloro jergi jemden bici,  
後、 はじめて應試させたい。もしも、假冒 頂替 等の弊害があれば、

baicame tucinjihe manggi, bithe buhe guwe dzi giyan yamun i hafan  
査 出した 後、 咨文を給した 國 子 監 の 官、

／B／jai geren goloi siyūn fu be ciralame weile gisurebuki, uttu ohode  
並に 各 省 巡 撫をして厳しく罪を議させたい。このようにして

holtome oroloro jemden be geterembuci ombime, gebu hergen be inu  
假冒 頂替の 弊害 を 除くことができ、 名と官 を 亦

balai bure de isinarakū ombi, erei jalin gingguleme wesimbuhe, ／C／  
濫りに與えるに到らないであろう。この為に 謹 奏す。

hese be baimbi,  
旨 を 請う。

“ere mini tengkime sara baita, ere ucuri ere baita be hacilaha  
〔これは私がはっきりと知っている事である。この時、この事 を條陳した

niyalma kemuni bi, bi jing yabuki sere baita (seme gūniha bihe),  
者も 仍 ある。私が丁度おこないたいと思っている事だ。(思っていた)。

ere wesimbuhengge ambula saisacuka, gisurehengge umesi akūmbuhabi,  
この 上奏は 大いに 嘉すべし。論議は はなはだ詳細である。

damu kemuni uyun king de afabufi giowan dzi be tuwaci, niyalma geren  
ただ 仍 九 卿 に 委し 卷 子 を 見れば、人々は 各

teisu teisu takara urse be derencure be boljoci ojurakū, te simnere  
それぞれ 識っている者 を 依怙ひいきするのは予測できない。今 考試は

／557A／hanci ome, uyun king i ambasa, bithei yamun han lin se i  
近くて、 九 卿 の 大臣等、 翰 林院 翰 林 等 の

gebu be faidafi simnere niyalma i labdu komso be bodome isingga udu  
名 を 列べ、考試の 人 の 多 寡 を 計り用うるに足る幾

niyalma tucibure babe harangga jurgan wesimbufi hese baisu mini beye  
人を 出すかの事を 該 部が 上奏し、旨を 請え。私自身が

tucibure, gūwa be gisurehe songkoi obu.”  
推舉しよう。他 は 議の 如く せよ〕。

hūwaliyasun tob i sucungga aniya jakūn biyai ice duin,  
雍 正 元 年 八 月 初 四日、

uheri baita icihiyara taiboo hafan i jurgan i aliha amban bime, uheri  
總 理 事務 太保 吏 部 尚 書 提

da gung nakcu amban longkodo, /B/ hashū ergi ashan i amban amban  
督 公 舅舅 臣 隆科多, 左 侍 郎 臣

batai, hashū ergi ashan i amban amban hūwang šu lin, ici ergi ashan i  
巴泰, 左 侍 郎 臣 黃 叔琳, 右 侍

amban bime, bithei yamun i ashan i bithei da de kamciha amban ši i jy.  
郎 兼 翰林院 學 士 臣 史貽直。

佛格：雍正元年八月初五日，刑部奏請監禁西倫查抄家產摺

557C/ beidere jurgan i aliha amban uksun i foge sei gingguleme  
刑 部 尚、書 宗室 佛格 等が 謹

wesimburengge, hese be baire jalin. amban be baicaci, hūi ning hiyan  
奏する事, 旨 を 請う 為にす。臣 等查するに, 署 會

i baita be daiselaha li de žung salame aitubure menggun be giyatarama  
寧 縣 事 李德 榮が 賑 濟 銀 を 掠 め

gaiha, /558A/ tuwame salame aitubure ejeku hafan bihe gioroi silen,  
取った。 原 任 監 賑 主 事 覺羅 西倫が

li de zung ni menggun be ergeleme gaiha turgunde, neneme uheri be  
李 德 榮 の 銀 を 脅迫して取った ために, 先に 都

baicara yamun i hashū ergi alifi baicara amban ju ši, dzungdu niyan  
察 院 左 都 御 史 朱 軾が 總督 年

geng yoo i emgi beidefi silen be tatame wara weile tuhebufi wesimbuhe  
羹 堯 と 共に 審問し, 西倫を 絞 罪に 定め 具題したとこ

be, /B/ amban meni jurgan ci uyun king ni emgi acafi dahūme gisurefi,  
ろを, 臣 等が 部 より 九 卿 と 会同し, 議 覆し,

silen be tatame wara weile tuhebufi loode horiki seme elhe taifin i ninju  
西倫を 絞 罪に 定め 牢に監禁したいと 康 熙 六十

emuci aniya nadan biyai juwan jakūn de wesimbuhede, orin duin de,  
一 年 七 月 十 八 日 具題したところ, 二十 四 日,

hese gisurehe songkoi obu sehebe gingguleme dahafi /C/ silen be  
旨あり「議の如くせよ」 との仰せに 謹 遵し, 西倫を

jurgan de benjibufi loode horiha bihe, omšon biyai orin de kesi joo de  
部 に 送付し, 牢に監禁しておいた。十一 月 二十日, 恩 詔 に

ucarabufi, cohotoi hesei weile araha uksun, gioro sebe oncodome  
恭遇し, 特 旨を以て罪を 犯した 宗室 覺羅 等を 有

guwebure jergide gioroi silen i weile be guwebufi sindaki, erei doosidaha  
免する 等で 覺羅 西倫の 罪 を 免じ釋放したい。その 貪取した

menggun be harangga /559A/ gūsade afabufi, silen i boo boigon de  
銀兩 は 該 旗に 交與し、西倫 の 家 産 を

nikebufi ton i songkoi bošome wacihiyafi jurgan de benjibukini seme  
かたにとり、数に 照らし 催促し 完結し 部に 送らせるようにと、

jorgon biyai juwan de wesimbuhede, ineku inenggi hese, silen aikabade  
十二 月 十 日 啓奏した時、同 日 旨あり、「西倫がもし

toodara menggun be wacihiyarakū oci, wesimbufi ujeleme weile ara  
償還する 銀兩 を 完結しなければ、啓 奏し 重く 治罪せよ」

sehebeingguleme dahafi harangga gūsade bithe unggihe be dangse de  
と仰せられたのに欽 遵し、該 旗に 行 文し この事を檔案に

/B/ejehebi, te emu aniyai bilagan jalufi silen i gebui fejergide bošome  
記した。今 一 年の 期限が 満ち 西倫 の名の 下に 追

gaici acara emu minggan emu tanggū gūsin yan menggun be fun eli  
徴 すべき 一 千 一 百 三十 兩の 銀 を 分 釐

umai wacihiyahakūbi, uttu be dahame, silen be cen ting ki sei kooli  
さえも全く完結していない。この理由により、西倫を 陳 廷 琦 等の例に

songkoi dasame loode horifi, erei wacihiyara unde doosidaha menggun  
照らし 改めて 牢に 監禁し、この 未完 の 貪取した 銀 兩

be harangga /C/gūsade afabufi ciralame bošome, ini bisirele<sup>(34)</sup> boo  
を 該 旗に 交與し 重く 催促し、彼の所有の 家

boigon be getukeleme baicafi hūda salibufi jurgan de benjibukini sembi,  
産 を 明白に 調べ、價を 定め 部に 送らせようと思う。

erei jaliningguleme wesimbuhe, hese be baimbi.  
この為に 謹 奏した。 旨 を 請う。

“gisurehe songko,”  
〔議に 依れ。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya jakūn biyai ice sunja,  
雍 正 元 年 八 月 初 五 日。

beidere jurgan i aliha amban amban uksun i foge, aliha amban amban  
刑 部 尚 書 臣 宗室 佛格, 尚 書 臣

li ting i, hashū ergi ashan i amban amban asinai, dorgi yamun i ashan  
勵 廷 儀, 左 侍 郎 臣 阿錫鼐, 内 閣 學

i bithei da bime, ici ergi ashan i amban i baita be daiselaha amban  
士 署 右 侍 郎 事 臣

malciha, ici ergi ashan i amban amban lu siyūn.  
馬爾齊哈, 右 侍 郎 臣 盧 詢。

佛格：雍正元年八月初五日，刑部奏為積欠久懸請旨清查摺

560C / beidere jurgan i aliha amban uksun i foge sei gingguleme  
刑 部 尚 書 宗 室 佛 格 等 が 謹

wesimburengge, jibsime edelehengge be goidame funtuhulefi toodahakū  
奏する事。 積 欠 を久しく空欠にしたまま償還してない

babe tucibufi genggiyen i bulekušefi getukereme baicabure be baire jalin  
事を 陳述し 睿 鑒 清 査 を請う為にす。

amban be baicaci, canglu i alifi bošoro jang lin sei gebui fejergi alban  
臣 等 査するに，長蘆が承 追する 張 霖等の 名 下の，官

de /561A/ dosimbure doosidaha jergi geren hacin i menggun, uheri  
に 入れる 贓 等 各 項 銀 は， 共計

emu tanggū nadanju sunja tumen jakūn minggan yan funcembi, elhe  
一 百 七 十 五 萬 八 千 兩 餘である。 康

taifin i dehi sunjaci aniya ci ere aniya de isibume, orin aniya hamime  
熙 四 十 五 年 より 今 年 に 到るまで 二 十 年 に 及 び

damu orin juwe tumen sunja minggan ninggun tanggū uyunju yan  
た だ 二 十 二 萬 五 千 六 百 九 十 兩

funcere menggun wacihiyaha, wacihiyara /B/ unde menggun emu  
餘の 銀を 完結した。 未 完 の 銀 は 一

tanggū susai ilan tumen juwe minggan yan funcembi, jang lin be  
百 五 十 三 萬 二 千 兩 餘である。張 霖 を

wakalafi, jyli siyūn fu beideme wacihiyafi weile toktobuha, baicame  
彈劾し， 直隸 巡 撫が 審理し 終り， 罪を 定めた。 監 察

tuwara hafan i kimcime baicaha fonde, ceni boo boigon be tanggū  
御 史 が 精 査した 時に，彼等の 家 産 が 百

tumen yan menggun salimbi seme nikebuhe be /C/ dahame, gemu  
萬 兩 銀に 値する と 見積ったの で みな

jaka hacin bisire baita, tere nergin de uthai hūda salibume bošome  
物 件が ある 事だから，その 際 に ただちに 値段を定め 追

gaimbihe bici, aifini wacihiyaci ombihe, aide ere aniya de  
徴していたなら，とくに完結することができたはずだ。何故 今 年 に

isitala wacihiyaha menggun juwan ubu i dolo hono juwe ubu de  
到るまで 完結した 銀が 十 分 の 中 に わずかに 二 分 に

isinahakū ni, dangse be baicame tuwaci, siyūn fu se ainame ainame  
足りなかったのか。檔案を 検 査するに巡撫 等 が 倉 卒に

baita be /562A/ wacihiyaki seme umai niyalma hacin be emke emken i  
事 を 完結しようとして全く 人や 項目を 逐 一

narhūšame getukeleme baicahakū, we i boo boigon udu, we de  
詳細 明確に 調べていなかった。誰 の 家産はいくらか、誰に

nikebuhe, eici ne menggun bifi afabuci ogoro, eici hūda  
言いつけたのか、或は現に銀があって納付する事が出来るのか、或は値段を

salibufi afabubure babe faksalame harangga kadalara ba na i hafasa  
定めて 納付させるのかを 分けて 所属の 管轄 地方 官等

dabsun be /B/ baicara baicame tuwara hafan, dabsun i dooli, siyūn  
および 巡 塩 御 史, 塩法 道員, 巡

fu de bithe unggifi, emu obume dahame yabubume bilagan bilafi  
撫 に 行 文し, 一 體に 遵 行し, 期限を 定め,

ciralame bošome gaibuhakū, unenggi ciralame bušome gaibuha bici,  
厳しく 追 徴していない。本当に 厳しく 追 徴していたならば

inu ainaha seme uttu elhešeme goidara de isinarakū bihe, harangga  
又 決してこのような 遅 延 には到らなかったろう。所属の

siyūn /C/ fu oci, damu beyeci ukcara be kiceme dabsun be  
巡 撫 は, ただ自身が(この案件から)逃れることに勤め, 巡

baicara baicame tuwara hafan de anatambi, baicame tuwara hafan,  
塩 御 史 に 推しつけている。御 史の

dabsun i takūran, emu aniya emgeri halambi, umai kadalame bošoro  
塩 の 差遣は 一 年に 一度 交代する。全く取り締って追徴したり,

alifi bošoro cohotoi tušan akū bime, geli bošoro de hūsutulehekū  
承 追する 特別の 責務があるわけではなく, 又 催 追 に勵まなかった

jalín weile arara ba /563A/ akū ofi, ulan ulan i damu baitai  
からといって 罪 になる事も ないので, 次 次 と ただ 事案に

songkoi dahame yabure be saha gojime, alifi bošoro hacin be an i  
照らし, 依 行するのを知る だけで 承 追する 項目を 常

baita obufi tuwara jakade, tuttu orin aniya otolo yabubure bithe  
事と みなしている ので かように二十 年 間に 往復した文書の上

de menggun i ton bisire gojime, alban i menggun be, fuhali  
に 銀兩 の数が残っているけれども, 正賦 の 銀 は 遂に

toodahakūbi, tebici ere baitai dorgi /B/ nakabuha hūdai niyalma  
償還されていない。今でもこの事案の内で 革退せしめた商 人



fung ki i gebui fejergi edelehe dabsun i cifun i emu minggan uyun  
馮 祺の 名の下に 欠損している 塩 税 の一 千 九

tanggū gūsin yan menggun be, gu ging yuwan funde wacihiyambi seme  
百 三十 兩の 銀 は、顧 景 元が 代って 完結する と

alime gaiha, kamcifi bošome gaici acara juwe minggan uyunju ninggun  
承認した。合併して追 徴 すべき 二 千 九 十 六

yan menggun be, jang ši ki i jergi ninggun niyalma /C/ emu aniyai  
兩の 銀 は 張 士 祺 等 六 人 が 一 年 の

dolo funde wacihiyambi seme alime gaihabi, ere juwe hacin i uheri duin  
内に 代って 完結する と 承認 した。この 二 案件の 全部で 四

minggan orin ninggun yan menggun be, aniya aniyai afabuhangge,  
千 二十 六 兩の 銀 の 中、歴 年 送付したのは、

uheri damu juwe minggan nadan tanggū juwan uyun funcembi, kemuni  
全部でただ 二 千 七 百 十 九 兩零である。尚

wacihiyara unde menggun emu minggan ilan tanggū ninggun yan  
未完 の 銀 は 一 千 三 百 六 兩

/564A/funcembi, emu aniyai bilagan bilaha bime tetele kemuni  
零である。一 年 の 期限を きっておきながら今に到るまで尚

edelefi wacihiyara unde, jai yūn ši bihe hafan efulehe wang cing  
虧欠（未納）し完結していない。またもと運 使であって革職された王 清

šo i gebui fejergi ci bošome gaici acara juwan emu tumen juwe  
碩 の 名の 下 で 追 徴すべき 十 一 萬 二

minggan sunja tanggū jakūnju sunja yan dabsun i cifun i menggun be,  
千 五 百 八 十 五 兩の 塩 課 銀 は、

damu ilan minggan /B/ ilan tanggū ninju yan menggun afabuha,  
ただ 三 千 三 百 六 十 兩の 銀を 納付した。

wacihiyara unde menggun juwan tumen uyun minggan ilan tanggū  
未完 の 銀 十 萬 九 千 三 百

orin sunja yan be, elhe taifin i susai jakūci aniya dabsun be baicara  
二十 五 兩を 康 熙 五十 八 年 巡 塩

baicame tuwara hafan liyan siyoo siyan i wesimbuhe bade, hūdai  
御 史 連 肖 先 が 具題し 「商

niyalma jang sin giyan se /C/ cihanggai funde toodambi, ere sunja  
人 張 新 建 等が 情願して 代りに 償還する。この 五

aniyai sidende geren hūdai niyalma i kamcifi bošome gaici acara susai  
年 間で 各 商 人 が合併して 追 徴 すべき五十

tumen yan funcere fe dabsun i cifun menggun be wacihiyaha erinde,  
萬 兩 餘りの舊 塩 課 銀 を完結し終った時をまち、

ningguci aniya ci deribume wang cing šo i edelehengge be juwan aniya  
第 六 年 から 始め、王 清 碩の虧欠(未納)分を十 年に

obufi funde wacihyabuki seme wesimbuhe be, /565A/ amban meni  
分け、代って 完結させたい」と 具題したのを、 臣 等の

jurgan ci emu aniyai wacihiyaci acara menggun be ton i songkoi yooni  
部 から一 年の 完 結 すべき 銀 を 数の 通りに 全

wacihiyame muterakū oci, yūn šī hafan be emu jergi wasimbuki, juwe  
完 することができなければ、運 使 を 一 級 降したい。二

aniya wacihiyarakū oci, juwe jergi wasimbuki, ilan aniya wacihiyarakū  
年 完結しなければ、二 級 降したい。三 年 完結しなけれ

oci, ilan jergi wasimbufi /B/ forgošome baitalaki, da wesimbuhe  
ば、三 級 降し、 轉 用したい。もと 具題した

baicame tuwara hafan be emu jergi wasimbufi tušan de bibuki seme  
御 史 を 一 級 降して 任 に 留めたいと

gisurehebi, liyan siyoo siyan i wesimbuhe ci, wang cing šo inde daljakū  
議した。連 肖 先 の 題請より後、王 清 碩は自分に関係が

seme heni afabuhakū bime, jang sin giyan se geli ceni alime gaifi,  
ないといささかも納付せずして、張 新 建 等も亦 彼等が 承認 して、

funde toodara bilagan /C/ isinjire unde seme toodahakū, ere  
代って償還する期限は まだ来ていないと言って償還していない。この

sidende aikabade geli baitai turgun tucire, niyalma bucere be inu  
間に もし 又 事 故がおこったり、人が 死亡することも

boljoci ojurakū, geli hūdai niyalma yang ding nan i alime gaiha wang  
はかり 難い。又 商 人 楊 定 南 の 承認した 王

kiyan gi i gebui fejergi ci bošome gaici acara ekiyendere jalin i jergi  
謙 吉の 名 下 で 追 徴すべき 耗

hacin i dabsun i juwe tumen ilan /566A/ minggan ninggun tanggū  
塩 等 の 二 萬 三 千 六 百

nadanju uyun yan menggun be, juwan aniya obufi afabumbihe,  
七十 九 兩 銀 は 十 年に分け納付させるところであった。

susai duici aniya ci susai uyuci aniya de isibume, udu afabuha menggun  
五十 四 年 より五十 九 年 に 到り、いくらか納付した銀兩

bicibe, aniyadari udu wacihiyara babe umai toktohuha ton akū ofi,  
はあっても、毎年 いくら 完結するかのところを全く数を定めてないので、

ninjuci aniya ci hūwaliyasun tob i sucungga aniya de isibume fuhali  
六十 年 から 雍 正 元 年 に 到るまで 遂に

/B/afabuhakūbi, geli jang lin i jui jang tan, ini ama i funde alime  
納付していない。又 張 霖の子 張 坦が、彼の父の代りに 承

gaiha hūda salibuha ninggun tumen juwe minggan sunja tanggū jakūnju  
認し 價格を定めた 六 萬 二 千 五 百 八 十

ilan yan menggun be juweme isibure unde dabsun i sunja tumen emu  
三 兩 銀 を まだ運び送らない前に、塩引 五 萬 一

minggan funcere yen bithe be jafafi fangkabuhabi, ere yen /C/bithe  
千 餘 道 をもって負債をかえした。この塩 引によって

de uncaha dabsun i menggun be inu afabume benjihekūbi, jai bošome  
売った 塩 の 銀 を 又 納付 送來していない。又 追

gaici acara yūn tung bihe ciyan ing, icihiyara hafan bihe g'anggūda i  
徴すべきもと運 同 の 錢 滯, もと郎 中 の 剛五達

jergi ninggun niyalmai menggun be gemu nikebufi bošohakū  
等 六 人 の 銀 を 俱に 言いつけて 追徴しないまま

goidaha, ereci wesihun geren hacin i toodaci acara edelehe  
久くなっている。以 上 各 項 の 償還すべき 不足の

menggun be aikabade /567A/kemuni nenehe songkoi anatabume  
銀 を もしも なお 先の 通りに久しく日限(歳月)を

goidabuci, bošome gaici acara niyalma, hūda salibuci acara boo boigon  
延ばせば、追 徴 すべき 人や、 値段 を 定むべき 家 産が

yongkiyame bisirakū ombi, ele goidaci ele bahara de mangga be  
完全にはそなわらなくなる。ますます延引すればますます得難くなる の

dahame, sirame jihe alifi bošoro hafan be udu weile aracibe,  
で、 後にやって来た承 追の 官 をたとえ罪に 置いたところで、

gurun i ciyanliyang de inu tusa akū, erebe /B/harangga siyūn fu de  
國 の 錢糧 には 一向に益はない。これを 所属の 巡 撫に

afabufi, dabsun be baicara baicame tuwara hafan i emgi acafi, da  
命じ、 巡 塩 御 史 と 共に 会同し、原

baicaha usin boo, tetun agūra, jai alime gaifi toodara urse be emke  
査 の 田地 房屋, 器 物 や 承 認して賠償する人 を いち

emken i narhūšame baicafi, gemu nikebufi adarame bilagan toktobufi  
いち 詳細に 調べ、 俱に 申しつけてどのように 期限を 定め

bošome urunakū wacihiyabume mutere babe hūdun getukeleme /C/  
追徴し 必らず 完結する事が出来るかという事を、すみやかに明確に

toktobufi wesimbuhe erinde, amban meni jurgan ci kimcime gisurefi  
定め 具題する 時に、臣 等が 部 から詳細に調べ、 議し

dahūme wesimbufi dergici lashalara be baiki sembi, erei jalin  
重ねて 具題し 皇上よりの裁断 を 請いたいと思う。この 為に

gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi.  
謹 奏す。 旨 を 請う。

“gisurehe songko.”  
〔議の如くせよ。〕

568A/hūwaliyasun tob i sucungga aniya jakūn biyai ice sunja,  
雍 正 元 年 八 月 初 五 日。

beidere jurgan i aliha amban, amban uksun i foge, aliha amban,  
刑 部 尚 書 臣 宗室 の 佛格, 尚 書

amban li ting i, hashū ergi ashan i amban, amban asinai, dorgi yamun  
臣 勵 廷儀, 左 侍 郎 臣 阿錫鼐, 内 閣

i ashan i bithei da bime ici ergi ashan i amban i baita be daiselaha  
学 士 署 右 侍 郎 事

amban malciha, ici ergi ashan i amban, amban lu suyūn,  
臣 馬爾齊哈, 右 侍 郎 臣 盧 詢。

隆科多：雍正元年八月初六日，吏部奏為給事中等員缺請旨摺

574A/hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin,  
吏 部 が 謹 奏し 旨 を請う為にす。

ne gisurere hafan i oron juwe, baicame tuwara hafan i oron nadan  
現今 給 事 中 の 缺員 二名, 監 察 御 史 の 缺員 七名

tucikebi, baicaci, uyun king, baicame tuwara hafan bihe hūwang bing  
が出ている。査するに、九卿が 原任 監察 御 史 黄 秉

/B/ jung ni hacilame wesimbuhe be gisurefi dahūme wesimbufi  
中 の 條 奏 を 議 覆し 上奏して

toktobuha kooli de gisurere hafan, baicame tuwara hafan i oron tucici,  
定めた 例 には、給 事 中, 監 察 御 史 に缺員が出れば、

bithei yamun i biyan sio, giyan too, jingkini jugūn<sup>(35)</sup> ci beye tucike  
翰 林 院 編 修, 檢 討, 正 途 出 身の

ninggun jurgan i icihiyara hafan, aisilakū/C/hafan, ejeku hafan, jai  
六 部 郎 中, 員外 郎, 主 事, ならびに

jyhiyan ci bithe weilere hafan, hing žin, ejeku, taciha hafan de wesike  
知 縣 から中 書 行 人, 評 人, 主事, 博 士 に昇任した

hafasa be geren jurgan yamun ci amban meni jurgan de benjifi faidame  
官 を 各 部 院 より 臣 等の 部 に 送り名をつら

arafi beyebe tuwabume wesimbumbi, baicaci elhe taifin i dehi  
ねて書き 引 見のために具題する(とある)。査するに、康熙 四十

／575A／ jakūci aniya juwan biyai orin jakūn de k'o doo i hafan<sup>(36)</sup> i  
八 年 十 月 二十 八 日, 科 道 官 の

oronde, amban meni jurgan i sy i hafan jai geren jurgan yamun ci  
缺員に, 臣 等の 部 の 司 属 および 各 部 院 より

benjihe kooli de acanara han lin, sy i hafan, uheri uyunju ninggun  
咨送した 合 例 の 翰 林, 司 属 共に 九十 六

hafan i gebu jergi be faidame /B/ arafi beyebe tuwabume wesimbuhede,  
員 の 職 名 を 開 列し, 引 見するよう具題した時,

hese simne sehebe gingguleme dahafi orin uyun de simnehe omšon biyai  
旨あり考試せよとの仰せに欽遵し, 二十九 日 考試した。十一 月

ice ilan de hese wasimbuhangge, suweni ilgaha giowanzi be tuwaci,  
初 三 日, 上諭を奉じたこと, 「爾等の 選した 試卷 を 見ると,

gemu han lin še asigan urse /C/ canggi juleri ohobi, ere simnehe  
俱に 翰 林 等 年少の者 ばかりを前に書き並べている。この 試

giowanzi baitakū, esebe dasame liol li arafi beyebe tuwabume  
卷は 用をなさない。彼等を改めて 履 歴を書き 引 見するよう

wesimbu ce emke emken i lioi li be wesimbukini, bi kimcime fonjifi  
具題せよ。彼等一人 一人 の 履 歴 を 啓奏するように。わたくしは細 問して

toktobuki, jai ere tuwabure de hafan i amba ajige jergi be ume tuwara  
定めたい。またこの引見の 時, 官員 の (品級の) 大小 を 論 ぜ ず,

damu /576A/ jin ši dosika aniya be tuwame ilhi aname juleri amala  
ただ 進士に入った 年 を 論じ, 順序に従って 前 後に

ara, jai gioi žin be inu gioi žin dosika aniya be tuwame ilhi aname  
書け, また 舉 人 を も 舉 人に入った 年 を 見て 順序に従い

encu emu meyen obufi ara sehe, geli baicaci, elhe taifin i susai  
別に 一 節となして書け」と仰せられた。又査するに、康熙 五十

juweci aniya duin biyai tofohon de, /B/ amban meni jurgan i sy i  
二 年 四 月 十五 日, 臣 等の 部の 司

hafan, jai geren jurgan yamun ci benjihe kooli de acanara sy i hafasai  
属 および 各 部 院 から咨送した合 例の 司 属等の

gebu jergi be faidame arafi beyebe tuwabume wesimbuhede, hese,  
職 名 を 書き ならべ, 引 見のため 具題上奏した時, 旨あり

k'o too i hafan i oron oyonggo, beyebe /C/ tuwabure hafasa be uyun  
「科道官の員缺は緊要である。引 見の 官員を九

king de fonji, erei dorgide hafan tehengge sain, geren sahangge bici,  
卿に問え。この内で 官に 在って 良く、衆人の 知る者があれば

akdulafi beyebe tuwabume wesimbukini sehe, geli baicaci, ninju  
保舉し 引 見するよう具題せよ」と仰せられた。又査するに、六十

emuci aniya duin biyai tofohon de k'o doo i hafasai oronde, amban  
一 年 四 月 十 五 日、科道官の 缺員に、臣

meni jurgan i sy i /577A/ hafan, geren jurgan ci benjihe kooli de  
等の 部 の 司 属および各 部 より 咨送した 合

acanara sy i hafasa, jai han lin i jergi ninju nadan hafan be faidame  
例の 司 属等 ならびに翰林 等 六十 七 員 を 書 き

arafi beyebe tuwabume wesimbuhede, hese, lio tang, cen šeo cuwang  
ならべ、引 見するよう具題したところ、旨あり「劉堂、陳 守 創

be gisurere hafan sinda, sioi jeo, tang jy hioi, /B/ hiya ging siowan,  
を 給 事 中 に 任 ぜ よ。須 洲、湯 之 旭、 夏 景 宣、

lo ki cang, hioi žung, šan ceo šu be baicame tuwara hafan sinda  
羅 其 昌、許 容、單 疇 書 を 監 察 御 史 に 任 じ よ」と

sehebe gingguleme dahafi dangsede ejehebi, te gisurere hafan i juwe  
の仰せに欽 遵し、檔案に 記した。今 給 事 中 二名の

oron, baicame tuwara hafan i nadan oronde kooli songkoi geren jurgan  
缺員、監 察 御 史 七名の 缺員には例に 照し 各 部院

yamun ci benjihe faidaci acara dehi /C/ nadan hafan be eici faidame  
衙門 から咨送した開列すべき 四十 七 員 を或は 書 き

arafi beyebe tuwabume wesimbufi dergici jorifi sindara, eici  
列べ、引 見のため 具奏し、皇上が指示して任命されますか。或は

dergici timu tucibufi simnebure, eici cembe lioi li arabufi tuwabume  
皇上が 題目を出して考試されますか、或は彼等に履歴を書かせ、引見のため

wesimbure babe, amban meni cisui gamara /578A/ ba waka ofi  
具題しましょうかの事は、臣 等が 擅便する 所ではないので

gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi,,  
謹 奏した。 旨 を 請う。

“timu tucibufi simnembi, ice uyun de belhebu,”  
〔題目を出させて考試する。初 九 日 準備させよ。〕

/B/ hūwaliyasun tob i sucungga aniya jakūn biyai ice ninggun,  
雍 正 元 年 八 月 初 六日、

uheri baita icihiyara taiboo hafan i jurgan i aliha amban bime uheri  
總 理 事務 太保 吏 部 尚 書 提

da gung nakcu amban longkodo, /C/ hashū ergi ashan i amban batai,  
督 公 舅舅 臣 隆科多, 左 侍 郎 巴泰,

hashū ergi ashan i amban amban hūwang šu lin, ici ergi ashan i amban  
左 侍 郎 臣 黃 叔琳, 右 侍 郎

bime bithei yamun i ashan i bithei da kamciha amban ši i jy,  
兼 翰林院 學 士 臣 史貽直。

隆科多：雍正元年八月二十日，吏部奏為委署刑部堂官請旨摺。

610A/hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin,  
吏 部が 謹 奏すること。 旨 を請う為にす。

beidere jurgan ci benjihe bithede, meni jurgan i aliha amban uksun i  
刑 部 より 咨送した文に 「臣等の 部の 尚 書 宗室

foge, ma lan ioi de baita beideme genehebi, ashan i amban asinai,  
佛格は馬 蘭 峪 に 事を 審理するために行った。侍 郎 阿錫鼐,

malciha, /B/ amba yabungga hūwang taiheo i dzi gung beneme  
馬爾齊哈は 大 行 皇 太后の 梓 宮を送りに

genehebi, ne jurgan de baita icihiyara manju amban akū, daiselabure  
行った。 今 部 には事を 処理する 滿洲 堂官はいない。署理させる

jalin kooli songkoi faidame arafi ulame wesimbureo sehebi,  
ため 例に照して（名を）書きならべ、轉 奏して下さい」と言っていた。

baicaci, ashan i amban g'ao ki pei, lu siyūn, udu nikan oronde sindaha  
査するに、侍 郎 高 其 佩, 盧 詢は、たとえ漢人の缺員に補任さ

niyalma bicibe, gemu gūsai niyalma be /C/ dahame, eici esede  
れた人であっても、俱に 旗の 人 で あるので、或は 彼等に

daiselabure, eici gūwa jurgan yamun i manju ambasa de daiselabure  
署理させようか、或は 別 部 院 の 滿洲 堂官に署理させようか

babe gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi,,  
の所を謹 奏した。 旨 を 請う。

○ aliha bithei da i baita be aisilame icihiyara /611A/weilere jurgan  
協 理 大 學 士 事 工 部

i aliha amban sioi yuwan meng, ○ boigon i jurgan i ici ergi ashan i  
尚 書 徐 元 夢, 戸 部 右 侍

amban tosi, ○ coohai jurgan i ici ergi ashan i amban nionio, ○ dorgi  
郎 拖什, 兵 部 右 侍 郎 牛鈕, 内

yamun i ashan i bithei da otobai,  
閣 学 士 鄂托拜,

“lu siowen de daiselabu,  
〔盧 詢 に 署理させよ。〕

／B／hūwaliasun tob i sucungga aniya jakūn biyai orin,  
雍 正 元 年 八 月 二十日。

uheri baita icihiyara taiboo, aliha<sup>(37)</sup> amban bime uheri da gung nakcu  
總 理 事務 太保(吏部) 尚書 提 督 公 舅舅

amban longkodo, hashū ergi ashan i amban, amban hūwang šu lin,  
臣 隆科多, 左 侍 郎 臣 黄 叔 琳。

盧詢：雍正元年九月十一日，奏請將朱之瑛發往運城摺。

645A／beidere jurgan i aliha amban i baita be daiselaha coohai jurgan  
署 刑 部 尚 書 事 兵 部

i aliha amban lu siyūn sei gingguleme wesimburengg, hese be baire  
尚 書 盧 詢 等が 謹 奏する事, 旨 を 請う

jalín,, amban be baicaci, dorgi amban gung arsungga se, dorgi yamun  
為にす。臣 等が査するに, 内 大臣 公 阿爾松阿 等が 原 任

i adaha bithei da bihe ju jy ceng be menggun ／B／afaburakū bime,  
内 閣 侍 讀 学 士 朱 之 瑛 が 銀を 納付 せず,

elemangga hi hūng žu be guwanggun šerime yabuhabi seme beleme  
かえって 奚 洪 如 が ならず者で強請をおこなった と 誣告し

habšaha seme wesimbuhe emu baita be, amban meni jurgan ci, ju jy  
訴えた と 具題した 一 案 を, 臣 等の 部 より朱 之

ceng ni hi hūng žu be beleme habšaha baita, še i ebergi be dahame,  
瑛 が奚 洪 如 を 誣 告した 事は, 赦の 後 であるので,

niyalma be bucere ／C／weile beleme habšafi wara unde oci, tanggū  
人 を 死 罪に 誣 告してまだ殺さなければ, 百

jang tantafi ilan minggan bade falabu falabure bade isinaha manggi,  
杖 たたき, 三 千 里に 流配せよ, 流配 所に 着いた なら,

nonggime ilan aniya weilebu sehe fafun i bithe songkoi gūsai niyalma  
加えて 三 年の徒刑に処せよとの法 度に 照し 旗 人

be dahame, tanggū inenggi selhen etubufi tanggū šusiha tantaki seme  
であるので, 百 日 枷 號し 百 鞭 うちたい と

dahūme gisurefi wesimbuhede, ／646A／ hese gisurehe songkoi obu  
議 覆し 奏した時, 旨あり, 「議の 如く なせ」



sehebe gingguleme dahafi, dorgi amban gung arsungga de bithe unggihe  
との仰せに欽 遵し、内 大臣 公 阿爾松阿 に 書 を 送って

bihe, te ju jy ceng be jafafi jurgan de benjihebi, geli baicaci, sycuwan,  
おいた。今朱之理 を 捕え、部 に 送った。また 査するに 四川、

šansi i dzungdu niyan geng yoo, ju jy ceng be yūn ceng ni bade unggifi,  
陝西、總督 年 羹 堯は朱之理 を 運 城 の 所に 送り、

yūn ši hafan /B/ g'o ioi i emgi ini tušan i dorgi dabsun cifun i  
運 使 郭 裕 と 共に 彼の 任 内の 塩 課

menggun be kimcime bodobureo seme baime wesimbuhe be, boigon i  
銀 兩 を 核對させて下さい と 題 請したのを、戸

jurgan ci uyun king ni emgi acafi ju jy ceng be yūn ceng de unggifi,  
部 より 九 卿 と共に 会同し、朱之理 を 運 城 に 送り、

g'o ioi i/C/ emgi kimcime bodokini seme dahūme gisurefi wesimbuhede,  
郭 裕と 共に 核 對するようと 議 覆し 具題したところ、

hese gisurehe songkoi obu sehebe gingguleme dahafi dangse de ejehebi,  
旨あり、「議の 如くおこなえ」との仰せに欽 遵し 檔案 に 記した。

amban be gūnici, dabsun cifun i ciyanliyang holbobuhangge ujen amba  
臣 等が思うに、塩 課 錢糧の 関係する所は 重 大

be dahame, ju jy ceng be harangga dzungdu de/647A/benefi kimcime  
であるので、朱之理 を 所属の 總督 に 送り 核

bodofi getukelehe manggi, hūdu jurgan de benjibufi jai selhen etubufi  
對し 明白にした 後、すみやかに部 に 送らせ、再び枷號をつけさせ

wacihiyaki sembi, erei jalin gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi,,  
完結したいと思う。このために 謹 奏した。 旨 を 請う。

“ju jy ceng be unggi, gūsa de ciralame afabufi, /B/ ini booi oyonggo  
〔朱之理 を 送れ。旗 に 厳しく 命じ、 彼の家の 重要

urse be ukamburakū, boo boigon be somibume daldaburakū gingguleme  
人物等を逃走せしめるな。家 産 を 隠 匿させるな。 慎んで

tuwakiyabufi ini dabsun cifun i baita be getukelere be aliya, baicame  
看守させ 彼の 塩 課 の 事 を 明白にするのを 待て。 査

tuciburakū heoledefi amaga inenggi beidefi tucibuci gūsai  
出せず 怠り、 後 日 審問して明るみになれば、 旗の

ambasa be ujeleme weile arambi,”  
大臣 等を 重 罪に 処す。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya uyun biyai juwan emu,  
雍 正 元 年 九 月 十 一 日。

coohai jurgan i aliha amban bime beidere jurgan i aliha amban i baita  
 兵 部 尚 書 署 刑 部 尚 書 事  
 be daiselaha, amban lu siyūn, /C/ aliha amban, amban li ting i,  
 臣 盧 詢, 尚 書 臣 勵 廷 儀,  
 hashū ergi ashan i amban, amban asinai, dorgi yamun i ashan i bithei  
 左 侍 郎 臣 阿 錫 鼐, 內 閣 學 士  
 da bime, ici ergi ashan i amban i baita be daiselaha, amban malciha,  
 署 理 右 侍 郎 事 臣 馬 爾 齊 哈,  
 ici ergi ashan i amban, amban g'ao ki pei,  
 右 侍 郎 臣 高 其 佩。

**盧詢：雍正元年九月十一日，奏為陳鈺等員回籍請旨摺**

648A/beidere jurgan i aliha amban i baita be daiselaha, coohai jurgan i  
 署 刑 部 尚 書 事 兵 部  
 aliha amban lu siyūn sei gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin,,  
 尚 書 盧 詢 等 が 謹 奏 する 事, 旨 を 請 う 為 に す。  
 syucuwan, šansi dzungdu niyan geng yoo i benjihe bithede, neneme coohai  
 四 川, 陝 西 總 督 年 羹 堯 の 送 っ た 咨 文 に, 「先 に 戦  
 bade faššabume unggihe bayan se, dade alban de /B/ hūsun aisilame  
 場 で 奮 勵 さ せ る た め に 送 っ た 巴 顏 等 は, も と も と 差 使 を 幫 助 し  
 coohai nashūn i baita de tusa okini sere jalin, te ududu aniya otolo  
 軍 機 の 事 に 役 立 つ よ う に と の 為 で あ る 。 今 数 年 の 間 に  
 heni majige hūsun aisilahakū sere anggala, juwen gaifi baitalaha ku i  
 少 し も 幫 助 に な ら な い の み な ら ず, 借 金 し て 用 い た 庫  
 menggun be umai toodahakūbi, ede bi dere acafi wesimbuhede,  
 銀 を 全 く 償 還 し て い な い 。 こ れ に よ り わ た く し が 面 奏 し た と こ ろ,  
 /C/ hese, gemu amasi bederebu sehebe gingguleme dahafi, baicaci,  
 旨 あり 『俱 に 帰 還 せ し め よ』 と の 仰 せ に 欽 遵 し, 査 する に  
 bayan cen ioi simnere kūwaran i baitai dorgi ušabuha turgunde,  
 巴 顏 陳 鈺 は 貢 院 の 事 案 内 に か か わ り が あ っ た の で,  
 cihanggai boo boigon be uncafi ilan tumen yan menggun aisilame  
 情 願 し て 家 産 を 賣 り, 三 萬 兩 銀 を 捐 納 し,  
 coohai bade gamafi hūsun bume faššame weile jooliki seme eiten  
 軍 前 に 帶 往 し, 効 力 し 勉 勵 し 贖 罪 し た い と い い, 一 切  
 acabume bure<sup>(38)</sup> baita de umai/649A/tookanjaha ba akū, elhe taifin i  
 應 付 の 事 に 全 く 違 悞 し た 所 が な い 。 康 熙

susai uyuci aniya ninggun biyade, weile joolire ilan tumen yan menggun,  
五十 九 年 六 月, 贖 罪の 三 萬 兩 銀,

doosidaha emu minggan sunja tanggū yan menggun be afabufi, ini fulu  
贓 銀 一 千 五 百 兩 を納付し, 彼の力の

hūsun bume faššara jalin tucibuhe duin minggan ilan tanggū juwan yan  
限りを 盡し 勉勵する為に 出した 四 千 三 百 十 兩

jakūn fun ninggun li funcere/B/menggun, geli salibuha temen i hūdai  
八 分 六 釐 零 銀, また 折 駝 價

ilan tanggū susai yan menggun be gemu ninjuci aniya ninggun biyade  
三 百 五十 兩 銀 を 俱に 六十 年 六 月 に

wacihyame kude afabuhabi, erebe da bade amasi unggici acara acarakū,  
ことごとく 庫に 納付した。これを原籍に 返 送すべきや 否や。

geli bayan booju i gebui fejergi bošome gaici acara doosidaha emu  
また 巴顏 保住 の 名 下の 追 徴 すべき 贓銀 一

tumen uyun tanggū gūsin nadan yan sunja/C/jiha menggun be acabume  
萬 九 百 三十 七 兩 五 錢 銀 を應付する

bure de ilan minggan ilan tanggū ninju yan menggun baitalaha, acabume  
時, 三 千 三 百 六十 兩 銀を 用いた。 供

bure morin be udara de sunja minggan orin yan menggun baitalaha,  
差の 馬匹 を 買う 時 五 千 二十 兩 銀を 用いた。

kemuni juwe minggan, sunja tanggū susai nadan yan sunja jiha menggun  
尚 二 千 五 百 五十 七 兩 五 錢 銀 が

edelehe bihe, ini fulu hūsun bume faššaki /650A/ seme alime gaiha  
欠損していた。彼の力の限りを盡して勉勵したい と 自認 した

kude toodara ilan minggan ninggun tanggū dehi duin yan ilan jiha  
庫に 償還する三 千 六 百 四十四 兩 三 錢

nadan fun funcere menggun be wakalame wesimbuhe amala siran siran  
七 分 零 銀 は 題 参の のち, 陸 續

i gemu toodahabi, jai ini juwen gaiha juwe tanggū juwan uyun morin,  
とみな 償還した。又 彼が 借りた 二 百 十 九頭の 馬,

juwan duin temen be inu ton i/B/songkoi toodaha be dahame, booju  
十 四頭の駱駝 をまた数の 如く 償還した ので, 保住

be amasi bederebuci acara acarakū babe gemu jurgan i toktobure be  
を 帰 還せしむ べきや 否やの 所を 俱に 部 の 決裁 を

aliyambi sehebi, baicaci, cen ioi serengge, cen fung cy i simnere  
待つ」と言っていた。査するに, 陳 鈺という者は, 陳 鳳 墀 の 貢

kūwaran de jemden yabuha baitai dorgi tatame wara weile tuhebufi  
院 に 弊害を 行った 事案 内で、絞 罪に 擬せられ

loode horiha weilengge niyalma, booju serengge, taiyūn i /C/ dele  
入 牢した 罪 人である。保住 という者は、泰雲 が 皇上に

niyakūrame habšaha ku i menggun be hūlhaha baitai dorgi sacime  
跪坐して 訴えた 庫 銀 偷盗 案 内の 斬

wara weile tuhebufi loode horiha weilengge niyalma, elhe taifin i susai  
刑に 擬せられ入 牢した 罪 人である。康 熙 五十

jakūci aniya uyun biyade, uyun king acafi gisurefi esebe šansi siyūn fu  
八 年 九 月、九 卿が 会 議し、彼等を陝西 巡 撫

gašitu i jakade unggifi su jeo, si ning ni bade dendeme unggifi weile  
噶世圖 の もとに 送り、肅 州、西 寧 の 所に 分 送し、罪を

/651A/ joolime faššakini, unenggi fulu hūsun bume faššame yabuci,  
贖い 効力するように、まことに力の限りを盡し 勉め 行えば、

esei weile be guwebuki seme wesimbuhe be dangse de ejehebi, te  
彼等の 罪 を 免じたい と 具題したの を 檔案に記した。今

harangga dzungdu neneme coohai bade faššabume unggihe bayan  
所属の 總督が 先に 軍 前に 奮勵するように送った 巴顔

sebe dere acafi wesimbuhede, hese, gemu amasi bederebu sehe,  
等が 拝謁し 面奏した時、旨あり、「俱に帰還せしめよ」と仰せられた。

cen ioi i weile /B/ joolire menggun ilan tumen yan, doosidaha menggun  
陳 鈺 の罪を 贖う 銀 三 萬 兩、贓 銀

emu minggan sunja tanggū yan, geli fulu hūsun bume faššara jalin  
一 千 五 百 兩、又 力の 限りを盡し 勉勵するために

tucibuhe menggun duin minggan ilan tanggū juwan yan funcembi,  
出した 銀 四 千 三 百 十 兩 零、

salibuha temen i hūdai menggun ilan tanggū susai yan be yooni  
折 駝 價 銀 三 百 五十 兩 を 全

wacihiyafi kude afabuhabi, booju i gebui /C/ fejergi doosidaha menggun  
完し 庫に 納付した。保住の 名 下の 贓 銀

tumen uyun tanggū gūsin nadan yan sunja jiha, geli ini fulu hūsun  
一萬 九 百 三十 七 兩 五 錢、又 彼が 力の 限りを

bume faššaki seme alime gaiha menggun ilan minggan ninggun tanggū  
盡して効力すると 自 認した 銀 三 千 六 百

dehi duin yan ilan jiha nadan fun funcembi, juwen gaiha juwe tanggū  
四十 四 百 三 錢 七 分 零、借りた 二 百

juwan uyun morin, juwan duin temen be gemu ton i /652A/ songkoi  
十 九頭の馬, 十 四 頭の駱駝を俱に 数 の 如く

toodaha sehebe dahame, harangga dzungdu i baiha songkoi cen ioi,  
償還したと言った ので, 所属の 總督 の 請うた 如く, 陳 鈺,

booju i weile be guwebufi da bade unggiki, gūsade amasi bederebuki  
保住 の 罪 を 免じ, 原 籍に送りたい。旗に 帰 還せしめたい

sembi, erei jalin gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi,,  
と思う。この為に 謹 奏した。 旨 を 請う。

/B/ “gisurehe songko”  
〔議の 如くせよ。〕

hūwaliyasun tob i sucungga aniya uyun biyai juwan emu,  
雍 正 元 年 九 月 十 一 日,

coohai jurgan i aliha amban bime, beidere jurgan i aliha amban i baita  
兵 部 尚 書 署 刑 部 尚 書 事

be daiselaha, amban lu siyūn, /C/ aliha amban, amban li ting i, hashū  
臣 盧 詢, 尚 書 臣 勵 廷 儀, 左

ergi ashan i amban, amban asinai, dorgi yamun i ashan i bithei da  
侍 郎 臣 阿錫鼐, 内 閣 学 士

bime, ici ergi ashan i amban i baita be daiselaha, amban malciha, ici  
署 右 侍 郎 事 臣 馬爾齊哈, 右

ergi ashan i amban, amban g'ao ki pei,  
侍 郎 臣 高 其 佩。

隆科多：雍正元年九月十三日，吏部奏為理事同知員缺請旨摺

712A/ hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin,  
吏 部 が 謹 奏する事。 旨 を 請う 為 に す。

baicaci, hūwaliyasun tob i sucungga aniya nadan biyade, giyangnan i  
査するに 雍 正 元 年 七 月, 江 南

giyang ning fu i weile beidere tungjy i oron, sycuwan i ceng du fu i  
江 寧 府 理 事 同 知 の 缺 員, 四 川 成 都 府

weile /B/ beidere tungjy i oron, fung tian fu i weile beidere tung  
理 事 同 知 の 缺 員, 奉 天 府 理 事 通

pan i oron, sansi tai yuwan fu i weile beidere tung pan i oronde  
判 の 缺 員, 山 西 太 原 府 理 事 通 判 の 缺 員 に

sindara de, amban meni jurgan ci aliha bithei da, aliha amban sei emgi  
任 ず る 時, 臣 等 が 部 より 大 学 士, 尚 書 等 と

uhei acafi sonjoho dorgi yamun i jungšu /C/ sartai i jergi juwan  
會 同して揀選した 内 閣 中書 薩爾泰 等

niyalma be, hūwaliyasun tob i sucungga aniya nadan biyai ice uyun de  
十 人 を, 雍 正 元 年 七 月 初 九 日

beyebe tuwabume wesimbuhede, hese sartai be sansi tai yuwan fu i weile  
引 見のため具題したところ, 旨あり「薩爾泰を山西太 原 府 理

beidere tung pan sinda, hecengge be giyangnan i /713A/ giyang ning  
事 通 判に任じよ。赫勝額 を 江 南 江 寧

fu i weile beidere tungjy sinda, cangge be sycuwan i ceng du fu i weile  
府 理 事 同知に任じよ。常格 を 四 川 成 都 府 理

beidere tungjy sinda, wangyatu be fung tiyan fu i weile beidere tung  
事 同知に任じよ。王雅圖 を 奉 天 府 理 事 通

pan sinda sehe,, ineku inenggi sansi siyūn fu nomin, bithesi  
判に任じよ」と仰せられた。本 日, 山西 巡 撫 諾岷が 筆帖式

canggan be tai yuwan fu i weile beidere /B/ tung pan sindarao seme  
常安 を 太 原 府 理 事 通 判に任じられよ と

baime wesimbuhede, fulgiyan fi i pilehe hese, sansi siyūn fu yamun i  
奏請したところ, 硃 批 諭旨があり, 「山西 巡 撫 衙 門

bithesi canggan be tai yuwan fu i weile beidere tung pan sinda, geli  
筆帖式 常安 を太 原 府 理 事 通判に任じよ」と。また

hese wasimbuhanngge, enenggi sindaha tai yuwan i /C/ weile beidere  
旨を 奉じたこと, 「今日 補授した太 原 理 事

tung pan be tata sehebe gingguleme dahafi gemu dangsede ejehebi, te  
通 判 を留めよ」との仰せに欽 遵し, 俱に 檔案に 記した。今

šansi si an fu i weile beidere tungjy fušui tušan ci wesikebi, erei  
陝 西 西 安 府 理 事 同知 傳瑞が職任から昇進した。この

oronde, eici beyebe tuwabume sindafi tataha dorgi yamun i jungšu  
缺員に, 或は引見せしめて 任じ, 補 任 保 留 の 内 閣 中 書

/714A/ sartai be sindara, eici sonjofi funcehe niyalma be bireme  
薩爾泰を任じるか, 或は揀選 餘剩の 人 を 全て

faidame arara babe, amban meni cisui gamara ba waka ofi, gingguleme  
書きならべるかの事を, 臣 等が 擅便する 所ではないので, 謹

wesimbuhe, hese be baimbi,,  
奏した。 旨 を 請う。

“sartai be sinda”  
〔薩爾泰を任じよ。〕

/B/hūwaliyasun tob i sucungga aniya uyun biyai juwan ilan,  
雍正元年九月十三日。

uheri baita icihiyara taiboo hafan i jurgan i aliha amban bime uheri  
總理事務太保吏部尚書提

da gung nakcu amban longkodo, /C/ aliha amban amban tiyan ts'ung  
督公舅舅臣隆科多, 尚書臣田從

diyan, hashū ergi ashan i amban amban batai, hashū ergi ashan i  
典, 左侍郎臣巴泰, 左侍

amban amban hūwang šu lin, ambarama giyangnara hafan ici ergi  
郎臣黃叔琳, 經筵講官右

ashan i amban fušen, ici ergi ashan i amban bime bithei yamun i  
侍郎傅伸, 右侍郎兼翰林院

ashan i bithei da kamciha amban ši i jy,  
學士臣史貽直。

隆科多：雍正元年九月十九日，吏部奏為河東運使員缺請旨摺。

736A/hafan i jurgan i gingguleme wesimburengge, hese be baire jalin,  
吏部が謹奏する事, 旨を請う為にす。

baicaci, sycuwan šansi dzungdu niyan geng yoo, ho dung ni yūn ši  
査するに, 四川, 陝西 總督 年 羹 堯が河東 運使

g'o ioi nimeme akū oho seme boolame wesimbuhebi, erei oronde /B/  
郭 裕が病 死した と 報告 上奏した。 この 缺員に

sindarade baicaci, ho dung ni dabsun i baita be hesei dzungdu  
任ずるに, 査するに 河東 塩 務 は, すでに 聖旨を以て總督

niyan geng yoo de afabufi icihiyabuha, ho dung ni yūn ši emu oron  
年 羹 堯 に 委し, 処理させた。河東 運使の 一 缺は

holbobuhangge umesi oyonggo, aikabade kooli songkoi faidame  
関係するところはははなはだ緊要である。もし 例に 照らし 名を書き

arafi sindaci, niyalma /C/ baharakū ohode, dabsun i baita be  
並べて補授すれば, 人を 得 ずして, 塩 務 を

tookabure de isinambi, erebe eici dzungdu niyan geng yoo de afabufi  
悞らせる に 到る。これを或は 總督 年 羹 堯 に 令し

sonjofi wesimbure, eici amban meni jurgan ci kooli songkoi faidame  
揀選 題補せしめるか, 或は臣 等の 部 から 例に 照らし 開

arafi wesimbufi sindara babe, amban meni cisui gamara /737A/ ba  
列し 具題 補授するかの所は, 臣 等が 擅 便する 所では

waka ofi, gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi,,  
ない ので 謹 奏した。 旨 を 請う。

“niyan geng yoo dahabume wesimbukini,”  
〔年 羹 堯が 保題 上奏するように〕

hūwaliasun tob i sucungga aniya uyun biyai juwan uyun,  
雍 正 元 年 九 月 十 九 日。

uheri baita icihiyara taiboo hafan i /B/ jurgan i aliha amban bime  
總 理 事 務 太 保 吏 部 尚 書

uheri da gung nakcu amban longkodo, aliha amban emu jergi nonggiha  
提 督 公 舅 舅 臣 隆 科 多, 尚 書 加 壹 級

amban tiyan ts'ung diyan, hashū ergi ashan i amban amban batai,  
臣 田 從 典, 左 侍 郎 臣 巴 泰,

hashū ergi ashan i amban amban hūwang šu lin, ambaram giyangnara  
左 侍 郎 臣 黃 叔 琳, 經 筵 講 官

hafan ici ergi ashan i amban amban fušen, /C/ ici ergi ashan i amban  
右 侍 郎 臣 傅 伸, 右 侍 郎

bime bithei yamun i ashan i bithei da kamciha amban ši i jy,  
兼 翰 林 學 士 臣 史 貽 直。

允禩：雍正元年九月二十日，工部奏覆貽悞内庭煤炭一案摺。

738C/weilere jurgan i baita be icihiyara, hošoi hanja cin wang, amban  
管 理 工 部 事 務 和 碩 廉 親 王 臣

yūn sy sei gingguleme wesimburengge, dasame gisurefi wesimbure jalin,,  
允 禩 等 が 謹 奏 する 事。 別 議 具 奏 の 為 に す。

amban meni gisurehengge, neneme amban meni jurgan ci giyandu  
臣 等 が 議 した 事, 先 に 臣 等 の 部 より 監 督

icihiyara hafan yojeo, dolo baitalara mei, yaha be tookabuha turgunde,  
郎 中 岳 洲 が 内 庭 で 用 いる 煤 炭 を 遅 延 させ た の で,

/739A/wakalame wesimbuhede, hese gisurehengge umesi hūlhi,  
参 奏 した ところ, 旨 あり, 「この 議 は 甚 だ 曖 昧 である。

muterakū erinde inu baita be beidefi getukelefi, hafan oci hafan, puhū  
成 就 しない 時 に ま た 事 件 を 審 明 し, 官 員 なら ば 官 員, 舖 戸

oci puhū, yooni turgun bici, uhei toodabumbi dere, uttu hūlhi  
なら ば 舖 戸, 全 て 理 由 が あ れ ば 一 同 に 賠 償 さ せる べ き であ ろ う。 この よう な

lampan i balai tabuci, /B/suweni tang ni ambasa inu  
糊 塗 冗 雑 を 以 て 妄 り に 引 き 合 い に し て 語 る なら, 汝 等 堂 官 も 亦



giyan i uhei toodaburengge, uttu minde ehe gebu, hūlhi, baita  
應 に共に 賠償すべきである。かようにわたくしに悪 名, 愚かにして事を

ulhirakū gebu nikebuki seme baita icihiyaci, elemangga mini muten  
わきまえぬ名をなすりつけようとして事を處理すれば, かえってわたくしの才能

be iletulere, suweni nantuhūn gūnin buya ehe be ele geren injere  
が 顯著になろう。汝等の 不浄 心の 劣 悪さをますます衆人が笑う

dabala, baitakū, unenggi sain gūnin tucibufi baita be icihiya, /C/  
のみである。無用である。誠 実な 心を もって 事 を 處理せよ。

jai mei, yaha be dorgi urse de afaufi udabure anggala, suweni jurgan  
また煤・炭 を 内裡の者に 命じて 買わせる よりも, 汝等の 部

i hafasa uthai dolo jifi eiten babe suweni ambasa tuwame icihiyame  
の官員等が即ち 内庭に赴き, 一切の事を汝等 大臣等が 監督 處理して

buci antaka, dasame gisurefi wesimbu sebebe gingguleme dahafi, dolo  
やればどうか。別に改めて議し, 具奏せよ」との仰せに謹 遵し, 内庭

baitalara mei, yaha tookabuha turgun be, /740A/ amban be umai  
使用の 煤・炭を 遅延させた 事情 を, 臣等 が 全く

getukeleme beidehekū, uthai wakalame wesimbuhengge gemu amban  
明白に 審理せぬまま, すぐさま参 奏した事は 俱に 臣

meni mentuhun hūlhi ci banjinahangge, alimbaharakū gelembi, baicaci,  
等の 愚 昧 の 致すところで, 惶 懼 に勝えない。査するに,

fe hūnglo yaha i puhū wang ting ši i aniya aniyai edelehe tebume  
舊 紅螺 炭 の 舖戸 王 廷 試 の 歴 年 拖 欠

wacihiyara unde menggun uyun minggan jakūn tanggū jakūn yan  
未 完 銀 九 千 八 百 八 兩

ninggun jiha ilan fun uyun /B/ li ninggun sy, fe šanggiyan yaha i  
六 錢 三 分 九 釐 六 絲, 舊 白 炭 の

puhū g'ao g'ao deng, jai g'ao g'ao deng ni oronde ice orolome dosika  
舖戸 郭 高 登, 並に 郭 高 登 の 缺員 に 新しく 任じた

puhū kiyoo g'ao ciyan i aniya aniyai edelehe tebume wacihiyara unde  
舖戸 喬 高 遷 の 歴 年 拖 欠 未 完

menggun sunja tanggū nadanju ninggun yan uyun jiha uyun fun ninggun  
銀 五 百 七 十 六 兩 九 錢 九 分 六

hao, ereci wesihun juwe hacin i menggun uheri /C/ emu tumen ilan  
毫, 以 上 二 項 の 銀 共に 一 萬 三

tanggū jakūnju sunja yan ninggun jiha juwe fun uyun li funcembi, erebe  
百 八 十 五 兩 六 錢 二 分 九 釐 零。これを

susai ilaci aniya, susai jakūci aniya uyun king juwe mudan acafi  
五十三年, 五十八年, 九卿が二次会

gisurefi, juwan ubu de sunja li, juwan ubu de emu ubu kamcifi  
議し, 十分に五釐と十分に一分を合わせて

wacihiyabuki seme getukeleme wesimbuheci, eiten ciyanliyang be  
完結(帶銷)させたいと明らかにして題奏してから, あらゆる錢糧を

/741A/ gaire de uthai sunja li, emu ubu kamcifi tebuhebi,  
受領する時, すなわち五釐, ならびに一分を合わせて控除(さし引

く) している。また五十三年, 内務

yamun ci bithe benjifi, dolo baitalara mei, yaha be, amban meni  
府から文を送って来て, 内庭で用いる煤・炭を臣等の

jurgan de afabufi belhebure jakade, uthai icihiyara hafan lio deng  
部に交與し備えさせたので, すぐさま郎中劉登

yuwan be tucibufi, mei /B/ yaha udara emu tumen sunja tanggū orin  
元を派遣し, 煤・炭を買う一万五百二十

juwe yan menggun buhe, amala dorgi baita be uheri kadalara yamun  
二兩銀を與えた。後に内務府

ci hioi tiyan giyo i funcehe mei, yaha, susai duici, sunjaci jergi aniyai  
から許天爵の剩した煤・炭は, 五十四, 五等年に

baitalara de isime ofi, umai amban meni jurgan ci mei, yaha gaiha  
用いるのに足りるので, 全く臣等の部から煤・炭を受領した

ba akū, /C/ tere fon i aliha amban bihe he i, icihiyara hafan bihe  
ことはない。その時, 原任尚書赫奕, 原任郎中

aiju sei umai ere hacin i menggun, be bošome amasi ku de  
愛珠等は, 全くこの項の銀兩を催促して庫に

afabubuhakū, susai ningguci aniya de isinafi, dorgi baita be uheri  
返納していない。五十六年に到り, 内務

kadalara yamun ci kemuni jurgan i mei, yaha be gajara de, /742A/  
府からなお部の煤・炭を受取った時,

aliha amban sunjaci, icihiyara hafan santai sei inu ere hacin i menggun  
尚書孫查齊, 郎中三泰等も亦この項の銀兩

be tebuhekū, encu giyandu guici be tucibufi, geli emu aniyai  
をさし引いていない。別に監督貴齊を派し, また一年の

ciyanliyang bufi, ere hacin i menggun be damu ciyanliyang gaire de,  
錢糧を與えて, この項の銀兩をただ錢糧を受領する時,

juwan ubu de emu ubu kamcifi tebubuhebi, erebe siran siran i kamcifi  
 十 分 に 一 分を合わせてさし引かせた。これを陸 續 合わせて  
 tebuheci /B/ tulgiyen, kemuni edelehe menggun ilan minggan duin  
 差引く 外, なお 拖缺(不足した)銀 三 千 四  
 tanggū nadanju uyun yan funcembi, geli baicaci, susai nadaci aniya ci  
 百 七十 九 兩 零がある。又 査するに, 五十 七 年 から  
 deribume, susai uyuci aniya de isibume, giyandu ejeku hafan guici i  
 起り, 五十 九 年 に 到るまでの 監督 主 事 貴齊 の  
 tušan i dorgi gaici acara mei, yaha udara ilan tumen sunja minggan  
 任 内 に 應に受領すべき 煤・炭を 買う 三 萬 五 千  
 ninggun tanggū orin yan /C/ menggun i dorgici, puhū sei juwan ubu  
 六 百 二十 兩 銀 の 内で, 舖戸等の 十 分  
 de sunja li, jai ice fe juwan ubu de emu ubu kamcifi wacihiyara  
 に 五 釐, ならびに新 舊 十 分 に一分を帶銷(あわせて完結させ)する  
 ninggun minggan juwe tanggū emu yan funcere menggun be tebufi,  
 六 千 二 百 一 兩 零 銀 を 差引き,  
 yargiyan i gaiha juwe tumen uyun minggan duin tanggū juwan uyun  
 實際 に 受領した二 萬 九 千 四 百 十 九  
 yan funcere menggun de, /743A/ damu juwe tumen duin minggan ilan  
 兩 零 銀 に, ただ 二 萬 四 千 三  
 tanggū dehi yan menggun i mei, yaha udafi afabuhabi, kemuni edelehe  
 百 四十 兩 銀 の 煤・炭を 買い 送付した。なお 拖缺  
 menggun sunja minggan nadanju uyun yan funcembi, geli susai uyuci  
 銀は 五 千 七十 九 兩 零である。又 五十 九  
 aniya ci deribume, hūwaliyasun tob i sucungga aniya de isibume,  
 年 より 起り, 雍 正 元 年 に 到るまで,  
 giyandu icihiyara hafan yojeo i tušan i dorgi gaici /B/ acara mei,  
 監督 郎 中 岳洲 の 任 内 に 受領 すべき 煤・  
 yaha udara emu tumen nadan minggan jakūn tanggū gūsin duin yan  
 炭を 買う 一 萬 七 千 八 百 三十 四 兩  
 menggun i dorgici, puhū sei juwan ubu de sunja li jai ice fe juwan  
 銀 の 内で, 舖戸等の 十 分 に 五 釐, ならびに新 舊 十  
 ubu de emu ubu kamcifi wacihiyara juwe minggan duin tanggū  
 分 に 一 分を帶銷(合わせて完結)する 二 千 四 百  
 susai sunja yan funcere menggun be tebufi /C/ yargiyan i gaiha emu  
 五十 五 兩 零の 銀 を 差引き, 實際 に受領した一

tumen sunja minggan ilan tanggū nadanju uyun yan menggun de, damu  
萬 五 千 三 百 七 十 九 兩 銀 に、ただ

emu tumen duin minggan ilan tanggū nadanju ilan yan menggun i mei,  
一 萬 四 千 三 百 七 十 三 兩 銀 の煤・

yaha udafi afabuhabi, kemuni edelehe menggun emu minggan ninggun  
炭を 買って送付した。なお 拖欠（不足）銀は 一 千 六

yan funcembi, erebe guici, yojeo de, suwe /744A/ giyandu ofi,  
兩 零である。これを 貴齊、岳洲 に「爾等は 監督 であり、

ciyanliyang gaiha bime, ai turgunde puhū sebe ciralame kadalame  
錢糧を 受領しておきながら、何故に 舖戸 等を 厳しく 督

bošome wacihiyame afabubuhakū, edelere de isibuhangge, iletu  
催し 全 納させなかったのか。拖欠 に 致らせた事は 明らかに

suwe puhū sei emgi uhei dendeme singgebuhebi, yargiyan be  
汝等が舖戸等と共に 全て 分配して自分の懐に入れたのだ。実のこ と を

jabu seme fonjici, guici i jabunde, mini tušan i dorgi gaici acara  
答えよ」と 問えば、貴齊 の 供述に「私の 任 内に 受領 すべき

ciyanliyang be, mini beye ku ci /B/ gaifi, uthai yooni puhū de afabufi  
錢 糧 を 私 自身 庫から 受領し、ただちに全て舖戸 に 交與し、

mei, yaha udabuha, bošome afabume wacihiyame mutehekūngge  
煤・炭を 買わせた。催促し 命じて 完結し 得なかったことは、

minde ai jabure babi, puhū se adarame edelehe babe  
私に何の辯明する所がある。舖戸等がどのようにして拖欠させたのかの所

puhū sede fonjici endereo sehebi,, yojeo i jabunde, mini ilan  
は、舖戸 等に きいてみればいい」と言った。岳洲 の 供述に 「私の 三

aniyai giyandu i tušan de, orho liyoo hūda mangga sere anggala, /C/  
年の 監督 の 任内 に、草 料の値段が高かったのみならず、

sejen i turigen inu hūda wesikebi, dolo gaiha gin inu amba, ilan  
車輛 の 借賃 も亦 騰貴した。 内庭が受領した秤觔も亦大である。 三

hacin i puhū booi anggala gemu ciyanliyang de akdafi buda jembi,  
項 の舖戸の家 口は 俱に 錢糧 に 頼って飯を食べている。

mini gaiha ciyanliyang yooni puhū de buhe, bi umai giyataraha  
私の 受領した 錢糧は すべて 舖戸 に與えた。私は全くかすめ取り

singgebuhe ba akū sehebi, puhū kiyoo g'ao ciyan, jang i, lio  
自分の懐に入れたことはない」と言った。舖戸 喬 高 遷, 張 義, 劉

/745A/ hūng ye de, suweni kamcifi wacihiyara menggun serengge,  
洪 業 に、「汝等が帶銷（合わせて完結）する銀 というのは、

giyan i kamcifi toodarangge, te aniya aniyai gaiha  
 理として應に帶還（あわせて償還）すべきものである。今 歴 年に受領した  
 ciyanliyang de, fe edelehengge be kamcifi wacihiyarakū bime, yargiyan  
 錢糧内 で、舊い 拖欠 を 帶銷できずにおきながら、 実 際  
 i gaiha ciyanliyang ni dorgi elemangga utala edelehengge, eici  
 に受領した錢糧 内で かえって これ程も拖欠を出した事は、或は  
 suwe singgebuheo, eici giyandu ergeleme gaiha babe, emke /B/  
 汝等が自分の懐に入れたのか、或は監督が 勒 索したのかを、逐一  
 emken i yargiyan be jabu seme fonjici, kiyoo g'ao ciyan sei jabunde,  
 事実 を 答えよ」と問うと、 喬 高 遷 等の 供述に  
 tebuhe kamcifi wacihiyara menggun, giyan i mei, yaha udafī niyeceme  
 「控除して 帶 銷した 銀は 理として應に煤・炭を買い 補 い  
 afabuci acambi, damu ere hacin i menggun serengge, fe puhū i  
 納付すべきである。ただ この 項 の 銀兩 というのは、舊 舖戸 の  
 edelehengge, geli ice kamcifi wacihiyara hacin bisire jakade, emu  
 拖欠したものであり、又新しく帶 銷した 項目もある ので、 一  
 erinde udafī niyeceme afabume /C/ mutehekūngge yargiyan, giyandu  
 時に 買って補納することはできなかった。これは事実である。 監 督  
 guici tušan i dorgi gaiha menggun be uthai yooni mende buhe, umai  
 貴齊が 任 内に受領した 銀 は 当時 全て 我等に與えた。決して  
 ekiyehun buhe ba akū, aga mukei erinde teisulebufi hūda wesire  
 少なく 與えた事はない。雨水 連綿の時節にであひ、 値段が 騰貴した  
 jakade, yargiyan i gaiha menggun be, ton i songkoi mei, yaha udafī  
 ので、 実際 に受領した 銀 を 数 の とおり 煤・炭を 買って  
 afabume mutehekūngge yargiyan, ai jabure babi, /746A/  
 納めることができなかったことは事実である。外に何を答えることがあろう。  
 yojeo i tušan i dorgi gaiha ciyanliyang serengge, gemu yojeo i beye  
 岳洲 の 任 内に 受領した錢糧というのは、 俱に 岳洲 がみずから  
 ku ci gaifi siran siran i mende bumbi, udu yan menggun buci,  
 庫から受領して陸 續として我等に與えた。いくらかの兩の銀をもらったら、  
 be uthai buhe menggun i ton i songkoi mei, yaha udafī afabuha,  
 我等は即ちもらった 銀 の 数 の 如く 煤・炭を 買って納めた。  
 yargiyan i gaiha menggun be edelehe edelehekū babe baicaci  
 実際に 受領した 銀 が 拖欠したかしくなかったの事は、調べてみれ  
 endereo sehebi,, baicaci, yojeo gaiha ciyanliyang ni/B/dorgi emu  
 ばわかる」と言った。査するに、岳洲が受領した錢糧 内で 一

minggan ninggun yan funcere menggun edelefi, alban be tookabure de  
千 六 兩 零 銀が 拖欠し、差使 を 遅延させるに

isibuha be dahame, yojeo be hafan efulefi ninggun biyai bilagan bilafi,  
到った ので、岳洲 を 革 職し、六 箇 月の 期限を 限り、

amban meni jurgan ci, ton i songkoi bošome ku de afabukini, bilagan  
臣 等の 部 から数の 如く 追徴し、庫 に 納めたい。 期限

i dorgide yooni afabume wacihiyaci, da an i obuki<sup>(39)</sup>, bilagan /C/  
内 に 全 納し 完れば開復（復職）させたい。 期限を

tulifi wacihiyarakū oci, beidere jurgan de afabufi, ciyanliyang be  
過ぎて完結しなけ れば、 刑 部 に 交與し 錢糧 を

hūlhaha kooli songkoi weile arabuki, edelehe menggun be harangga  
侵盜した 例に 照し 治 罪したい。拖欠した 銀兩 は 所属の

gūsade bithe unggifi, ini boo boigon de nikebufi toodabuki, jai susai  
旗に 行 文し、彼の 家 産 に よって賠償させたい。又 五十

ilaci aniyai giyandu lio deng yuwan de buhe menggun be siran/747A/  
三 年 監督 劉 登 元 に 與えた銀兩 は 陸

siran i tebufi, funcefi wacihiyara unde ilan minggan duin tanggū  
續扣還（さし引く）し、餘剩 未 完の 三 千 四 百

nadanju uyun yan funcere menggun be, aliha amban bihe he i jergi  
七十 九 兩 零の 銀 は、原 任 尚 書 赫 奕 等

tang, syi juwan duin hafan, umai ere hacin i menggun be bošome amasi  
堂・司官十 四 員が 全くこの 項 の 銀兩 を 追徴し 納

afabuhakū, susai ningguci aniya de isinafi, aliha amban sunjaci /B/  
還していない。五十 六 年 に 到り、 尚 書 孫查齊

jergi tang, syi juwan hafan, inu ere hacin i menggun be wacihiyame  
等 堂・司官 十 員 も亦、この 項 の 銀兩 を 全 て

tebubuhekū, damu juwan ubu de emu ubu kamcifi  
扣除（さしひく）させず、ただ 十 分 に 一 分を帶銷（あわせて完結）

tebuhebi, uttu be dahame, ere ilan minggan duin tanggū nadanju uyun  
した。 こう だから この三 千 四 百 七十 九

yan menggun be, aliha amban bihe he i, aliha amban sunjaci jergi/C/  
兩 銀 を 原 任 尚 書 赫奕、尚 書 孫查齊 等

nadan tang ni hafan de, nadan ubu nikebufi toodabure menggun juwe  
七名の 堂 官 に 七 分を 命じて 償還させる 銀 二

minggan duin tanggū gūsin sunja yan ilan jiha, ede niyalma tome  
千 四 百 三十 五 兩 三 錢、これに 毎 員が

goibuha menggun ilan tanggū dehi nadan yan uyun jiha, icihiyara  
分担した 銀 三 百 四 十 七 兩 九 錢, 原 任

hafan bihe aiju jergi tofohon syi hafan de, ilan ubu nikebufi /748A/  
郎 中 愛 珠 等 十 五 人 の 司 官 に, 三 分 を 命 じ

toodabure menggun emu minggan dehi ilan yan nadan jiha, ede  
償還させる 銀 一 千 四 十 三 兩 七 錢, こ れ に

niyalma tome goibure menggun ninju uyun yan sunja jiha jakūn fun be  
毎 員 が 分 担 す る 銀 六 十 九 兩 五 錢 八 分 を

emu aniyai bilagan bilafi, amban meni jurgan i ne tušan i hafasa oci,  
一 年 の 期 限 を 限 り, 臣 等 の 部 の 現 任 官 で あ れ ば,

amban be ciralame bošome toodame wacihiyabuki, wesike forgošoho  
臣 等 が 厳 しく 追 徴 し 償 還 し 完 結 し た い。 陞 轉,

tušan ci aljabuha jergi hafasa be, meni meni da ba, jai/B/harangga  
離 任 等 の 官 員 等 を, 各 々 原 籍 な ら び に 所 属 の

gūsade bithe unggifi inu ere bilagan i songkoi bošome toodame  
旗 に 行 文 し, ま た こ の 期 限 の 如 く 追 徴 し 償 還 し

afabukini, aikabade beye akū ohongge bici, ceni juse omosi boo boigon  
納 付 さ せ た い。 も し 死 亡 し た 者 が あ れ ば, 彼 等 の 子 孫 等 の 家 産

de nikebufi toodabuki, jai puhū i fe edelehe juwan ubu de sunja li,  
に よ り 償 還 さ せ た い。 又 舖 戸 の 舊 拖 欠 十 分 に 五 釐,

juwan ubu de emu ubu tebure menggun, puhū kiyoo g'ao ciyan sei  
十 分 に 一 分 の 控 除 銀 兩, 舖 戸 喬 高 遷 等 の

edelehe yargiyan i /C/gaiha menggun, edelehe kamcifi wacihiyabure  
拖 欠 し 実 際 に 受 領 し た 銀 兩, 拖 欠 し 帶 銷 (合 わ せ て 完 結 さ せ る)

menggun be dabume, uheri edelehe juwe tumen duin minggan emu  
銀 を か ぞ え, 全 て 拖 欠 し た 二 萬 四 千 一

tanggū orin yan ninggun jiha juwe fun uyun li funcere menggun be,  
百 二 十 兩 六 錢 二 分 九 釐 零 の 銀 を,

kemuni uttu komso tebuci, ku i ciyanliyang taka  
仍 こ の よ う に 少 し さ し ひ い て 帶 銷 す れ ば, 庫 の 錢 糧 は す こ し も

bahafi wacihiyarakū be dahame, ereci /749A/ amasi ere hacin i  
完 結 す る こ と が で き な い の で, こ れ よ り 後 こ の 項 の

menggun be, puhū se hūdai menggun gaire dari, juwan ubu de ilan  
銀 兩 を 舖 戸 等 が 代 銀 を 受 取 る こ と に, 十 分 に 三

ubu tebubume wacihiyabuki, aikabade aniya aname wacihiyarakū oci,  
分 を さ し 引 か せ て 完 結 さ せ た い。 も し 年 を ひ き つ づ け て 完 結 し な け れ ば,

kiyoo g'ao ciyan sebe beidere jurgan de afabufi inu ciyanliyang be  
喬 高 遷 等を 刑 部 に 交與し、また 錢 糧

hūlhaha kooli songkoi /B/ weile arabuki, edelehe menggun be,  
侵盜の 例に 照らし 治 罪したい。 拖欠した 銀兩 を

harangga ba na i hafan de yabubufi, ceni boo boigon be wacihiyame  
所 属 地 方 官 に 行文し、 彼等の家 産 を ことごとく

hūda arafi toodame afabukini, guici beye giyandu ofi, puhū be  
金に 変え、 賠 還 させたい。 貴齊は身は 監督となり、 舖戸 を

kadalame bošome yooni wacihiyabume mutehekū be dahame, guici be  
督 催し 全 完させることができなかったので、 貴齊 を

giyan i hafan i jurgan de afabufi weile gisurebuci acambihe, damu  
應 に 吏 部 に 交與し、 罪を 議すべきであった。 ただ

/C/ kesi še i cargi baita be dahame, gisureba akū, geli baicaci,  
恩 赦 以前の 事 であるので、 議する 所はない。 又 査するに、

yojeo, jai puhū se ere aniyai ciyanliyang be gaifi, emu aniyai alban be  
岳洲ならびに舖戸等は本年の 錢糧 を 受領し、 一 年の 差使 を

kame mutehekū, duin biyai orin ilan de isibufi afabure mei, yaha  
供應することができず、 四 月 二十 三 日に到っても納付する煤・炭が

akū turgunde, amban meni jurgan ci wakalame wesimbufi, /750A/  
ないので、 臣 等の 部 から 題 参し、

yojeo i edelehe ciyanliyang be bilagan bilafi ciralame bošobumbi, damu  
岳洲 の拖欠した 錢糧 を 期限を 限り 厳しく 追徴する。 ただ

dolo baitalara mei, yaha erin ke be tookabuci ojurakū ofi, amban  
内庭 で用いる。 煤・炭は 時 刻 を 遅悞させることができないので、 臣

meni jurgan ci duin biyai orin duin de, encu jakūci jergi hafan dehišeo  
等が 部 から 四 月 二十四 日、 別に 八 品 官 徳希壽

be tucibufi, taka jiyei šen ku i /B/ menggun be acinggiyafi udafi  
を 派し、 しばらく 節 慎 庫の 銀兩 を 動かし、 買って

afabume benebumbi, geren hacin i menggun be bošome tebubume siran  
送 付する。 各 項 の 銀兩 を 催促して控除し、 陸

siran i ku de toodabuki, ereci amasi dolo aniyadari baitalara mei,  
續と 庫 に 償還させたい。 これ以後、 内庭で毎年 用いる 煤・

yaha be, dorgi baita be uheri kadalara yamun ci, aniyai ongolo uthai  
炭 は 内 務 府 から年 前に すなわち

ton be /C/ wesimbufi bithe benjihe manggi, amban meni jurgan ci  
数 を 啓奏し 咨文を送った 後、 臣 等が 部 から



sain mutere giyandu be sonjome tucibufi, ciyanliyang bufi puhū be  
善良で有能な 監督 を 選んで 派遣し, 錢糧を 與え 舖戸 を

kadalame ton i songkoi mei yaha udabufi afabume benebuki, amban  
督し 数の 如く 煤・炭を 買わせ 送 付させたい。 臣

meni jurgan i tang ni hafan kemuni genefi afabuha, bargiyame gaiha  
等の 部の 堂 官が 時どき行って, 送付 受 領した

mei, yaha i ton be acabume baicaki, /751A/ uttu ohode, alban  
煤・炭 の 数 を つきあわせて調べたい。 かくの如くすれば, 差使を

tookabure de isinarakū bime, ciyanliyang inu edelere de isinarakū ombi,,  
遅悞させるに 到らず して 錢糧 も亦 不足するに到らなくなる。

erei jalin gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi,,  
この 為に 謹 奏した。 旨 を 請う。

“gisurehe songko,”  
〔議に 依れ。〕

/B/hūwaliyasun tob i sucungga aniya uyun biyai orin,  
雍 正 元 年 九 月 二十日,

weilere jurgan i baita be icihiyara, hošoi hanja cin wang, amban yūn  
管 理 工 部 事 務 和碩 廉 親 王 臣 允

sy, boigon i jurgan i aliha amban bime weilere jurgan i aliha amban i  
禩, 戸 部 尚 書 辦 理 工 部 尚

baita be icihiyara, amban sunjaci, aliha amban, amban li siyan fu,  
書 事 務 臣 孫查齊, 尚 書 臣 李 先 復,

hashū ergi ashan i amban, amban yentai, hashū ergi ashan i amban,  
左 侍 郎 臣 伊泰, 左 侍 郎

amban hoo lin, tun tiyan syi aisilakū hafan, amban canglai, aisilakū  
臣 郝 林, 屯 田 司 員外 郎 臣 常賚, 員外

hafan, amban ma jiyūn, ejeku hafan, amban yo k'ang,  
郎 臣 麻 俊, 主 事 臣 岳 康。

允禩：雍正元年九月二十日，工部奏為題參拖欠架木案摺

752A/ weilere jurgan i baita be icihiyara, hošoi hanja cin wang,  
管 理 工 部 事 務 和碩 廉 親 王

amban yūn sy sei gingguleme wesimburengge, wakalame wesimbure  
臣 允 禩 等が 謹 奏する事, 題 参する

jalin,, amban be baicaci, neneme amban meni jurgan ci, elhe taifin i  
為にす。臣 等が査するに, 先に 臣 等の 部 より 康 熙

orin ningguci aniya ci deribume, susai jakūci aniya nadan biyade  
 二十 六 年 から 起り, 五十 八 年 七 月 に  
 isibume, wakalame wesimbuhe baita i/B/dorgi, icihiyara hafan makca  
 到り, 題 参した 事件の 内に, 郎 中 馬克察  
 i jergi duin tanggū jakūn niyalma, edelehe giyase moo uheri susai juwe  
 等 四 百 八 人の 虧欠した架 木は 全部で五十 二  
 tumen jakūn minggan jakūn tanggū orin juwe, geli muts'ang ni giyandu  
 萬 八 千 八 百 二十 二本。又 原 任 木 倉 監  
 bihe aisilakū hafan bursai i jergi juwan emu niyalma, ekiyehun oho  
 督 員 外 郎 布爾賽 等 十 一 人が 欠損 させた  
 siltan moo<sup>(40)</sup> uheri juwe tanggū jakūnju/C/ilan, šamu moo ilan minggan  
 桅 木は 全部で二 百 八十 三本, 杉 木 三 千  
 emu tanggū ninju ninggun, emu hontoho, ejeku hafan turangga i jergi  
 一 百 六十 六本 一 半。主 事 圖郎阿 等  
 ilan niyalma, jang giya wan ci muts'ang de jeweme isibuhakū siltan  
 三 人が 張 家 湾 から 木倉 に 運び 到らない 桅  
 moo juwan ninggun, šamu moo gūsin ninggun, esebe meni meni  
 木 十 六本, 杉 木 三十 六本。これらを 各 々  
 harangga gūsade afabufi, emu aniyai bilagan/753A/bilafi, boo boigon  
 所属の 旗に 送り, 一 年の 期限を 限り, 家 産  
 de nikebufi bošome ton i songkoi wacihiyabuki, aikabade bilagan tulifi  
 に より 追徴し, 数 の 如く完結させたい。もしも 期限におくれて  
 wacihiyarakū oci, harangga gūsaci uthai wakalame wesimbufi,  
 完結しなければ, 所属の 旗から ただちに 題 参し,  
 harangga jurgan de afabufi weile gisurebuki seme elhe taifin i susai  
 所属の 部 に 渡し, 罪を議させたい と 康 熙 五十  
 uyuci aniya jorgon biyade wesimbufi yabubuha be dangse de ejehebi,  
 九 年 十二 月に 奏 准したの を 檔案 に 記した。  
 amban /B/ meni jurgan ci udu dahūn dahūn i harangga gūsade  
 臣 等の 部 からいくらかさねがさね 所属 旗に  
 bošobume bithe unggicibe, damu aisilakū hafan isilun i jergi ninju juwe  
 催促の 文を 送っても, ただ 員外 郎 額世倫 等 六十 二  
 niyalma afabuha giyase moo emu tumen ninggun minggan dehi, jai  
 人が わたした 架子 木 一 萬 六 千 四十本, ならびに  
 amcame buci acara menggun de fangkabuha giyase moo juwe /C/  
 追 與 すべき 銀兩によってつぐなった 架 木 二

minggan juwe tanggū nadanju duin be dabume uheri wacihiyaha giyase  
千 二 百 七十 四本を勘定に入れ、全部で完結した 架

moo emu tumen jakūn minggan ilan tanggū juwan duin, icihiyara hafan  
木は 一 萬 八 千 三 百 十 四本。郎 中

farsa, aisilakū hafan sahaci, lung hing sy be dasatame weilere de  
法爾薩, 員 外 郎 薩哈齊が隆 興 寺 の 修 理 に

gamaha uyun minggan nadan tanggū giyase /754A/ moo be, neneme  
持って行った九 千 七 百本の架子 木 を 先に

iyli siyūn fu getukeleme baicafi, da tuwame weilehe jeng ding fu i jyfu  
直隸 巡 撫が 明白に 査べて 原 監 修官 正 定 府 知府

g'o jy i jergi juwan hafan i gebui fejergi de nikebui dendeme goibufi  
郭 治 等 十 員 の 名 下 に 着落し 分配し 分担させ

bošome toodabumbi sehe gojime, tetele kemuni benjire unde,  
追徴し 償還させると言ったけれども、今に至るまでなお送って来ていない。

uttu be dahame, erebe harangga /B/ siyūn fu de bithe unggifi,  
かくの如くであるから、これを 所属の 巡 撫 に 行 文し、

hūdun bošome benjibuki, jai icihiyara hafan enggedei i jergi  
すみやかに催促して送って来させたい。また 郎 中 恩格徳 等

ilan tanggū dehi duin niyalma i wacihiyara unde giyase moo susai  
三 百 四十 四 人 の 未 完 架 木 五十

tumen jakūn tanggū jakūn, erei dorgide cuwan sindara lempen i jergi  
萬 八 百 八本は、この 内に 船に 置く 日除け棚 等の

weile ci efulere /C/ unde ninggun minggan sunja tanggū dehi emu  
工事から折卸して いない 六 千 五 百 四十一本の

giyase moo ci tulgiyen, kemuni afabure unde giyase moo dehi uyun  
架 木 を 除き、 なお 未 交 の 架 木 四十 九

tumen duin minggan juwe tanggū ninju nadan, jai aisilakū hafan  
萬 四 千 二 百 六十 七本。また 員 外 郎

bursai i jergi juwan duin niyalma i edelehe siltan moo, šamu /755A/  
布爾賽 等 十 四 人の 欠損した 桅 木, 杉

moo be damu bursai teile siltan moo juwe afabuhabi, kemuni edelehe  
木 は、ただ 布爾賽だけが桅 木 二本を返却した。なお 不足の

siltan moo, šamu moo ilan minggan duin tanggū uyunju uyun, emu  
桅 木, 杉 木は 三 千 四 百 九十 九本 一

hontoho, ese bilagan tulifi juwe aniya funcetele umai wacihiyahakūngge  
半である。彼等は期限を過ぎて二 年 餘に到るまで、全く 完結していない

ambula acahakūbi, te icihiyara hafan enggedei sebe/B/geli  
 ことはなはだよろしくない。今 郎 中 恩格徳等を また  
 ilan biyai bilagan bilafi, amban meni jurgan i ne tušan i hafasa oci,  
 三 箇月の期限を限って、臣 等の 部の 現 任 官員 ならば  
 amban be ciralame bošome wacihiyabuki, wesike forgošoho jergi  
 臣 等が 嚴に 追徴し 完結させたい。昇進や 轉任した 等の  
 hafasa be, meni meni harangga gūsade afabufi, bilagan i dorgide  
 官員等 を おの おの 所属の 旗に 交與し、期限 内に  
 ciralame bošome jurgan de afabukini, aikabade geli /C/bilagan tulifi  
 厳しく 追徴し 部 に交與させたい。もし また 期限を過ぎて  
 wacihiyarakū oci, harangga gūsaci wakalame wesimbufi, esebe hafan  
 完結しなければ、 所属の 旗から 題 参し、 彼等を 革  
 efulefi beidere jurgan de afabufi ujeleme weile arabuki, edelehe moo be,  
 職し 刑 部 に 交與し 重く 治 罪したい。不足の 木を  
 harangga gūsaci uthai ceni boo boigon be hūda arafi wacihiyakini,  
 所属の 旗から ただちに彼等の家 産 を 金に変え 完結させたい。  
 aikabade bilagan tulifi harangga gūsaci wakalarakū/756A/oci amban  
 もし 期限を 過ぎて所属の 旗から 題参しな ければ、 臣  
 meni jurgan ci uthai wakalame wesimbufi, harangga gūsai kadalame  
 等の 部 からただちに参 奏し、 所属の 旗の 督  
 bošoro, alifi bošoro hafasa be suwaliyame harangga jurgan de afabufi  
 催 承 催 官員等 を 併せて 所属の 部 に 交與し  
 weile gisulebuki, erei dorgi yargiyan i boo boigon wajihangge bici,  
 罪を 議させたい。この 内、 実 に 家 産が盡絶した者があれば、  
 meni meni harangga gūsaci inu ere bilagan i dorgide getukeleme baicafi  
 おの おの 所属の 旗から 亦この 期限 内に 明らかに 調査  
 akdulame wesimbukini, /B/ boo boigon kemuni bimbime harangga  
 保證し 上奏したい。 家 産が なお あって 所属の  
 gūsa umai kimcime baicarakū derencume akdulame wesimbufi, gūwa  
 旗が 全く 確 査せず 依怙最肩して 保 奏し、 他  
 niyalma gercileme tucibuci, harangga gūsai akdulame wesimbuhe hafasa  
 人が 告 發すれば、 所属の 旗の 保 奏した 官員等  
 be suwaliyame harangga jurgan de afabufi baicame gisurebuki, geli  
 を 併せて 所属 部 に 交與し 査 議したい。 又  
 baicaci, elhe taifin i susai jakūci aniya ci deribume, ninju emuci aniya  
 査するに、 康 熙 五十 八 年 から 起り、 六十 一 年

/C/ jorgon biyai dubede isibume, aisilakū hafan jotba i jergi gūsin  
十二 月 末に 到って、員外 郎 卓特拔 等 三十

ilan niyalma, weile wajifi amasi afabure unde giyase moo duin tumen  
三 人は 工事が終わっても返 納していない 架 木 四 萬

ninggun minggan uyun tanggū ninju juwe, geli icihiyara hafan santai  
六 千 九 百 六十 二本。又 郎 中 三泰は

juwere hūda gaifi, jang giya wan ci muts'ang de juweme isibuhakū  
運搬 費を受取り、張 家 湾 から木倉 に 運 到していない。

/757A/ siltan moo orin, šamu moo jakūnju emu, giyase moo orin  
桅 木 二十本、杉 木 八十 一本、架 木 二十

nadan, ere gemu afabuci acara hacin bime, tetele umai afabuhakūngge  
七本。これは俱に輸納すべき項目であって、 今に到るまで全く輸納してい

inu acahakūbi, uttu be dahame, santai jotba sebe taka wesire  
ないのは亦よろしくない。こうだから 三泰 卓特拔 等をしばらく昇

forgošoro be ilibufi, ninggun biyai bilagan bilafi, amban meni jurgan i  
轉 を 止めさせ、六箇 月の 期限を限り、 臣 等の 部の

/B/ ne tušan i hafasa oci, amban be ciralame bošome wacihiyabuki,  
現 任 官員等ならば 臣 等が 嚴に 催促し 完結させたい。

wesike, forgošoho jergi hafasa be harangga gūsade afabufi ciralame  
昇 轉 等 官員等を 所属 旗に 交與し 嚴しく

bošome wacihiyame afabukini, aikabade bilagan i dorgide wacihiyame  
催促しことごとくおさめさせたい。もし 期限 内に ことごとく

afabuhangge oci, an i wesikini, forgošokini, bilagan tulifi wacihiyarakū  
おさめた者 は、通常の如く昇轉させたい。 期限を過ぎても完結しなければ

oci, uthai esebe hafan efulefi, /C/ beidere jurgan de afabufi ciralame  
ば、すなわち彼等を革 職し、 刑 部 に 交與し 嚴しく

weile arabuki, edelehe giyase moo be harangga gūsade afabufi, ceni  
治罪したい。 不足の 架 木 は 所属 旗に 交與し、彼等の

boo boigon de nikebufi hūda arafi wacihiyabuki sembi,, erei jalin  
家 産 に より 値に変え、 完繳させたいと思う。この 為に

gingguleme wesimbuhe, hese be baimbi,, /758A/  
謹 奏した。 旨 を 請う。

“ere moo i baita serengge gurun i gubci sarangge, ere dorgide  
〔この 木 の 事というのは 国民の 誰もが知っていることだ。この 内で

sui mangga urse inu bi, yargiyan i seyecuke urse inu bi, harangga  
無実の罪の 人々もある。まことに 恨むべき 人々もある。 所属の

jurgan getukeleme faksalafi wesimbuci acambi, uttu biretei adali  
部が 明らかに 分けて 上奏すべきである。かようにおしなべて一様に

obuci oncodoci ehe urse bai, jabšambi, yooni weile araci sui  
なして寛大に許せば、悪者共はただ僥倖を得る。ことごとく治罪すれば、無

mangga urse jilakan wang ambasa urunakū cisu be waliyafi tondo  
罪の 人々が憐れである。王 大臣等は 必らず 私 を 棄て 公平

be jafame gingguleme baicaci teni getukeleme mutembi,,” /C/  
を とり 慎 査してはじめて察明なるを得る。]

hūwaliyasun tob i sucungga aniya uyun biyai orin,  
雍 正 元 年 九 月 二十日。

weilere jurgan i baita be icihiyara hošoi hanja cin wang, amban yūn sy,  
管理 工 部 事 務 和碩 廉 親 王 臣 允 祺,

boigon i jurgan i aliha amban bime, weilere jurgan i aliha amban i  
戸 部 尚 書 辦 理 工 部 尚

baita be icihiyara, amban sunjaci, aliha amban, amban li siyan fu,  
書 事 務 臣 孫查齊, 尚 書 臣 李 先 復,

hashū ergi ashan i amban, amban yentai, hashū ergi ashan i amban,  
左 侍 郎 臣 尹泰, 左 侍 郎

amban hoo lin, ing šan syi icihiyara hafan, amban sangge, aisilakū  
臣 郝 林, 營 繕 司 郎 中 臣 桑格, 員 外

hafan, amban joohai, aisilakū hafan, amban wang ho, ejeku hafan,  
郎 臣 照海, 員 外 郎 臣 王 河, 主 事

amban dermin,  
臣 德爾敏。

#### 註

1. falgai da : 原摺漢文では「地方」としている。falgaiは族, 部落, 甲, 村の集会所などの意である。falgai daは族長, 黨長, 甲長, 部落長などの意であろう。
2. 嵩柱 : 莊吉発『雍正朝滿漢合璧奏摺校注』(以下『莊氏本』と略稱)注3では「清世宗憲皇帝実録卷三 および清史稿大学士年表では「嵩祝」となっており, 同音異譯である」としている。
3. 『莊氏本』注4では, taihūwang taiheo mamaは孝莊文皇后博爾濟特氏發引の事とし, hūwang taiheo mamaは孝惠章皇后博爾濟吉特氏發引の事としている。
4. 『莊氏本』注5では清史稿列傳一, 孝惠章皇后傳を引き「康熙五十六年, 清聖祖春秋六十有四, 是年十一月, 皇太后不豫, 清聖祖方有疾, 頭眩足腫, 聞皇太后疾甚, 以帕纏足, 乘輿輿詣視」と記している。
5. dulergide : tulergideの誤記。
6. 『莊氏本』注11では音によって「林祖成」の字をあてている。
7. ben : 題本のこと。
8. イタリックの部分は原摺滿文本では二重に印刷されている。

9. beye hūsun i faššame cooha de genehe : 自費で鞍馬を調達し、軍務に服したという意。
10. gūsai da : 省城駐防の章京馬甲等を旗毎に管治する官。協領。
11. buya tušan i hafasa : 原摺漢文には小京官とある。低い官位の官員等の意であろう。
12. jin ši simnere : 進士考試, 原摺漢文では會試としている。
13. juwan i da : 原摺漢文では耑達と記されている。十人長。護軍の長すなわち護軍校。
14. juwe hūwai yūn ši hošun : 兩淮運使何順。『莊氏本』注21では、「原摺漢文には兩淮運使何順, 蒞任載餘と記されるが、滿文本に兩淮運使の字がない」としている。しかし滿文本には兩淮運使の字はあるが蒞任載餘の文字がない。
15. girin i ula : 原摺漢文では船廠としている。
16. sibe : 原摺漢文では西北としている。錫伯の同音異譯である。
17. suruk niyalma : モンゴル語 *сүрэгч* (SYRYGCI 牧童) よりの借用語。
18. 原摺滿文で yabun と記されるのを塗抹して waka と記してある。
19. 原摺滿文で hūdun wacihiyame とあるのを塗抹してある。
20. banjinarakū : 『大清全書』卷5に「恐至怎樣之謂也」と記される。
21. cifun gaimbi : 原摺漢文では抽税充餉となっている。
22. 原摺漢文は「郎中謝旻」としている。原摺滿文には郎中 *icihiyara hafan* の文字はない。
23. šurdeme tucibuhebi : 圈出したとは、文字を圓で圍んで示したとの意。
24. 原摺漢文の硃批には「此參奏不是了, 賀有章奉皇旨招募番民探聽地方情形, 並未命限有無部分, 又不曾交與地方官, 原因其奏之當, 故命其從容私自察訪, 或有益於事之聖意也。今賀有章驚聞龍馭上殯, 匍匐回京, 情在可嘉, 何罪之有。況覽其前奏, 一片忠君愛國之誠, 觀之令人凜然, 朕一二日内面見此人, 如未老朽, 朕還要用此人, 此本發回勿庸議」と記される。
25. ashan i amban : ashan i amban は侍郎の意であるが、ここでは原摺漢文によって倉場總督と訳しておく。
26. halhūn beidere : 熱審。暑熱の際、刑獄が留滞し、罪人の苦痛を慮り、京師の監獄に対しておこなう特別の審理。夏月に臨時裁判を開き、重罪犯の容疑者および輕罪犯は減等し、笞、杖、枷號は釈放する。
27. 原摺漢文には「署理刑部侍郎事」と記される。
28. malciha : malciha は原摺漢文では馬爾齊哈, 馬爾赤哈などと記される。
29. jun tonggo : 練り糸をより合わせた太糸。珠兒線。
30. 原摺漢文では「雍正元年七月二十七日早, 自京起程, 行至大通橋」となっている。
31. jafafi, ciralame : 兩語とも原摺滿文に硃筆を以て書き加えられた語である。
32. suruk ba : suruk はモンゴル語で *сүрэг* (畜群) の意。suruk ba は牧場の意であろう。本書注17参照。
33. イタリックの部分は雍正帝が塗抹した部分, 括弧内は加筆した部分である。
34. bisirele : 『大清全書』5: 41Bに「凡所有的」と記される。
35. jinkini jugūn : 正途とは科甲(科舉に及第した者)および貢監廩生の資格によって出身する者をいう。『清国行政法』第1巻下, 175頁。
36. k'o doo i hafan : 科道官。清制で御史をいう。また都察院の六科給事中および十五道監察御史をいう。
37. 原摺漢文には吏部尚書と記されるが、原摺滿文には吏部 *hafan i jurgan i* が記されていない。
38. acabume bure : 『大清全書』卷1, 11aに「acabume bufi 應付」と記される。
39. da an i obuki : 『大清全書』卷8, 13Aに「da an i obure 開復」とある。開復は復職のこと。
40. siltan moo : 桅木, 旗竿などに用いる長木。

本譯注の校正は京都大學人文科學研究所の谷井陽子さんをお願いした。谷井さんは原稿内の誤記、誤譯も適切に訂正して下さい。記して深く感謝したい。